

事業用貨物自動車の 交通事故の 発生状況

令和6年9月



公益社団法人

全日本トラック協会

事業用貨物自動車の 交通事故の発生状況

令和6年9月

公益社団法人 **全日本トラック協会**

まえがき

本書は、公益財団法人交通事故総合分析センター並びに国土交通省の協力を得て、警察庁が公表した令和5年中の全国交通事故統計データから、事業用貨物自動車（軽自動車を除く）が第1当事者となる交通事故の全体傾向を集計し、取りまとめています。

令和5年中に全国で発生した交通事故（物損事故を除く）件数は307,930件、死者数は2,678人、負傷者数は365,595人と、前年に比べて事故件数が7,091件増（+2.4%）、死者数が68人増（+2.6%）、負傷者数が8,994人増（+2.5%）となっています。

一方、物流の危機といわれる「2024年問題」がスタートし、国を挙げて物流の第一線を担うトラックドライバーの処遇改善や、労働環境の改善、悪しき商慣行の見直しを着実に実施されている中、令和6年5月には社会的影響が大きい事業用トラックによる甚大な被害を生じさせた重大事故が相次ぎ、また、反社会的な飲酒運転事案の増加など、国民に安心・安全を届けるべき物流業界としては、社会的信頼性を取り戻すべき重大局面にあります。

このような重大事案が巻き起こされることによる貴重な人材の物流業界からの流出の食い止めや、これからトラック運送業界を目指そうとする若年者などが安全で安心して働ける物流業界となるためには、トラック運送業界すべての関係者が「交通事故を絶対に起こさない」という意識改革が必要不可欠です。

こうした状況に鑑み、事業用トラックが関係する過去の交通事故から学び、事業用トラックが関係する交通事故や飲酒事案根絶のためにも本資料を活用していただくことで、より効果的な事故防止対策につながることを期待申し上げます。

令和6年9月

公益社団法人 全日本トラック協会
会長 坂本克己

凡 例

- 本書における用語の定義は、次のとおりである。
- 1 「交通事故」とは、道路交通法で規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）並びに物損事故をいう。ただし、本書においては物損事故を除く。
- 2 「死亡」（「死者」）とは、交通事故によって、発生から24時間以内に亡くなった場合（人）をいう。
- 3 「負傷」（「負傷者」）とは、「重傷」（「重傷者」）と「軽傷」（「軽傷者」）の合計をいう。
- 4 「重傷」（「重傷者」）とは、交通事故によって負傷し、1箇月（30日）以上の治療を要する場合（人）をいう。
- 5 「軽傷」（「軽傷者」）とは、交通事故によって負傷し、1箇月（30日）未満の治療を要する場合（人）をいう。
- 6 「死傷」（「死傷者」）とは、「死亡」（「死者」）と「重傷」（「重傷者」）と「軽傷」（「軽傷者」）の合計をいう。
- 7 「死傷者数」とは、事業用貨物自動車の事故における全当事者数をいう。
- 8 「事業用貨物自動車」とは、第1当事者が事業用で貨物車（軽自動車を除く。）をいう。ただし、注意書きを除く。
- 9 「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等（列車を含む。）の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者をいい、また過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいう。
- 10 「事故類型」とは、当該交通事故を先ず当事者の種類（人または車両等）によって分類し、次いで当事者の事故時の行動等（動き、位置、衝突物等）によって更に細かく分類したものをいう。
- 11 「対歩行者」とは、当該交通事故の第2当事者が歩行者（準歩行者を含む。）である場合をいう。
- 12 「準歩行者」とは、「車椅子」、「小児用の車」、「ローラースケート等」をいう。
- 13 「対自転車」とは、当該交通事故の第2当事者が「自転車」、「駆動補助付自転車」、「リヤカー一等」の軽車両である場合をいう。
- 14 「車両相互」とは、当該交通事故の第1当事者及び第2当事者がいずれも車両等（列車が相手方である場合を除く。）である場合をいう。
- 15 「車両単独」とは、当該交通事故の第2当事者が「駐車車両（運転者不在）」、「物件」、「相手なし」である場合をいう。
- 16 「車両等」とは、「四輪車」「二輪車」「自転車」「その他」の合計をいう。
- 17 「車両等」の定義は次のとおりである。
 - 「四輪車」……道路交通法に定める大型自動車、中型自動車、準中型自動車、普通自動車、大型特殊自動車、小型特殊自動車。

- 「二輪車」……「自動二輪車」及び「原動機付自転車」。
- 「自動二輪車」……道路交通法に定める大型自動二輪車と普通自動二輪車。
- 「原動機付自転車」「軽車両」「自転車」……道路交通法の規定による。
- 「その他」……「四輪車」「二輪車」「自転車」以外の車両。
- 「軽自動車」……道路運送車両法の規定による。
- 「トレーラ」……けん引する構造並びに装置を有する貨物車によりけん引されるための構造及び装置を有する車両(車両総重量750kg超)が連結されている状態をいう。

18 当事者種別の定義は次のとおりである。

- 「大型」……車両総重量11t以上又は最大積載量6.5t以上の貨物車。
- 「中型」……車両総重量5t以上11t未満又は最大積載量3t以上6.5t未満の貨物車。
- 「普通」……車両総重量5t未満かつ最大積載量3t未満の貨物車。

なお、当事者種別の定義は平成29年3月12日以降、次のとおりである。

- 「大型」……車両総重量11t以上又は最大積載量6.5t以上の貨物車。
- 「中型」……車両総重量7.5t以上11t未満又は最大積載量4.5t以上6.5t未満の貨物車。
- 「準中型」……車両総重量3.5t以上7.5t未満又は最大積載量2t以上4.5t未満の貨物車。
- 「普通」……車両総重量3.5t未満かつ最大積載量2t未満の貨物車。

19 「高速道」とは、高速自動車国道及び指定自動車専用道路をいう。

20 「高速自動車国道」(高速国道)とは、高速自動車国道法に定める高速自動車国道をいう。

21 「指定自動車専用道路」(指定自専道)とは、道路交通法に定める自動車専用道路をいう。

22 「行動類型」とは、当事者の事故時の行動等(動き、位置、衝突物等)によって細分した類型をいう。

23 「人的要因」とは、当事者に認められる要因をいう。

- 数字は単位未満で四捨五入しているため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合や四捨五入前の数字を用いて計算した結果と表中の数字が一致しない場合もある。
- データの各数値は、令和5年5月末の確定値である。後日、統計上の理由により変更される場合がある。
- データは、(公益財団法人)交通事故総合分析センターで集計した。

目 次

1. 事業用貨物自動車の死傷事故の状況	1
2. 事業用貨物自動車の事故類型別死傷事故の状況	2
3. 事業用貨物自動車の道路区分別・事故類型（詳細区分）別死傷事故の状況	3
4. 事業用貨物自動車の運転者年齢別死傷事故の状況	13
5. 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故の状況	20
6. 事業用貨物自動車の危険認知速度別死傷事故の状況	27
7. 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故の状況	30
8. 事業用貨物自動車の行動類型別死傷事故の状況	34
9. 事業用貨物自動車の法令違反別死傷事故の状況	36
10. 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故の状況	39
11. 事業用貨物自動車の整備不良による死傷事故の状況	42
12. 事業用貨物自動車の車両的要因別死傷事故の状況	43
13. 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別死傷事故の状況	44
14. 事業用貨物自動車の運転者の運転資格別死傷事故の状況	46
15. 事業用貨物自動車の運転者のシートベルト着用有無別死傷事故の状況	47
16. 事業用貨物自動車の高速道路における主な死傷事故の状況	52
17. 事業用貨物自動車の死傷者の状況	55
付録	62
付録1. 都道府県別の死傷事故件数（令和5年）	63
付録2. 事業用自動車の第1当事者種別・都道府県別の死傷事故件数（令和5年）	64
付録3. 事業用自動車の第1当事者種別・法令違反別の死傷事故件数（令和5年）	65
付録4. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷事故件数（令和5年）	66
付録5. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷者数（令和5年）	67
付録6. 交通事故発生状況の推移（平成8-令和5年）	68
付録7. 事業用自動車の業態別死者数の推移（平成26-令和5年）	69
付録8. 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死者数の推移（平成26-令和5年）	69
付録9. 事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）	70
付録10. 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）	70
付録11. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの死亡事故件数（令和5年）	71
付録12. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの重傷・軽傷事故件数（令和5年）	71
付録13. 事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況（平成26-令和5年）	72
付録14. 事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況（平成26-令和5年）	74
付録15. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率（令和5年）	76
付録16. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和5年）	77
付録17. 事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数（令和5年）	78
付録18. 事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和5年）	79
付録19. 事業用貨物自動車の対自転車事故の状況	80
付録20. 事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況	83
付録21. 事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況	86

付録22.	事業用貨物自動車の車両単独事故の状況	-----	89
付録23.	事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況	-----	92
付録24.	事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死亡事故件数及び死者数 （令和2-令和5年）	-----	95
付録25.	事業用貨物自動車1万台当たりの死亡事故件数（車籍別）（令和4-令和5年）	-----	96
付録26.	事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死者数及び重傷者数 （令和2-令和5年）	-----	97
付録27.	事業用貨物自動車を第1当事者とする死者数及び重傷者数の推移（平成26-令和5年）	---	98
付録28.	事業用貨物自動車1万台当たりの死者数及び重傷者数（車籍別）（令和4-令和5年）	---	99

事業用貨物自動車の交通事故の傾向と事故事例

事業用貨物自動車（軽自動車を除く）が第1当事者となった死傷事故の傾向は次のとおりです。

1. 事業用貨物自動車の死傷事故の状況

死傷事故全体の発生件数は、平成26年の17,801件から令和5年には9,181件と順調に減少しており、10年間で8,620件（48.4%）減少しています。

第1当事者種別では、平成26年から令和5年の10年間で、大型は2,934件、中型は5,641件、普通は2,197件、それぞれ減少しています。尚、平成29年3月12日の「準中型」免許区分新設に伴い、「中型」以下の車両総重量区分が新設されたため、「大型」以外は参考値となります（以下、同様）。

表1 当事者種別の死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

(件)

年	第1当事者種別	大型	中型	準中型	普通	合計	保有車両数(台)
H26		6,985 (1,155)	8,130		2,686	17,801	1,372,140
H27		6,260 (971)	7,294		2,602	16,156	1,381,282
H28		5,709 (991)	6,572		2,319	14,600	1,397,191
H29		5,663 (955)	4,862	2,452	1,240	14,217	1,419,605
H30		5,406 (923)	4,031	3,171	820	13,428	1,440,180
R01		4,753 (870)	3,413	2,764	699	11,629	1,462,004
R02		3,970 (685)	2,671	2,261	547	9,449	1,482,364
R03		4,103 (754)	2,586	2,170	556	9,415	1,492,015
R04		4,164 (749)	2,508	2,186	513	9,371	1,496,588
R05		4,051 (691)	2,489	2,152	489	9,181	1,495,448

※ 大型の（ ）内の値は、トレーラで大型の内数を示す。

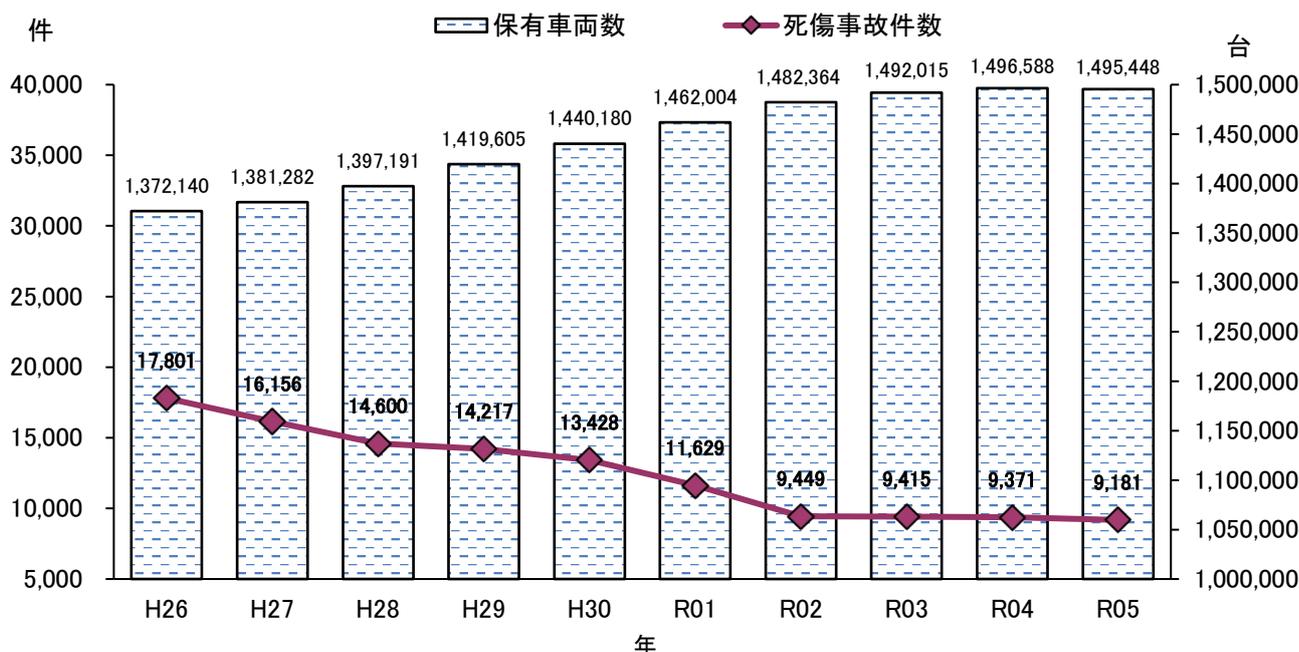


図1 保有車両数と死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

※ 保有車両数(台)は、一般財団法人自動車検査登録情報協会の「市区町村別自動車保有車両数(令和5年3月末現在)」をもとに(公社)全日本トラック協会が集計した値。

2. 事業用貨物自動車の事故類型別死傷事故の状況

事故類型別の死傷事故件数は、平成26年から令和5年の10年間で、車両相互8,067件、対歩行者468件、車両単独84件と、それぞれ減少しています。

発生件数の多い事故類型は圧倒的に車両相互であり、平成26年以降、90%以上を占める状況が続いています。

表2 事故類型別死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

(件)

年	事故類型	車両相互	対歩行者	車両単独	列車	合計	車両相互事故構成率(%)
H26		16,460	1,129	211	1	17,801	92.5
H27		14,903	1,069	183	1	16,156	92.2
H28		13,517	912	170	1	14,600	92.6
H29		13,114	935	167	1	14,217	92.2
H30		12,367	894	166	1	13,428	92.1
R01		10,660	817	151	1	11,629	91.7
R02		8,682	643	124	0	9,449	91.9
R03		8,611	683	120	1	9,415	91.5
R04		8,592	670	109	0	9,371	91.7
R05		8,393	661	127	0	9,181	91.4

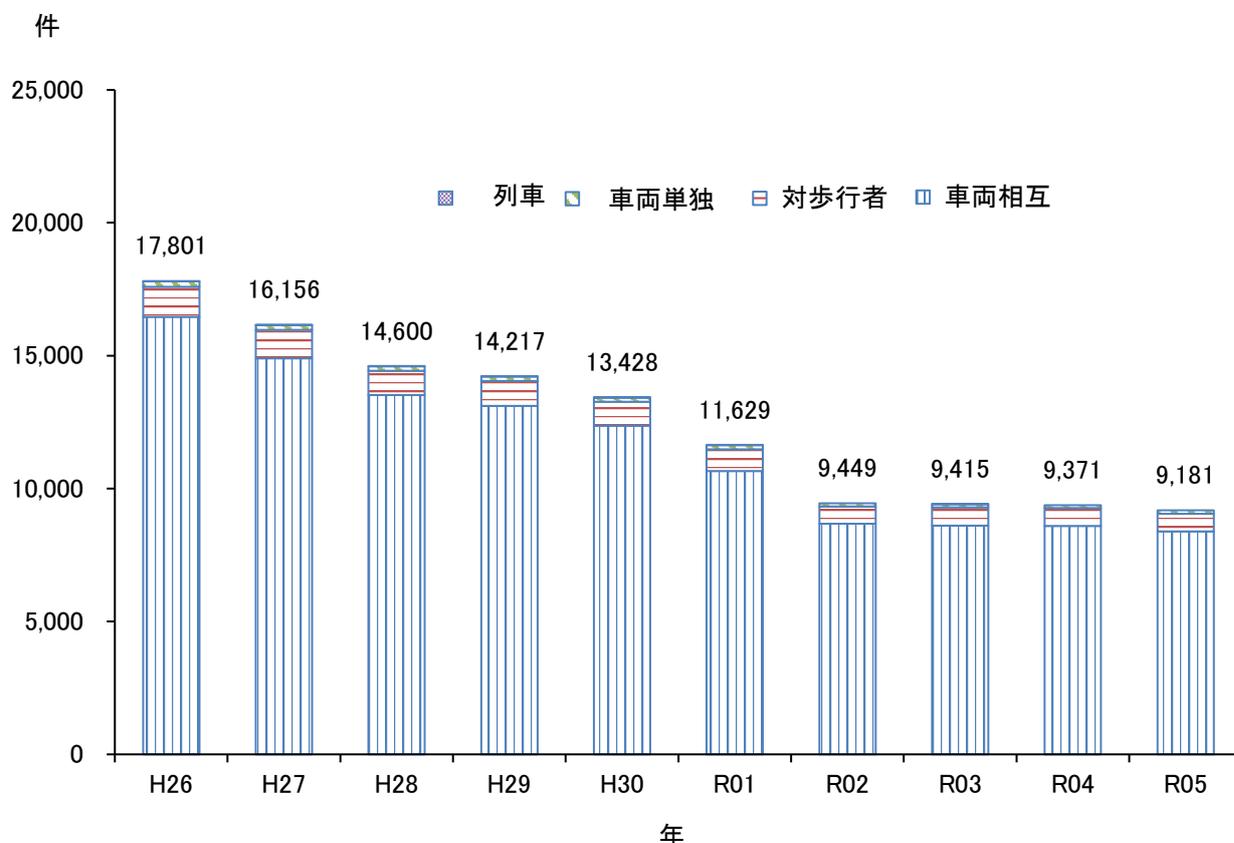


図2 事故類型別死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

3. 事業用貨物自動車の道路区分別・事故類型（詳細区分）別死傷事故の状況

令和5年の道路区分別・事故類型（詳細区分）別の死傷事故件数は、死亡事故では、対歩行者80件（うち高速道路3件、一般道路77件）、車両相互92件（うち高速道路22件、一般道路70件）、車両単独27件（うち高速道路15件、一般道路12件）となっています。

一方、重傷事故では、対歩行者167件（うち高速道路7件、一般道路160件）、車両相互670件（うち高速道路78件、一般道路592件）、車両単独26件（うち高速道路11件、一般道路15件）となっています。

また、軽傷事故では、対歩行者414件（うち高速道路4件、一般道路410件）、車両相互7,631件（うち高速道路949件、一般道路6,682件）、車両単独74件（うち高速道路11件、一般道路63件）となっています。

表 3-1 道路区分別・事故類型（詳細区分）別の死傷事故件数（令和5年）

事故類型 道路区分		死亡			重傷			軽傷			合計			
		高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	
対歩行者	対面通行中	1	2	3	0	5	5	0	29	29	1	36	37	
	背面通行中	0	11	11	2	21	23	0	45	45	2	77	79	
	横断中	横断歩道	0	19	19	0	65	65	0	162	162	0	246	246
		横断歩道付近	0	4	4	0	6	6	0	7	7	0	17	17
		横断歩道橋付近	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
		その他	0	12	12	0	25	25	0	48	48	0	85	85
	路上遊戯中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	路上作業中	0	9	9	0	7	7	1	14	15	1	30	31	
	路上停止中	0	5	5	1	4	5	0	13	13	1	22	23	
	路上横臥中	1	6	7	0	5	5	0	0	0	1	11	12	
	その他	1	9	10	4	22	26	3	91	94	8	122	130	
小計	3	77	80	7	160	167	4	410	414	14	647	661		
車両相互	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	2
		その他	2	2	4	1	33	34	1	48	49	4	83	87
	追突	進行中	6	12	18	18	27	45	199	287	486	223	326	549
		駐・停車中	8	4	12	46	103	149	406	3,139	3,545	460	3,246	3,706
	出会い頭衝突	0	14	14	0	119	119	2	687	689	2	820	822	
	追越・追抜時衝突	0	3	3	5	63	68	70	467	537	75	533	608	
	進路変更時衝突	2	5	7	6	18	24	182	352	534	190	375	565	
	すれ違い時衝突	0	1	1	0	15	15	1	118	119	1	134	135	
	左折時衝突	0	14	14	0	82	82	1	497	498	1	593	594	
	右折時衝突	0	13	13	0	78	78	0	376	376	0	467	467	
	横断時衝突	0	0	0	0	1	1	0	8	8	0	9	9	
	転回時衝突	0	1	1	0	6	6	0	36	36	0	43	43	
	後退時衝突	0	0	0	0	10	10	24	366	390	24	376	400	
	その他	4	1	5	2	36	38	63	300	363	69	337	406	
小計	22	70	92	78	592	670	949	6,682	7,631	1,049	7,344	8,393		
車両単独	工作物衝突	電柱	0	0	0	0	0	0	4	4	0	4	4	
		標識	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	
		分離帯・安全島	1	1	2	0	2	2	4	7	11	5	10	15
		防護柵等	5	2	7	2	4	6	0	8	8	7	14	21
		家屋・塀	0	1	1	0	2	2	0	3	3	0	6	6
		橋梁・橋脚	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2
		その他	0	5	5	0	2	2	0	10	10	0	17	17
	駐車車両(運転者不在中)衝突	8	0	8	6	3	9	6	16	22	20	19	39	
	路外逸脱	転落	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	
		その他	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	2	
転倒	1	3	4	0	0	0	0	1	1	1	4	5		
その他	0	0	0	3	0	3	0	11	11	3	11	14		
小計	15	12	27	11	15	26	11	63	74	37	90	127		
列車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	40	159	199	96	767	863	964	7,155	8,119	1,100	8,081	9,181		

令和5年の死傷事故のうち、事故類型詳細区分別で発生件数が多い順に、追突-駐・停車中 3,706件 (40.4%)、出会い頭衝突 822件 (9.0%)、追越・追抜時衝突 608件 (6.6%)、左折時衝突 594件 (6.5%)、車両相互(その他) 593件 (6.5%)、進路変更時衝突 565件 (6.2%)、追突-進行中 549件 (6.0%)、右折時衝突 467件 (5.1%)、後退時衝突 400件 (4.4%)、横断中 349件 (3.8%) となっており、このうち追突の合計は、駐・停車中と進行中を合わせて 4,255 (46.4%) と、死傷事故全体 (9,181件) の半数近くを占めています。

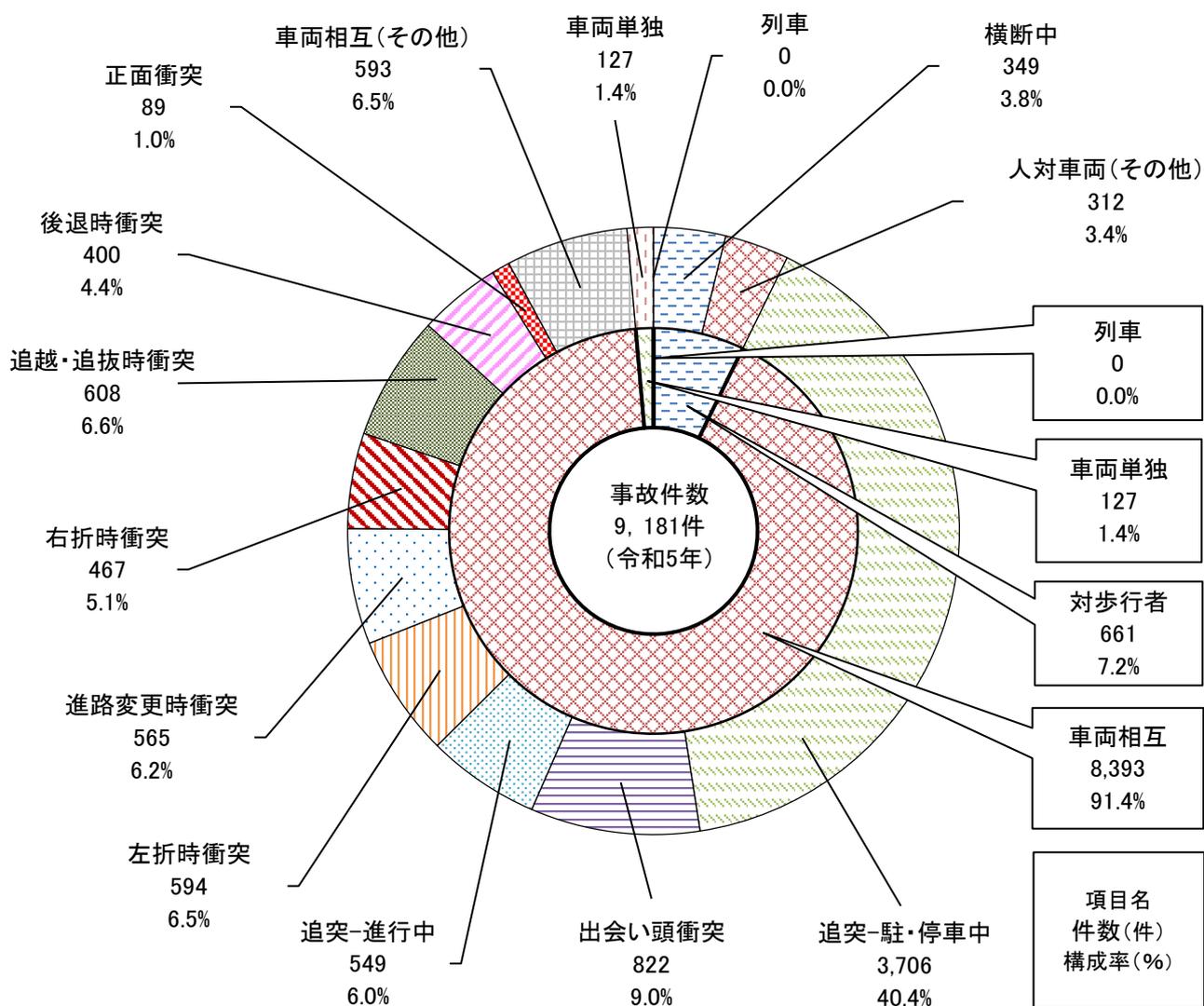


図3-1 事故類型別死傷事故件数の構成率 (令和5年)

令和5年の死傷事故のうち、高速道路における事故類型詳細区分別の発生件数が多い順に、追突-駐・停車中 460 件 (41.8%)、追突-進行中 223 件 (20.3%)、進路変更時衝突 190 件 (17.3%)、車両相互 (その他) 76 件 (6.9%)、追越・追抜時衝突 75 件 (6.8%)、後退時衝突 24 件 (2.2%)、駐車車両 20 件 (1.8%)、人対車両 (その他) 14 件 (1.3%)、工作物衝突 (防護柵等) 7 件 (0.6%)、車両単独 (その他) 及び工作物衝突 (分離帯) 各 5 件 (各 0.5%) で、このうち追突の合計は、駐・停車中と進行中を合わせて 683 件 (62.1%) と、高速道路における死傷事故全体 (1,100 件) の半数以上を占めています。

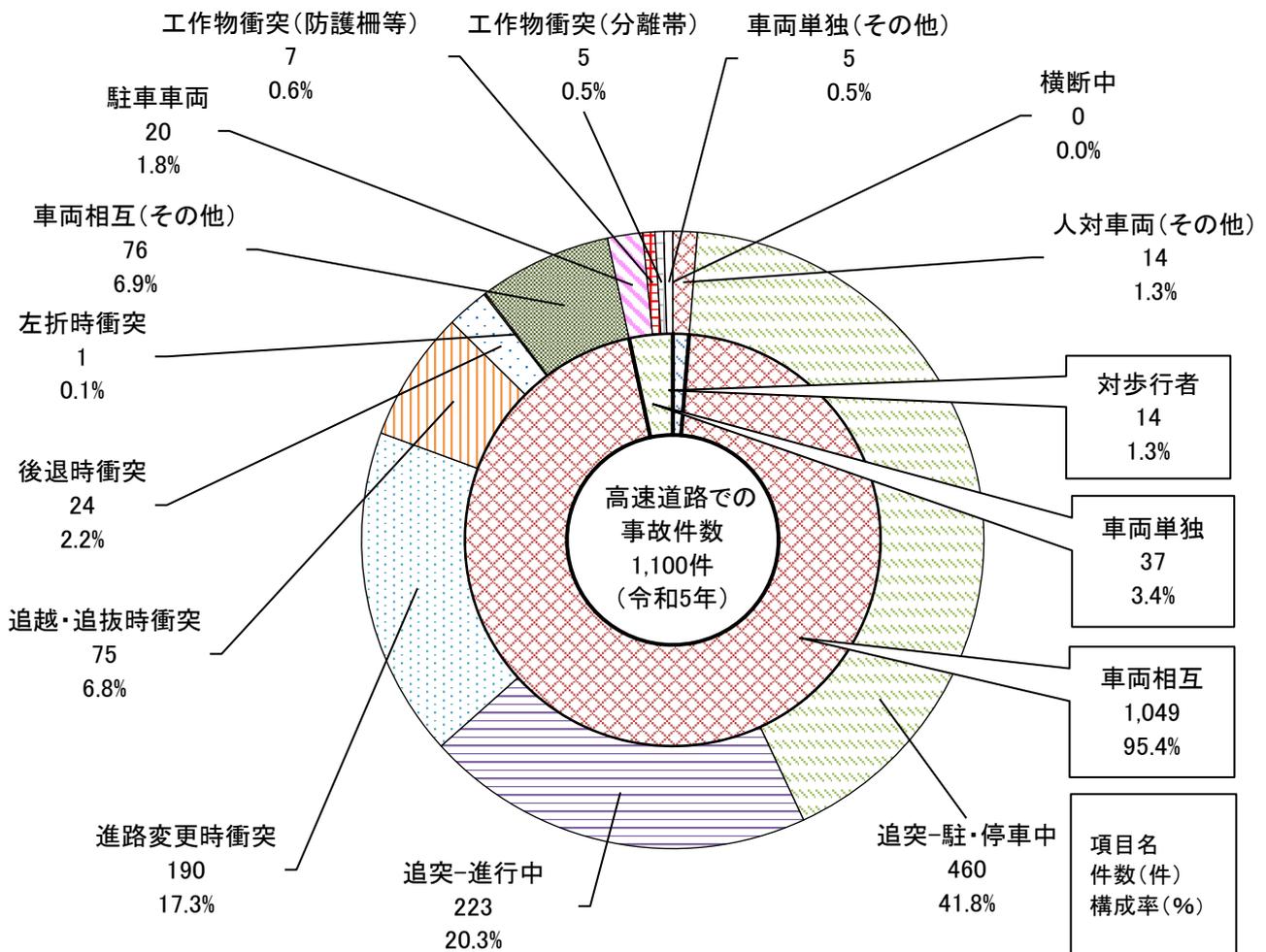


図 3-2 高速道路における事故類型別死傷事故件数の構成率 (令和5年)

参 考

(1) 事業用貨物自動車の主な事故類型の死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

- ・追突による死傷事故件数は、平成26年の9,292件から令和5年には4,255件となり、10年間で5,037件（54.2%）減少しています。

表 3-2 主な事故類型の死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

事故類型	年									
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
追突	9,292	8,541	7,637	7,290	6,914	5,639	4,447	4,326	4,376	4,255
対歩行者	1,129	1,069	912	935	894	817	643	683	670	661
出会い頭衝突	1,708	1,483	1,392	1,285	1,191	1,053	920	870	825	822
左折時衝突	1,038	930	879	851	824	746	619	627	595	594
右折時衝突	914	837	754	790	646	673	502	547	471	467
出会い頭衝突等	3,660	3,250	3,025	2,926	2,661	2,472	2,041	2,044	1,891	1,883
その他	3,720	3,296	3,026	3,066	2,959	2,701	2,318	2,362	2,434	2,382
事故件数	17,801	16,156	14,600	14,217	13,428	11,629	9,449	9,415	9,371	9,181

- ・死傷事故の構成率は、追突が令和3年までは減少傾向にあったものの、その後は横ばい傾向にある一方で、その他の構成率はほぼ横ばいで大きな変動は見られません。

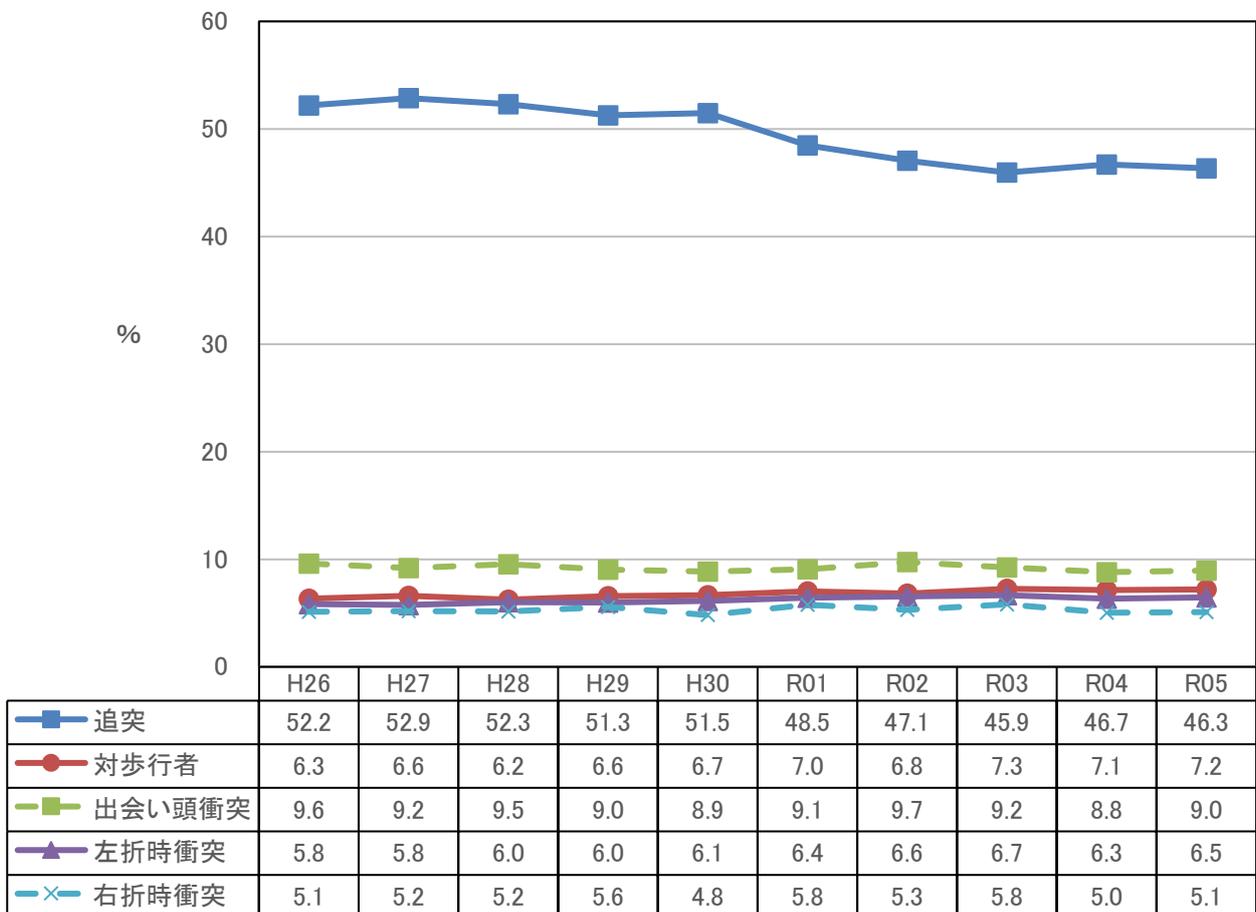


図 3-3 主な事故類型の死傷事故件数構成率の推移（平成26-令和5年）

・追突と出会い頭衝突等の構成率を比べると、追突は、平成26年以降は70%以上で推移していましたが、令和元年以降は70%を下回っています。

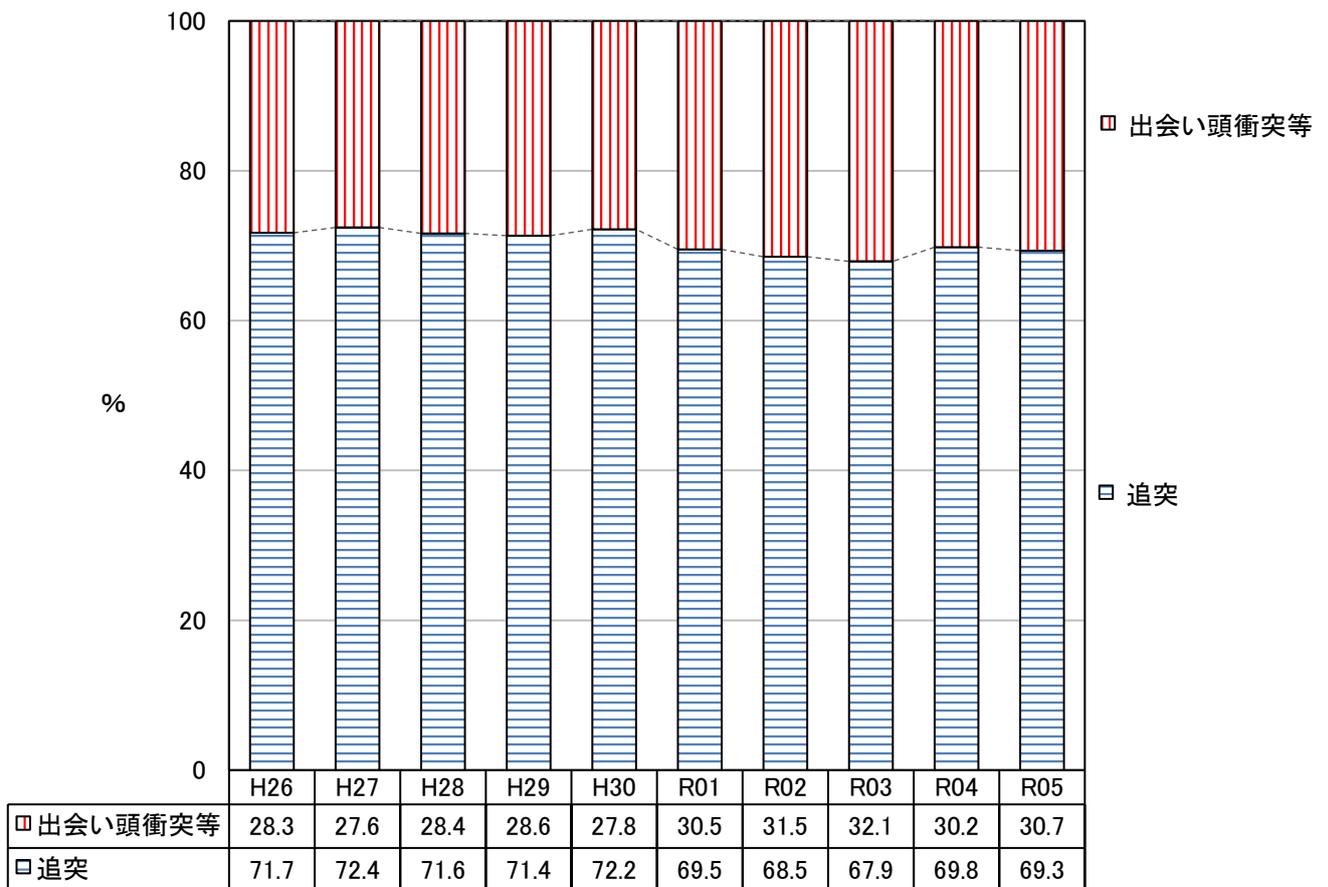
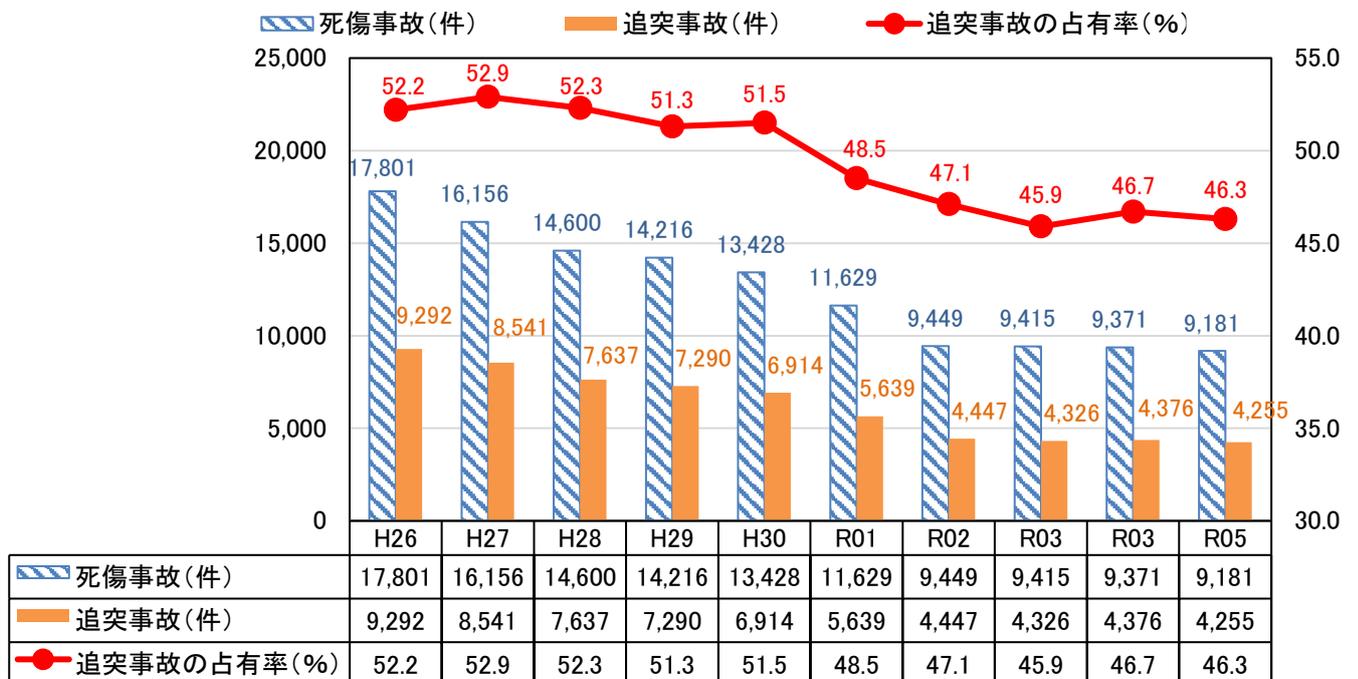


図3-4 「追突」と「出会い頭衝突等」による死傷事故件数構成率の推移（平成26-令和5年）



数字はいずれも軽自動車を含まない。出典：警察庁「交通事故統計」及び（公財）交通事故総合分析センター「交通統計」

図3-5 事業用貨物自動車を第1当事者とする「死傷事故」全体に占める「追突事故」の占有率の推移（平成26-令和5年）

(2) 事業用貨物自動車の主な事故類型の死亡事故件数の推移（平成26-令和5年）

- ・追突による死亡事故件数は、平成26年の58件から令和5年には30件となり、10年間で28件（48.3%）減少しています。

表3-3 主な事故類型の死亡事故件数の推移（平成26-令和5年）

事故類型	年										
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	
追突	58	50	44	40	48	37	40	31	26	30	
正面衝突	11	12	16	14	13	10	7	10	8	4	
出会い頭衝突等	出会い頭衝突	29	29	22	22	22	18	19	14	12	14
	左折時衝突	32	27	22	23	32	24	21	20	11	14
	右折時衝突	17	11	17	16	13	7	10	10	8	13
出会い頭衝突等	78	67	61	61	67	49	50	44	31	41	
その他	183	179	137	156	125	143	110	115	104	124	
事故件数	330	308	258	271	253	239	207	200	169	199	

- ・追突の構成率は、令和2年の19.3%を最大値、平成29年の14.8%を最小値とし、年によるばらつきが大きくなっていますが、令和3年以降は15%台の横ばいで推移しています。

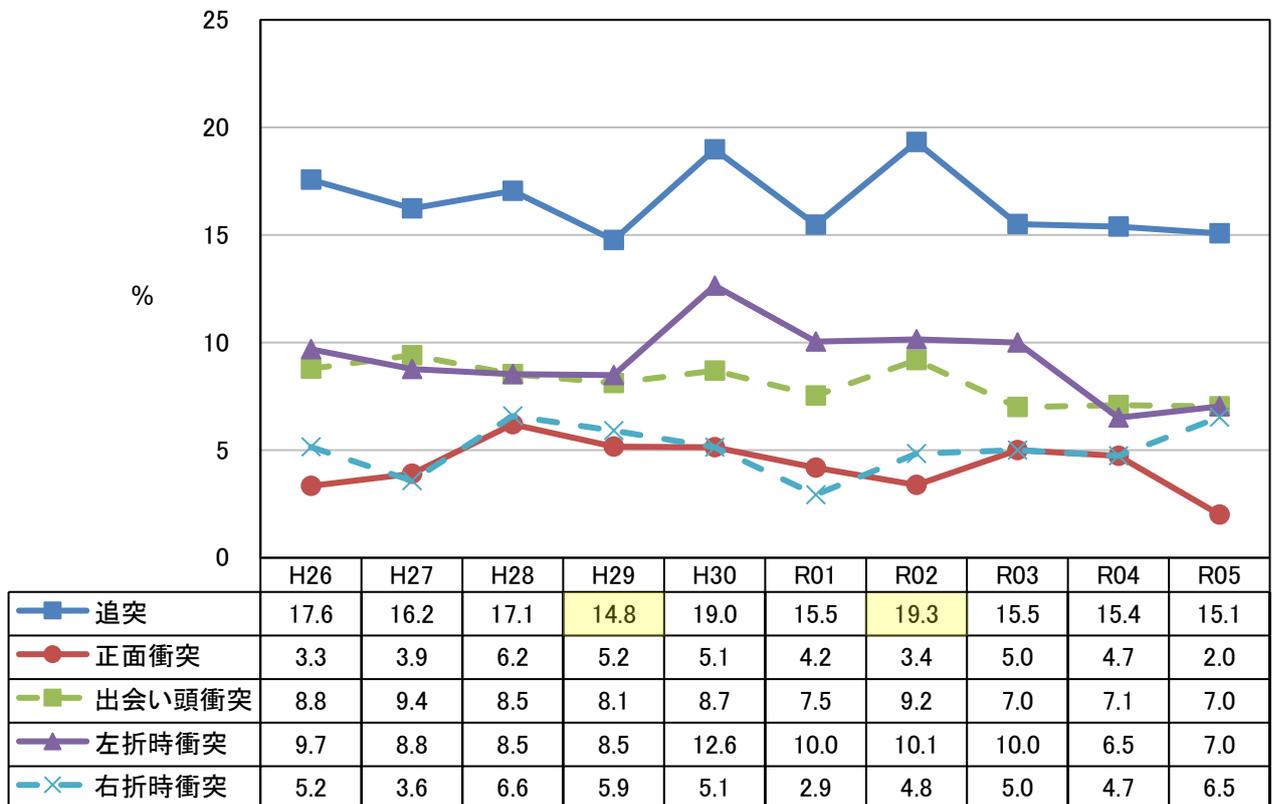


図3-6 主な事故類型の死亡事故件数構成率の推移（平成26-令和5年）

- ・ 追突と出会い頭衝突等の構成率を比べると、追突は年によりばらつきはあるものの、概ね40%台で推移しています。

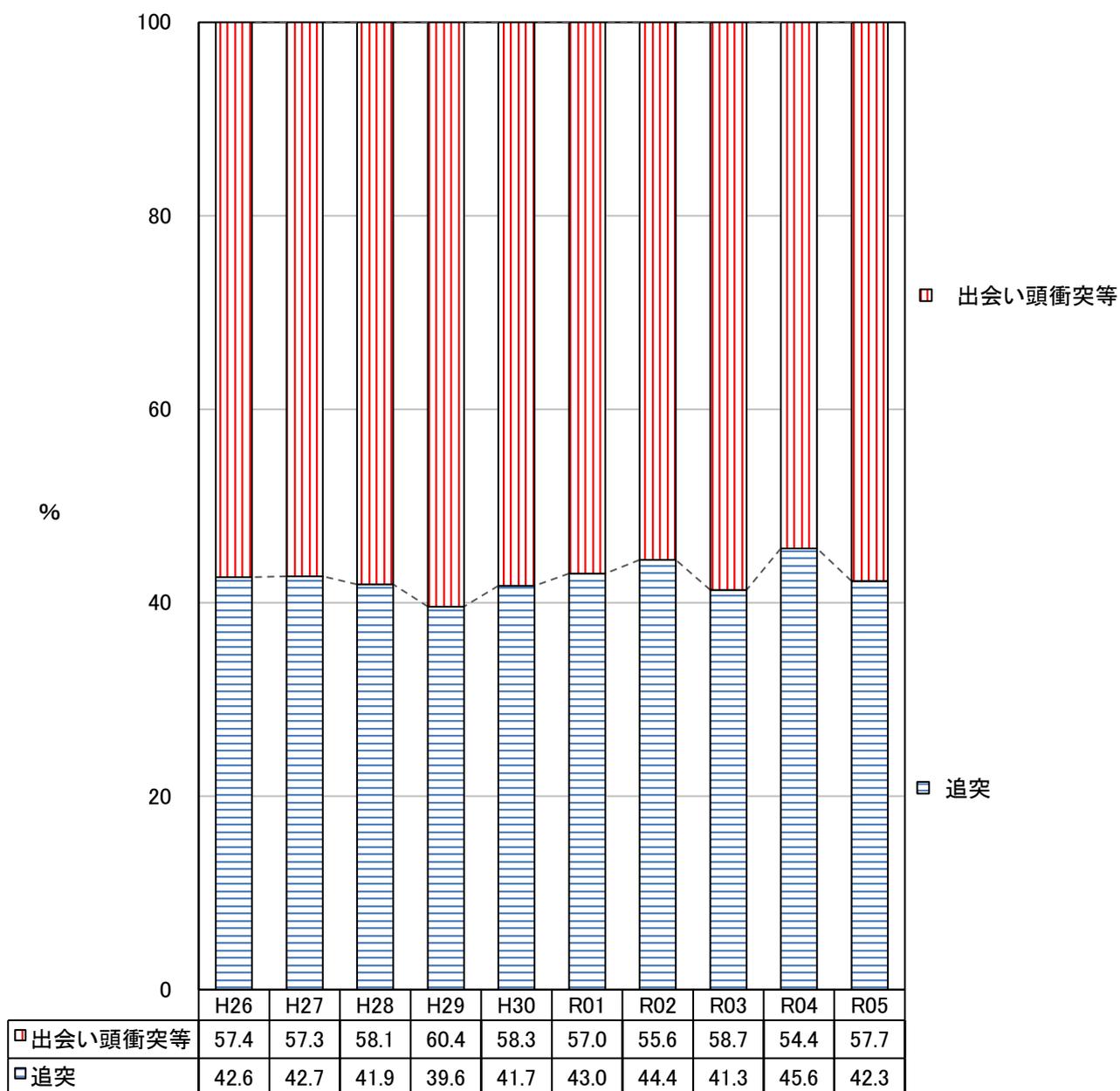


図3-7 「追突」と「出会い頭衝突等」による死亡事故件数構成率の推移（平成26-令和5年）

(3) 事業用貨物自動車の交差点内における死傷者数の推移（平成26-令和5年）

- ・交差点内における死傷者数は、平成26年の5,319人から令和5年には2,812人と減少傾向にあり、10年間で2,507人（47.1%）減少しています。
- ・そのうち死者は、平成26年の129人から令和5年の71人と、10年間で58人（45.0%）減少しています。
- ・一方、重傷者は、平成26年の529人から令和5年の357人と、10年間で172人（32.5%）減少しています。
- ・ただし、死者、重傷者は平成26年から令和5年までの10年間で減少しているものの、令和5年は前年と比較した場合、いずれも増加しています。
- ・また、軽傷者は、平成26年の4,661人から令和5年の2,384人と着実に減少しており、10年間で2,277人（48.9%）減少しています。

表3-4 交差点内における死傷者数の推移（平成26-令和5年）

(人)

年	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
死傷者数										
死者	129	111	88	100	84	89	72	77	69	71
重傷者	529	472	452	477	469	417	352	413	336	357
軽傷者	4,661	4,124	3,781	3,602	3,225	2,931	2,498	2,459	2,441	2,384
合計	5,319	4,707	4,321	4,179	3,778	3,437	2,922	2,949	2,846	2,812

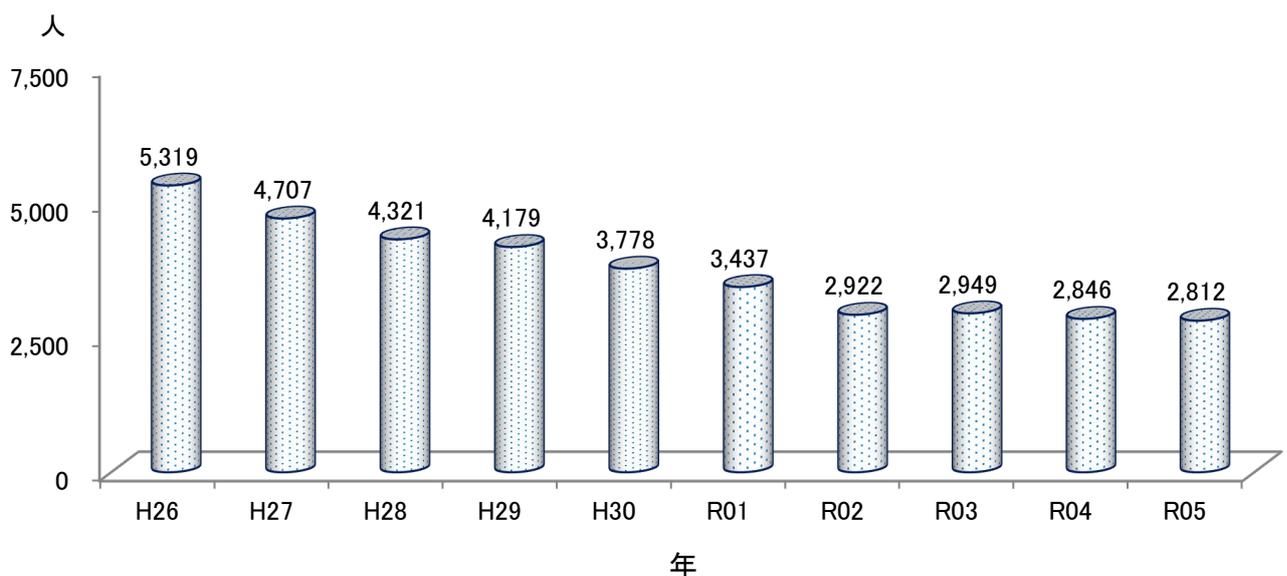


図3-8 交差点内における死傷者数の推移（平成26-令和5年）

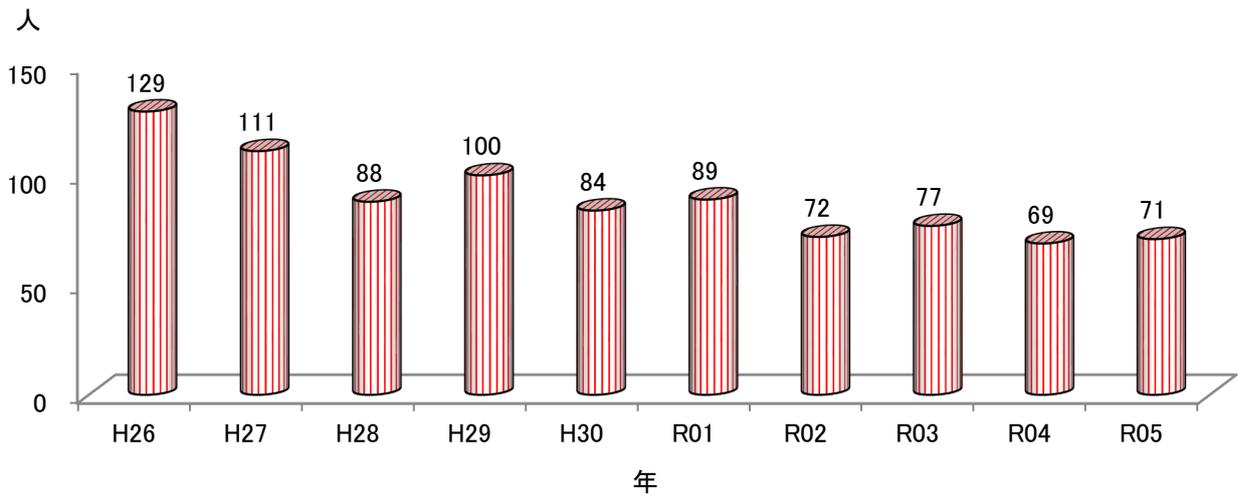


図 3-9 交差点内における死者数の推移（平成 26-令和 5 年）

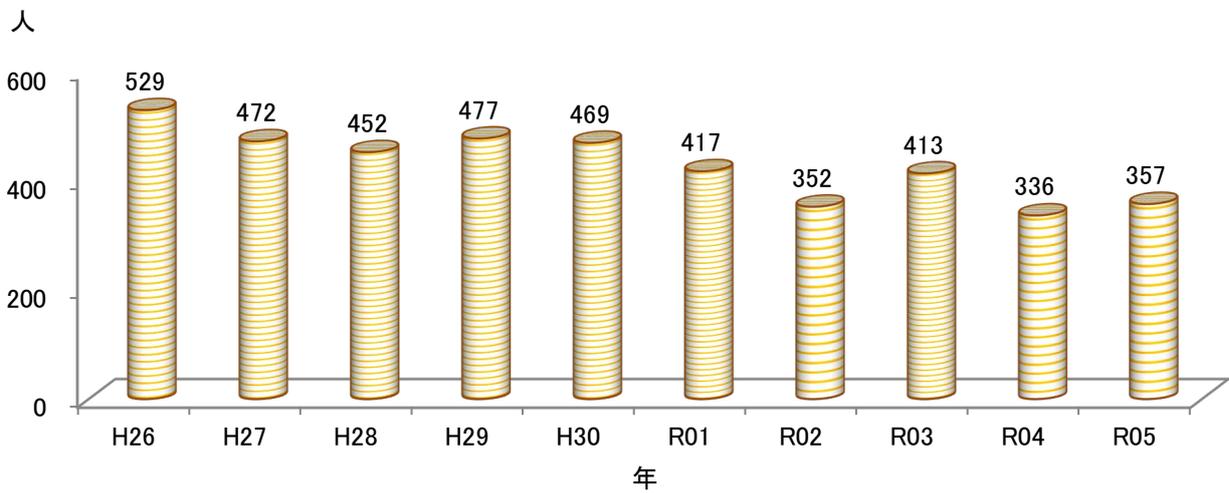


図 3-10 交差点内における重傷者数の推移（平成 26-令和 5 年）

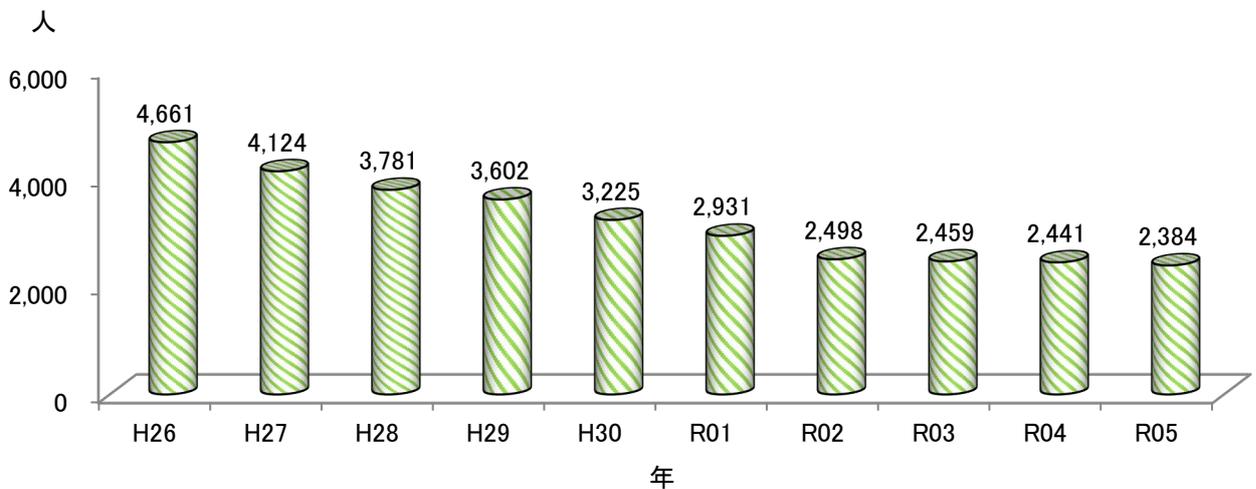


図 3-11 交差点内における軽傷者数の推移（平成 26-令和 5 年）

(4) 事業用貨物自動車の衝突地点別死者割合の推移（平成 26-令和 5 年）

- ・衝突地点別の死者割合（死傷者数に占める死者数の割合）は、平成 26 年から令和 5 年までの 10 年間、全衝突地点では 1.3%から 1.7%の範囲で推移しています。
- ・また、同じ期間、単路での死者割合は 1.1%から 1.6%の範囲で推移している一方、交差点内では 2.0%から 2.6%の範囲で推移しています。
- ・全衝突地点及び単路と比較すると、交差点内は死者割合が高くなっています。

表 3-5 衝突地点別死者割合の推移（平成 26-令和 5 年）

衝突地点		年									
		H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
全衝突地点	死傷者数(人)	24,002	21,678	19,435	18,891	17,768	15,283	12,083	12,002	12,101	11,950
	死者数(人)	340	312	270	280	260	245	211	206	174	207
	死者割合(%)	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.6	1.7	1.7	1.4	1.7
交差点内	死傷者数(人)	5,319	4,707	4,321	4,179	3,778	3,437	2,922	2,949	2,846	2,812
	死者数(人)	129	111	88	100	84	89	72	77	69	71
	死者割合(%)	2.4	2.3	2.0	2.3	2.2	2.5	2.4	2.6	2.4	2.5
単路	死傷者数(人)	17,468	15,893	14,148	13,824	13,071	11,022	8,497	8,477	8,789	8,654
	死者数(人)	202	196	170	169	173	147	136	123	104	128
	死者割合(%)	1.1	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.6	1.4	1.1	1.4

※ 死者割合＝死者数／死傷者数×100（小数点第 2 位切り捨て）

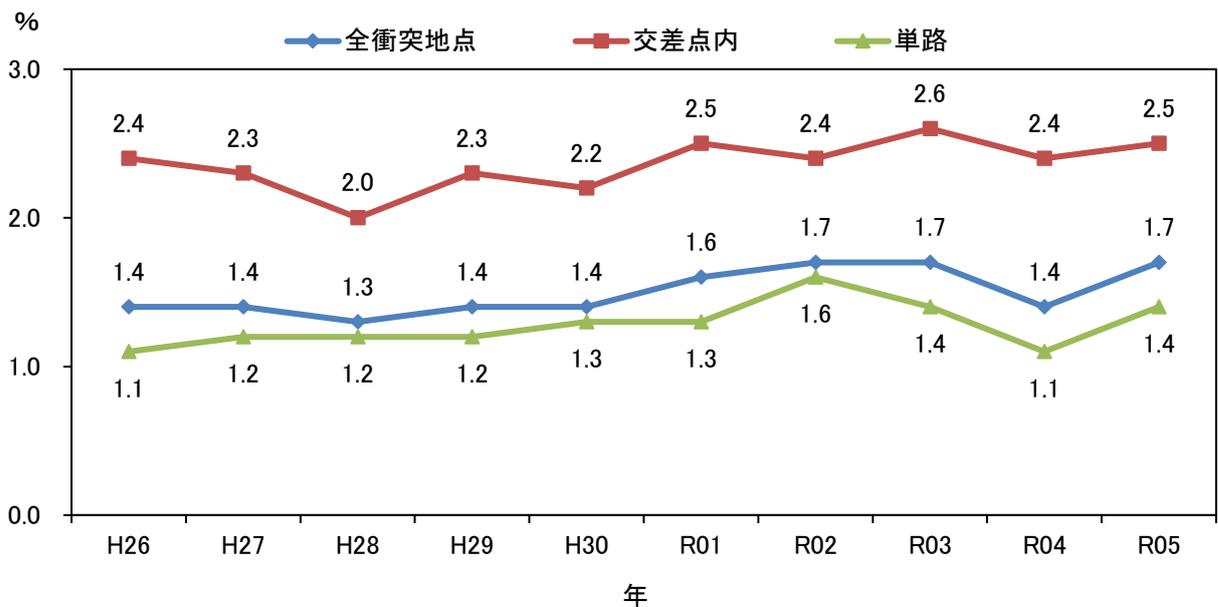


図 3-12 衝突地点別死者割合の推移（平成 26-令和 5 年）

4. 事業用貨物自動車の運転者年齢別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数

令和5年の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数は、50-54歳1,568件(17.1%)、55-59歳1,485件(16.2%)、45-49歳1,154件(12.6%)、60-64歳1,106件(12.0%)となっています。

また、他の年齢層に比べ45歳からの年齢において件数が大幅に増加し、45歳から64歳を合計すると5,313件となり全体の約6割を占めています。

表4-1 運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数(令和5年)

運転者年齢		24歳以下	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計
事故類型	追突	261	329	276	290	319	506	710	636	506	422	0	4,255
	出会い頭衝突	44	58	34	69	71	102	128	130	89	97	0	822
	正面衝突	2	3	8	10	8	16	9	11	10	12	0	89
	左折時衝突	12	27	30	39	50	78	113	124	68	53	0	594
	右折時衝突	20	28	27	19	40	56	78	75	66	58	0	467
	その他	77	100	124	125	175	278	393	372	277	245	0	2,166
	対歩行者	24	27	32	32	50	103	113	114	76	90	0	661
	車両単独	8	6	8	4	6	15	24	23	14	19	0	127
	列車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	448	578	539	588	719	1,154	1,568	1,485	1,106	996	0	9,181

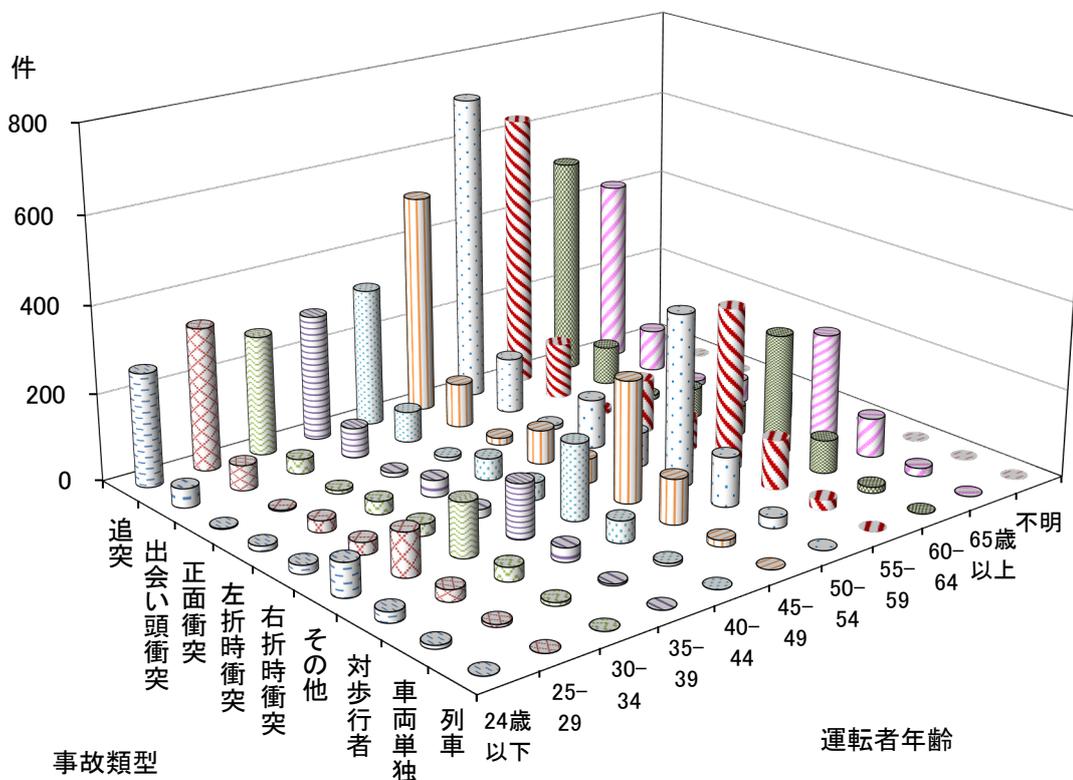


図4-1 運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数(令和5年)

(2) 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率

令和5年の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数の構成率は、車両相互のうち追突では、24歳以下58.3%、25-29歳56.9%、30-34歳51.2%となり、35歳未満での割合が高くなっています。

一方、車両相互のうち出会い頭衝突は、35-39歳11.7%、25-29歳10.0%、40-44歳9.9%となり、同じく左折時衝突は、55-59歳8.4%、50-54歳7.2%、40-44歳7.0%となり、さらに同じく右折時衝突は、60-64歳6.0%、65歳以上5.8%、40-44歳5.6%となっています。

また、対歩行者は、65歳以上9.0%、45-49歳8.9%、55-59歳7.7%となっています。

表4-2 運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和5年）

(%)

運転者年齢		24歳以下	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計
車両相互	追突	58.3	56.9	51.2	49.3	44.4	43.8	45.3	42.8	45.8	42.4	0.0	46.3
	出会い頭衝突	9.8	10.0	6.3	11.7	9.9	8.8	8.2	8.8	8.0	9.7	0.0	9.0
	正面衝突	0.4	0.5	1.5	1.7	1.1	1.4	0.6	0.7	0.9	1.2	0.0	1.0
	左折時衝突	2.7	4.7	5.6	6.6	7.0	6.8	7.2	8.4	6.1	5.3	0.0	6.5
	右折時衝突	4.5	4.8	5.0	3.2	5.6	4.9	5.0	5.1	6.0	5.8	0.0	5.1
	その他	17.2	17.3	23.0	21.3	24.3	24.1	25.1	25.1	25.0	24.6	0.0	23.6
対歩行者	5.4	4.7	5.9	5.4	7.0	8.9	7.2	7.7	6.9	9.0	0.0	7.2	
車両単独	1.8	1.0	1.5	0.7	0.8	1.3	1.5	1.5	1.5	1.3	1.9	0.0	1.4
列車	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0

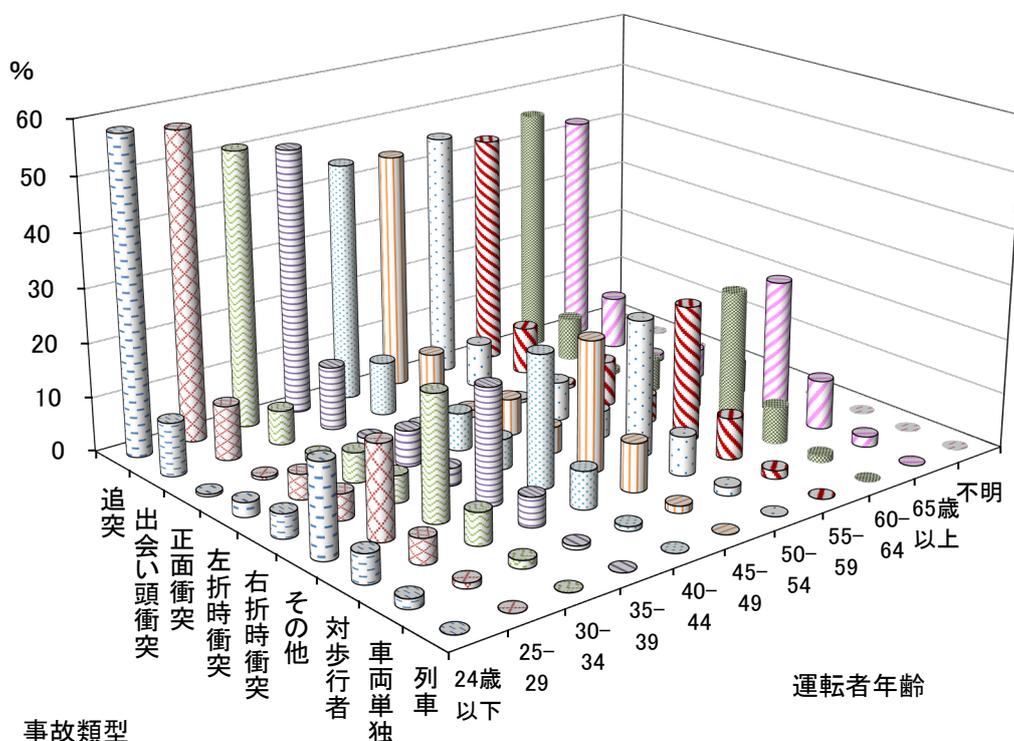


図4-2 運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和5年）

(3) 事業用貨物自動車の運転者年齢層別・第1当事者種別の死傷事故件数

令和5年の運転者年齢別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、50-54歳744件、55-59歳720件となっており、中型では、50-54歳463件、55-59歳405件、準中型では、50-54歳303件、55-59歳302件となり、普通では、24歳以下71件、65歳以上61件、60-64歳59件、50-54歳及び55-59歳が各58件となっています。

表4-3 運転者年齢別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和5年）

(件)

運転者年齢 第1当事者種別	24歳以下	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計
大型	99	226	240	245	312	568	744	720	490	407	0	4,051
中型	93	135	134	164	193	299	463	405	313	290	0	2,489
準中型	185	190	135	139	178	238	303	302	244	238	0	2,152
普通	71	27	30	40	36	49	58	58	59	61	0	489
合計	448	578	539	588	719	1,154	1,568	1,485	1,106	996	0	9,181

構成率でみると、大型は、45-49歳で49.2%、55-59歳で48.5%、50-54歳で47.4%と、45歳から59歳での割合が高く、中型は、50-54歳で29.5%、65歳以上で29.1%、60-64歳で28.3%となっています。

一方、準中型は、24歳以下で41.3%、25-29歳で32.9%、普通は、24歳以下で15.8%と若年層の割合が高くなっています。

このように、第1当事者の種別によって、運転者の年齢層が異なります。

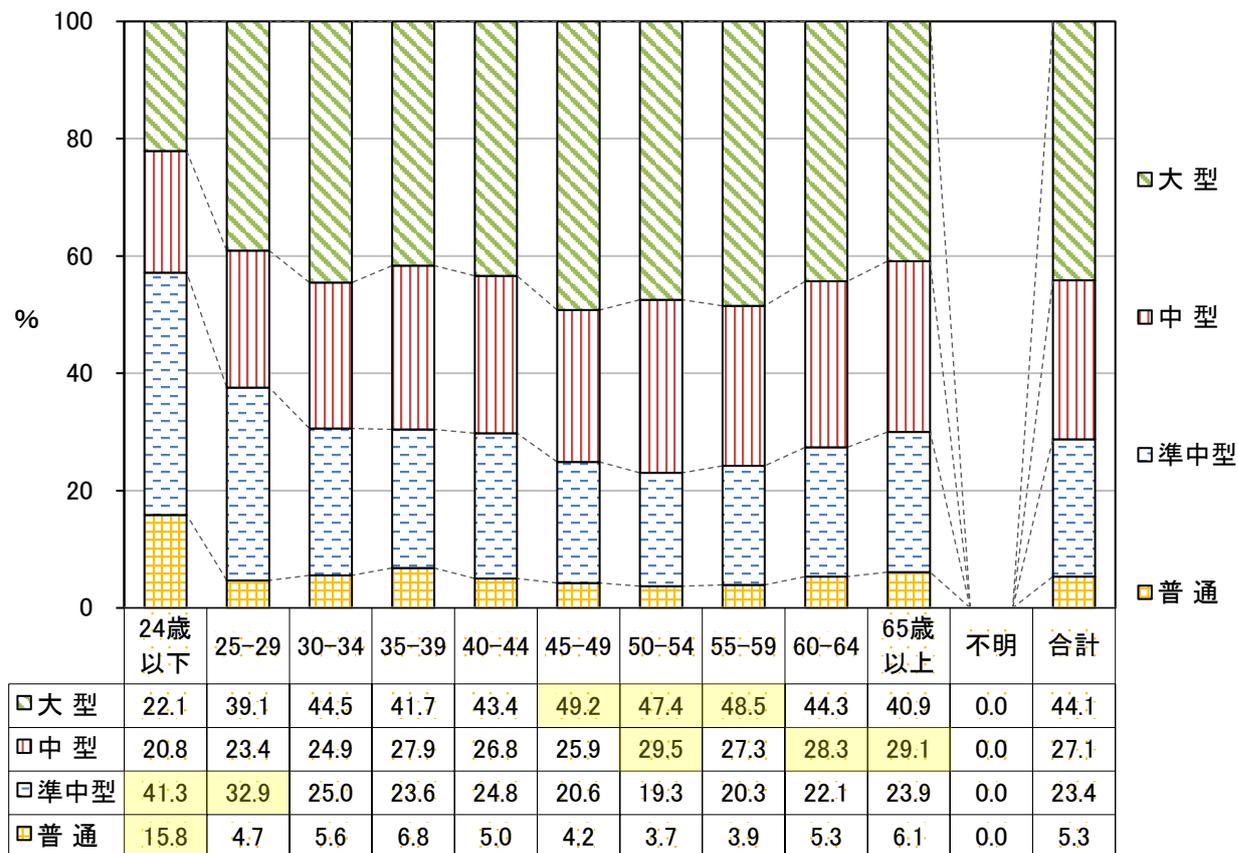


図4-3 運転者年齢別・当事者種別死傷事故件数の構成率（令和5年）

参 考

(1) 事業用貨物自動車の運転者年齢別死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

- ・運転者の年齢別の死傷事故件数は、平成26年から平成27年までの2年間は40-44歳が、平成28年から令和2年までの5年間は45-49歳が、令和3年以降は50-54歳がそれぞれ最も高くなっており、令和5年は50歳以上の年齢層で死傷事故全体の約5割を占めています。

表4-4 運転者年齢別死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

(件)

運転者年齢 \ 年	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
24歳以下	704	715	655	672	707	583	479	460	455	448
25-29歳	1,217	1,024	888	801	770	664	523	620	583	578
30-34歳	1,634	1,394	1,210	1,110	932	811	557	529	476	539
35-39歳	2,132	1,787	1,507	1,377	1,116	979	777	650	654	588
40-44歳	3,018	2,637	2,286	2,058	1,712	1,303	981	867	848	719
45-49歳	2,830	2,607	2,464	2,443	2,291	1,978	1,572	1,405	1,377	1,154
50-54歳	2,086	2,050	1,803	1,982	2,011	1,804	1,524	1,661	1,625	1,568
55-59歳	1,864	1,678	1,542	1,553	1,550	1,462	1,206	1,385	1,420	1,485
60-64歳	1,457	1,349	1,238	1,190	1,242	1,016	956	994	1,004	1,106
65歳以上	859	915	1,007	1,031	1,097	1,029	874	844	929	996
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	17,801	16,156	14,600	14,217	13,428	11,629	9,449	9,415	9,371	9,181

- ・構成率で見ると、30-49歳は平成26年から年によって多少の増減はあるものの、減少傾向にあるのに対し、50-59歳は増加の傾向にあります。
- ・特に、65歳以上においては、令和5年は平成26年と比較して2倍以上の増加となっています。

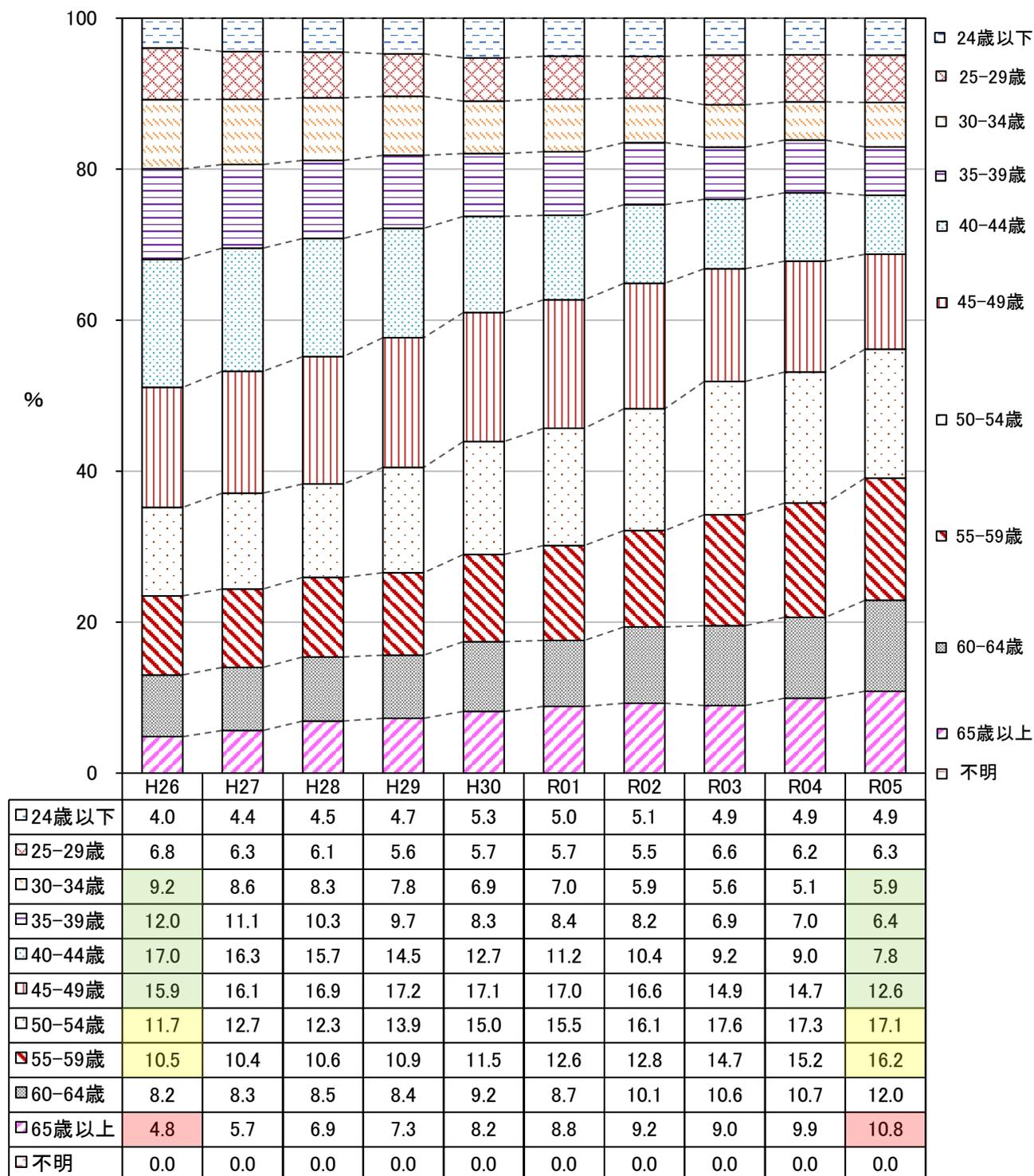


図4-4 運転者年齢別死傷事故数構成率の推移（平成26-令和5年）

(2) 事業用貨物自動車の運転者年齢別死亡事故件数の推移（平成26-令和5年）

- ・運転者の年齢別の死亡事故件数は、平成26年から平成28年までの3年間は40-44歳及び45-49歳が多かったものが、平成29年以降は45-59歳の年齢層に中心が移り、全体に高齢化の傾向が見られます。
- ・また、平成30年以降は50歳以上の年齢層で死亡事故全体の約5割を占めています。

表4-5 運転者年齢別死亡事故件数の推移（平成26-令和5年）

(件)

運転者年齢 \ 年	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
24歳以下	9	8	9	3	5	8	8	8	4	8
25-29歳	16	18	9	11	6	12	9	13	9	14
30-34歳	36	27	19	21	11	16	11	7	7	14
35-39歳	29	36	20	26	22	13	12	14	11	9
40-44歳	65	51	48	35	37	29	22	24	16	18
45-49歳	53	51	43	56	42	41	44	34	29	34
50-54歳	48	40	39	50	53	38	22	41	36	29
55-59歳	28	31	31	34	31	44	30	21	26	24
60-64歳	29	32	20	18	33	18	28	19	23	28
65歳以上	17	14	20	17	13	20	21	19	8	21
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	330	308	258	271	253	239	207	200	169	199

- ・構成率でみると、44歳以下の年齢層は、平成26年の46.9%から令和5年の31.5%と10年間で15.4ポイント減少しましたが、45歳以上は増加する傾向にあり、特に令和5年の65歳以上の年齢層においては、平成26年と比較して2倍以上の増加となっています。

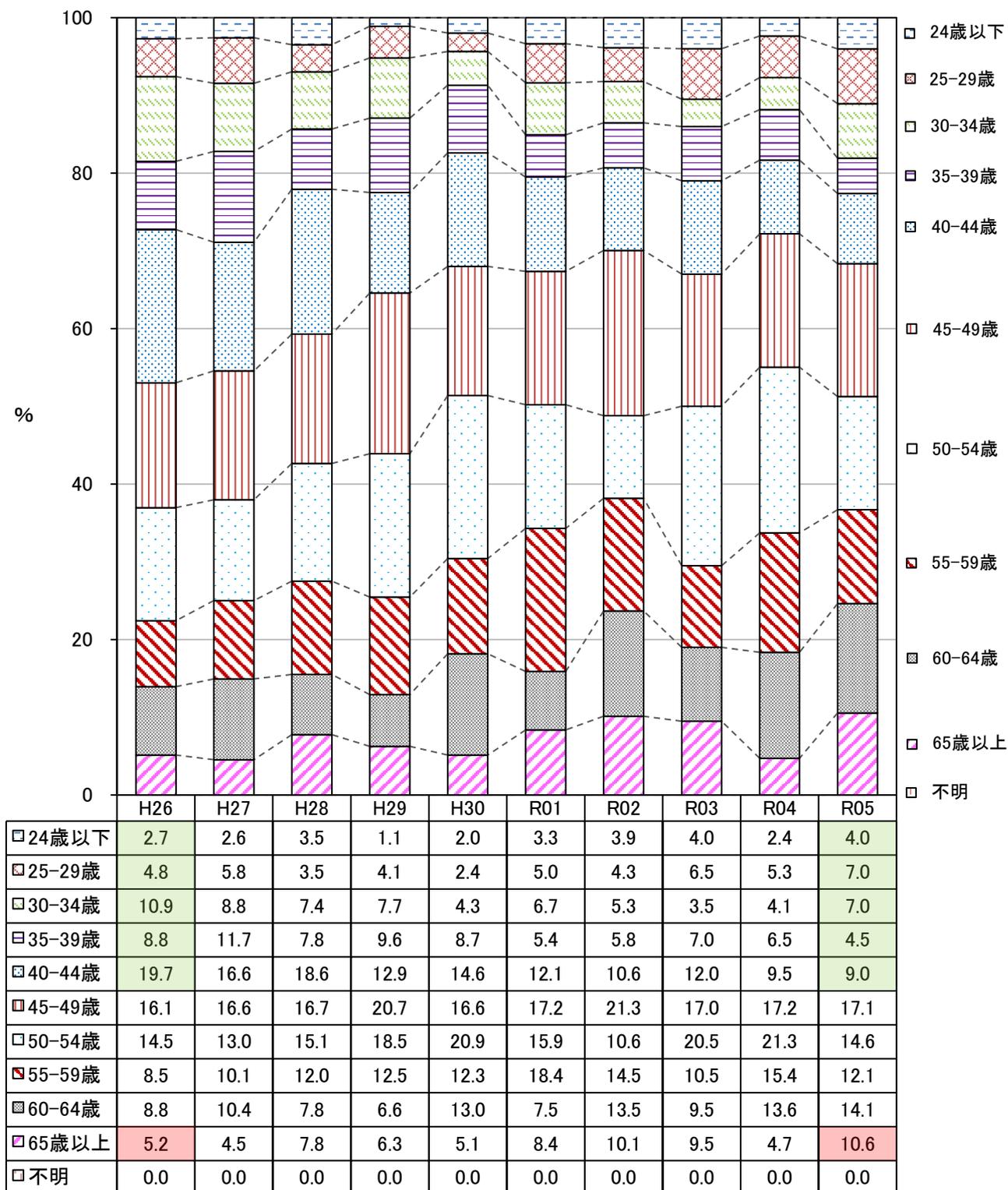


図 4-5 運転者年齢別死亡事故件数構成率の推移（平成26-令和5年）

5. 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故件数の構成率（令和5年）

令和5年の時間帯別の死傷事故件数及び構成率は、8-9時台1,566件（17.1%）、10-11時台1,557件（17.0%）、12-13時台1,212件（13.2%）となっています。

一方、死亡事故の件数及び構成率は、2-3時台29件（14.6%）、12-13時台24件（12.1%）4-5時台23件（11.6%）となっています。

また、死亡事故率（死傷事故件数に占める死亡事故件数の割合）は、2-3時台11.2%、0-1時台6.8%、4-5時台で5.4%であり、死傷事故全体の死亡事故率（2.2%）と比較して、深夜や早朝の割合が高くなっています。

表 5-1 時間帯別死傷事故件数の構成率（令和5年）

事故種別 時間(2時間毎)	死傷事故		死亡事故		死亡事故率(%) (A/B)
	件数(B)(件)	構成率(%)	件数(A)(件)	構成率(%)	
0-1	235	2.6	16	8.0	6.8
2-3	259	2.8	29	14.6	11.2
4-5	423	4.6	23	11.6	5.4
6-7	1,011	11.0	9	4.5	0.9
8-9	1,566	17.1	23	11.6	1.5
10-11	1,557	17.0	15	7.5	1.0
12-13	1,212	13.2	24	12.1	2.0
14-15	1,085	11.8	15	7.5	1.4
16-17	824	9.0	16	8.0	1.9
18-19	460	5.0	5	2.5	1.1
20-21	296	3.2	13	6.5	4.4
22-23	253	2.8	11	5.5	4.3
合計	9,181	100.0	199	100.0	2.2

※ 死亡事故率=死亡事故件数/死傷事故件数×100（小数点第2位切り捨て）

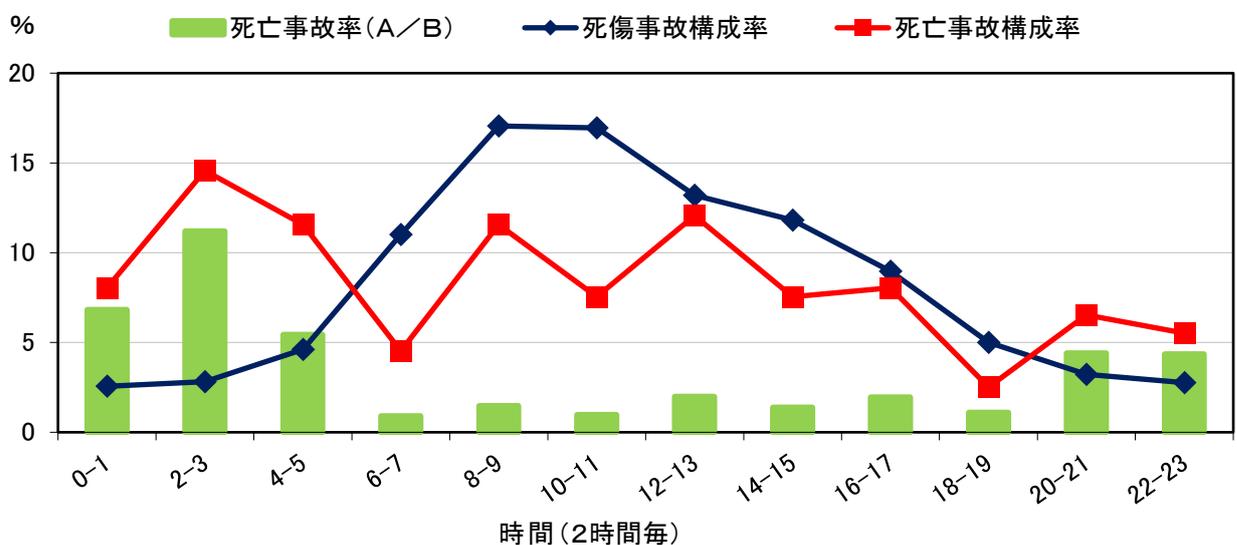


図 5-1 時間帯別死亡事故件数の構成率（令和5年）

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和5年）

令和5年の時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、10-11時台664件、8-9時台662件、12-13時台544件、14-15時台447件となっています。

同様に中型では、8-9時台409件、10-11時台401件、6-7時台306件となっています。

また、準中型では、10-11時台420件、8-9時台402件、12-13時台311件となっており、普通では、8-9時台93件、14-15時台79件、10-11時台72件となっており、6-15時台の朝から昼間にかけての割合が多くなっています。

表 5-2 時間帯別・第1当事者別の死傷事故件数（令和5年）

(件)

時間(2時間毎)	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
第1当事者種別													
大型	119	126	193	407	662	664	544	447	391	227	133	138	4,051
中型	72	86	139	306	409	401	287	268	209	130	103	79	2,489
準中型	39	42	78	247	402	420	311	291	164	82	47	29	2,152
普通	5	5	13	51	93	72	70	79	60	21	13	7	489
合計	235	259	423	1,011	1,566	1,557	1,212	1,085	824	460	296	253	9,181

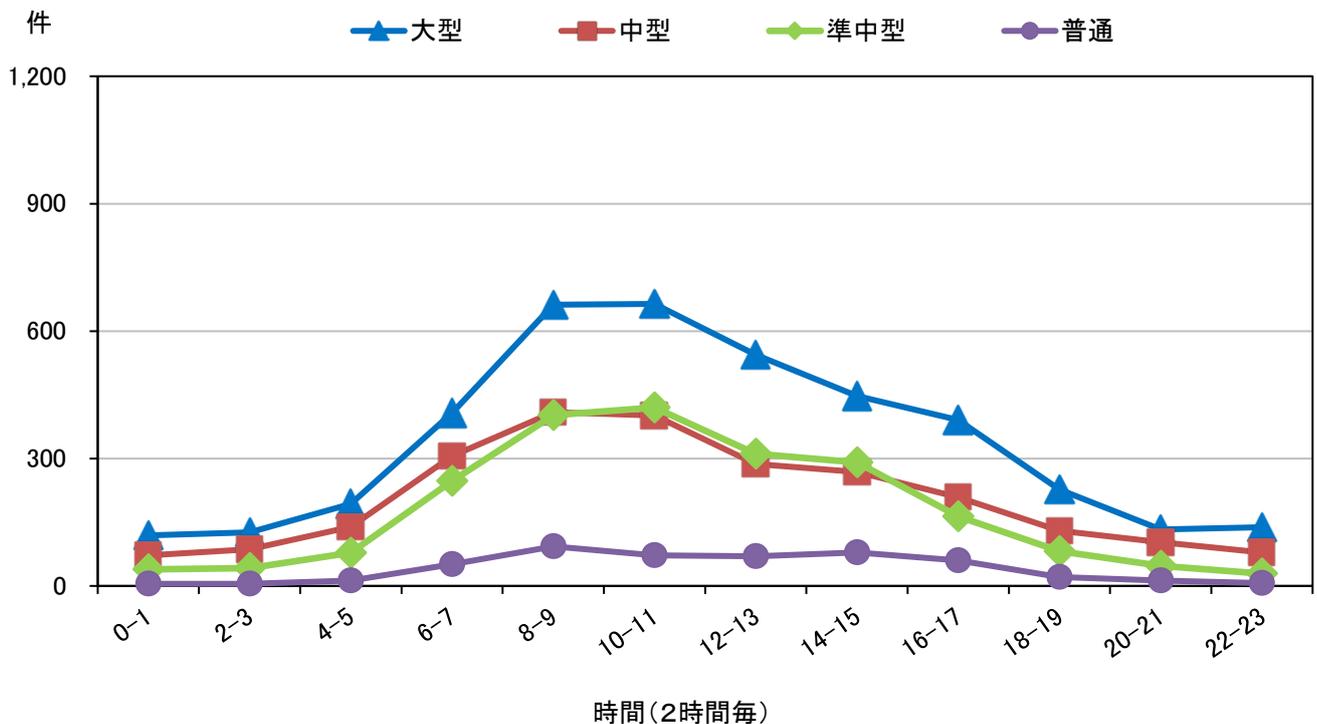


図 5-2 時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和5年）

(3) 事業用貨物自動車の時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数（令和5年）

令和5年の時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数は、大型では、8-9時台18件、2-3時台及び12-13時台各17件、4-5時台14件となっています。

同様に中型では、2-3時台10件、0-1時台8件となっています。

また、準中型では、10-11時台及び12-13時台各4件、4-5時台、8-9時台及び16-17時台各3件となっており、普通では、10-11時台3件となっています。

全体的に、21ページの死傷事故の傾向に比べてばらつきが大きいものの、大型及び中型が夜間や深夜にかけての時間帯が多いのに対し、準中型及び普通は朝から昼間にかけての時間帯が多いなど、それぞれの車両が活動する時間帯に死亡事故件数が多くなっています。

表5-3 時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数（令和5年）

(件)

時間(2時間毎)	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
第1当事者種別													
大型	7	17	14	3	18	5	17	11	10	4	6	7	119
中型	8	10	6	5	1	3	3	2	3	1	6	3	51
準中型	1	2	3	1	3	4	4	1	3	0	0	1	23
普通	0	0	0	0	1	3	0	1	0	0	1	0	6
合計	16	29	23	9	23	15	24	15	16	5	13	11	199

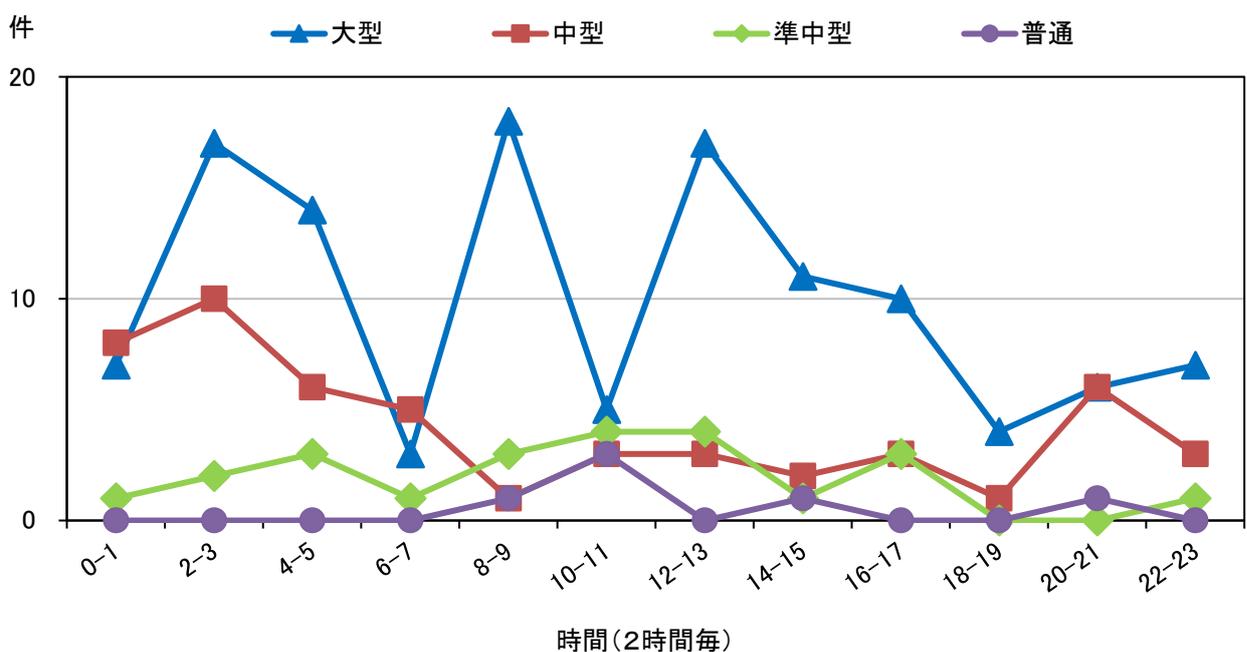


図5-3 時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数（令和5年）

参 考

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

- ・時間帯別の死傷事故件数は、平成26年から令和2年までの7年間、いずれも10-11時台が最も多くなっていましたが、令和3年以降は、8-9時台が最も多くなりました。
- ・10-11時台は、平成26年の2,882件から令和5年は1,557件となり、10年間で大幅に減少しています。

表5-4 時間帯別死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

(件)

年 時間(2時間毎)	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
0-1	554	488	436	419	379	297	227	209	234	235
2-3	595	561	416	452	414	298	250	245	254	259
4-5	893	818	739	732	670	608	457	422	444	423
6-7	1,952	1,770	1,643	1,511	1,530	1,279	1,059	1,005	1,011	1,011
8-9	2,797	2,601	2,395	2,310	2,211	1,988	1,605	1,632	1,633	1,566
10-11	2,882	2,639	2,438	2,388	2,242	1,997	1,608	1,600	1,537	1,557
12-13	2,303	2,049	1,858	1,871	1,763	1,475	1,234	1,300	1,225	1,212
14-15	2,092	1,891	1,730	1,752	1,585	1,389	1,141	1,170	1,117	1,085
16-17	1,647	1,429	1,257	1,225	1,195	1,052	801	809	843	824
18-19	955	923	745	709	655	578	487	484	475	460
20-21	581	536	469	465	421	353	308	292	328	296
22-23	550	451	474	383	363	315	272	247	270	253
合計	17,801	16,156	14,600	14,217	13,428	11,629	9,449	9,415	9,371	9,181

- ・構成率でみると、平成 26 年から令和 5 年の 10 年間、8-9 時台及び 10-11 時台が微増傾向にあります。
- ・一方、0-1 時台、2-3 時台及び 4-5 時台は減少傾向にありましたが、ここ数年は微増減を繰り返しほぼ横ばい状態です。
- ・その他の時間帯では、大きな変動はみられません。

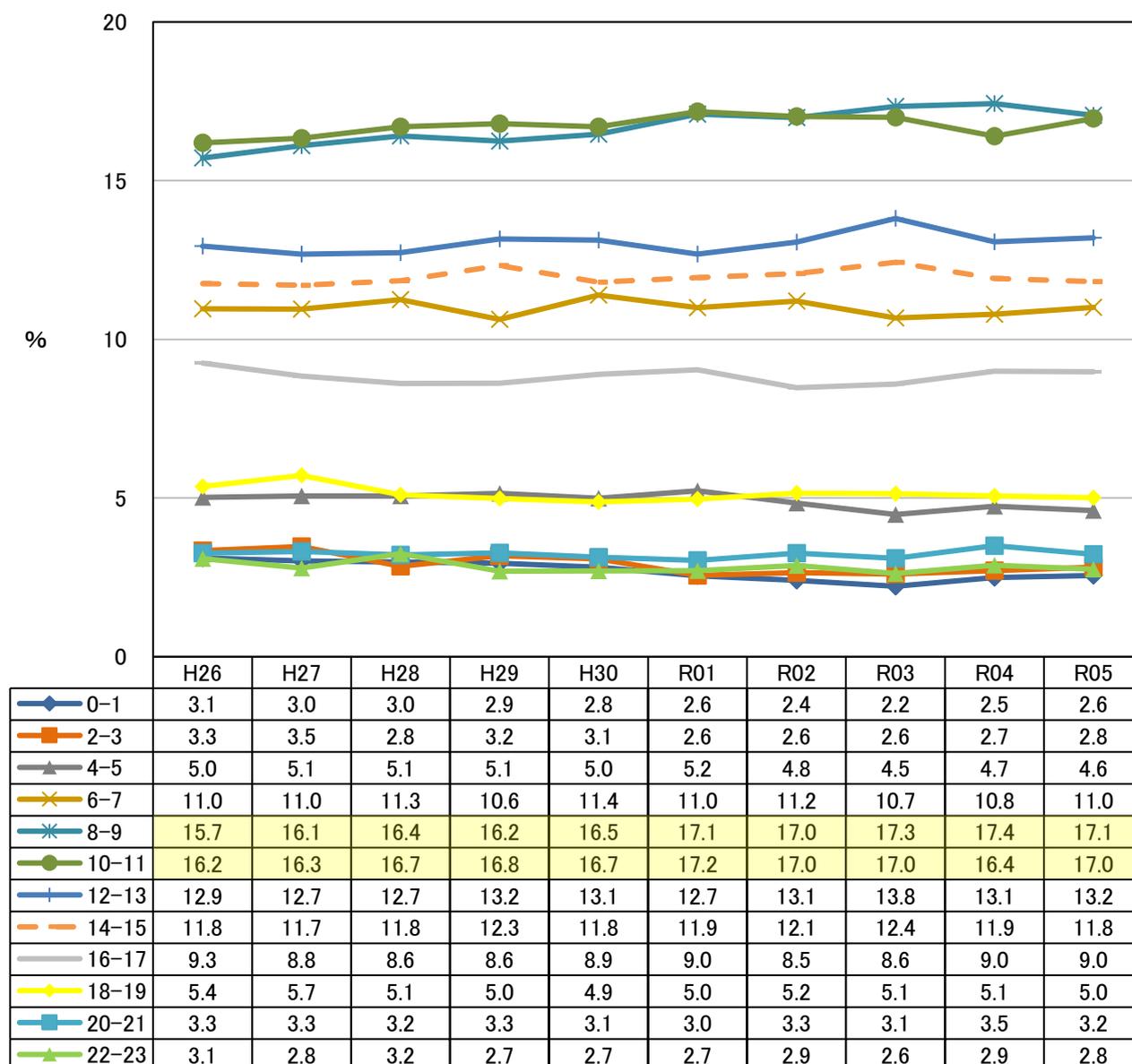


図 5-4 時間帯別死傷事故件数構成率の推移（平成 26-令和 5 年）

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別死亡事故件数の推移（平成 26-令和 5 年）

- ・時間帯別の死亡事故件数は、平成 26 年から平成 29 年の 4 年間は、4-5 時台が最も多くなっていたましたが、平成 29 年及び 30 年に 10-11 時台、令和元年及び 2 年に再び 4-5 時台、令和 3 年に 6-7 時台、令和 4 年には 2-3 時台及び 4-5 時台、令和 5 年は 2-3 時台が最も多くなりました。
- ・4-5 時台は、平成 26 年の 47 件から令和 5 年には 23 件となり、10 年間で 24 件（51.1%）と大幅に減少しています。

表 5-5 時間帯別死亡事故件数の推移（平成 26-令和 5 年）

年 時間(2時間毎)	(件)									
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
0-1	31	33	24	17	26	24	20	16	20	16
2-3	37	41	26	32	26	27	21	16	21	29
4-5	47	43	44	36	30	31	31	24	21	23
6-7	24	25	19	28	28	16	17	26	12	9
8-9	33	27	26	28	21	22	19	18	18	23
10-11	27	28	37	36	36	29	23	18	13	15
12-13	28	20	14	14	18	20	17	9	19	24
14-15	23	19	16	25	10	14	12	18	7	15
16-17	25	20	14	12	24	10	14	9	6	16
18-19	15	15	11	12	7	20	11	16	10	5
20-21	19	19	10	15	11	11	10	11	6	13
22-23	21	18	17	16	16	15	12	19	16	11
合計	330	308	258	271	253	239	207	200	169	199

- ・構成率でみると、平成26年から令和5年までの10年間は、4-5時台の割合が高く、11%台から17%台の間で推移していましたが、令和5年は2-3時台、12-13時台が高い割合を占め、その後に4-5時台、8-9時台と続いています。
- ・平成26年から令和5年までの10年間を通して、0-5時の深夜・早朝時間帯の割合が高く逆に18-19時の夕方から夜間時間帯の割合は低い傾向にありますが、令和4年、5年の2年間は12-13時の割合が高くなっています。
- ・全体的に、24ページの死傷事故の傾向に比べてばらつきが大きくなっています。

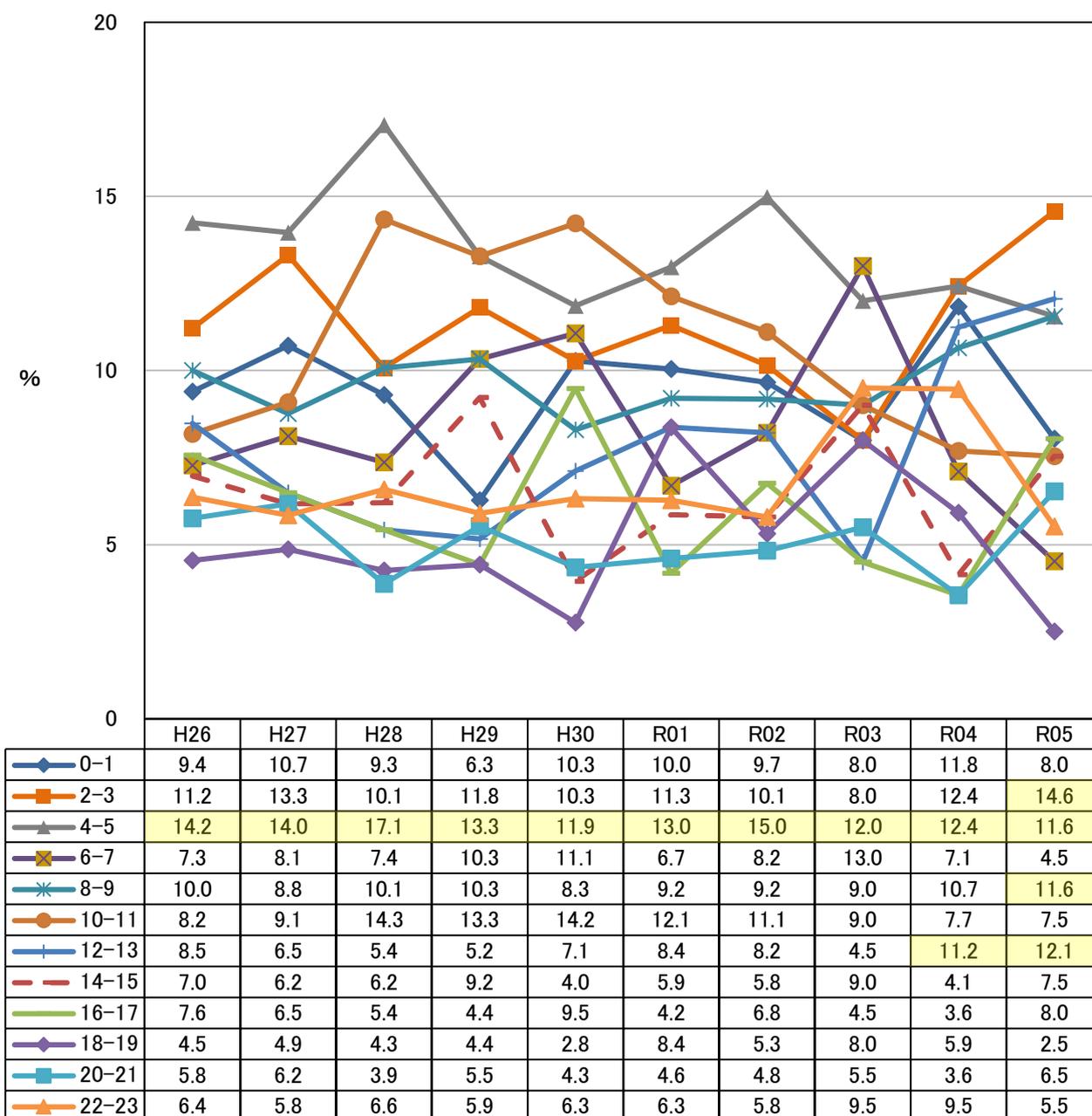


図5-5 時間帯別死亡事故件数情勢率の推移（平成26-令和5年）

6. 事業用貨物自動車の危険認知速度別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和5年）

令和5年の危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、10km/h以下が1,229件、41-50km/hが530件、11-20km/hが521件となっています。中型では、10km/h以下が713件、31-40km/hが410件、11-20km/hが355件となっており、準中型では、10km/h以下が778件、11-20km/hが355件、31-40km/hが343件、普通では、10km/h以下が216件、11-20km/hが103件、21-30km/hが69件となっています。

概して、10km/h以下での死傷事故が特に多くなっています。

表6-1 危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和5年）

危険認知速度 第1当事者種別	(件)															合計
	10km/h以下	20km/h以下	30km/h以下	40km/h以下	50km/h以下	60km/h以下	70km/h以下	80km/h以下	90km/h以下	100km/h以下	120km/h以下	140km/h以下	160km/h以下	160km/h超	不明	
大型	1,229	521	369	491	530	422	165	197	103	12	2	0	1	0	9	4,051
中型	713	355	242	410	348	217	85	63	32	15	3	0	0	0	6	2,489
準中型	778	355	278	343	214	128	29	11	4	5	1	0	0	0	6	2,152
普通	216	103	69	44	37	14	2	3	0	0	1	0	0	0	0	489
合計	2,936	1,334	958	1,288	1,129	781	281	274	139	32	7	0	1	0	21	9,181

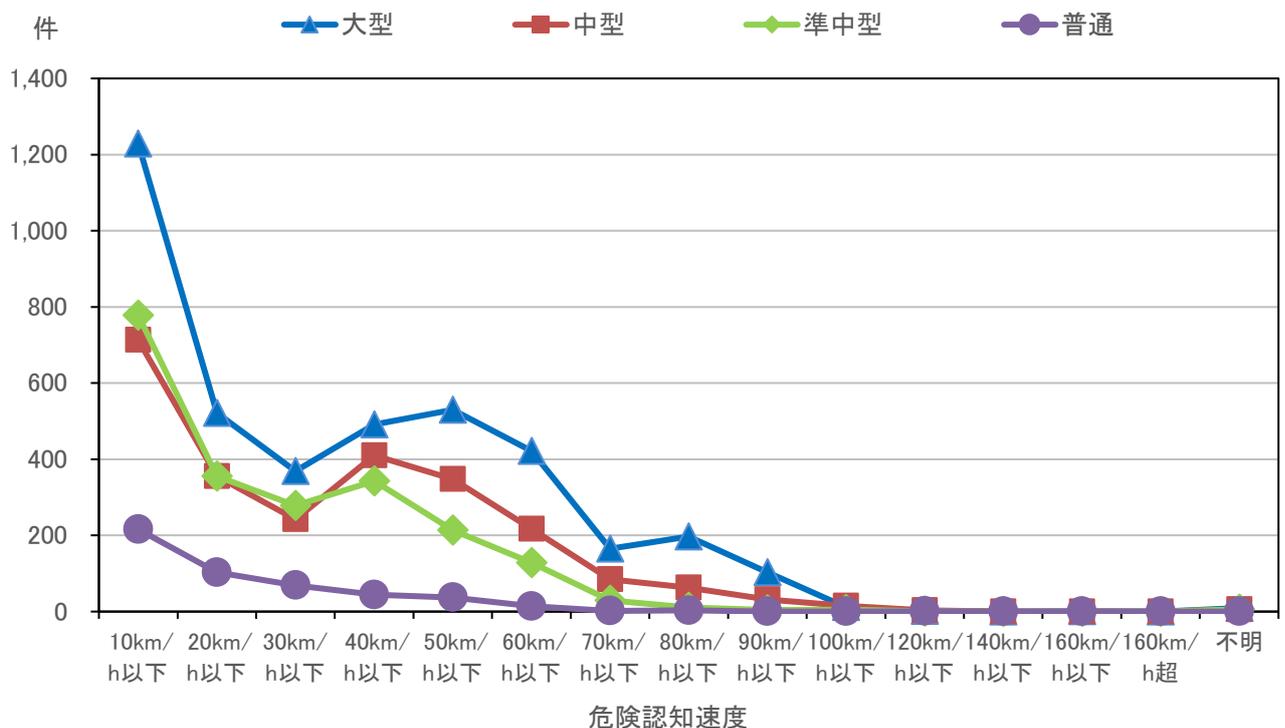


図6-1 危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和5年）

(2) 事業用貨物自動車の危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数（令和5年）

令和5年の危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数は、大型では、10km/h以下が22件、11-20km/h及び71-80km/hが各18件、51-60km/hが17件となっています。中型では、41-50km/hが17件、51-60km/hが13件、11-20km/hが6件となっており、準中型では、31-40km/hが9件、51-60km/hが4件、普通では、11-20km/hが2件となっています。

概して、20km/h以下と51-60km/hでの死亡事故が多くなっています。

表6-2 危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数（令和5年）

危険認知速度 第1当事者種別	(件)															
	10km/h以下	20km/h以下	30km/h以下	40km/h以下	50km/h以下	60km/h以下	70km/h以下	80km/h以下	90km/h以下	100km/h以下	120km/h以下	140km/h以下	160km/h以下	160km/h超	不明	合計
大型	22	18	4	8	13	17	10	18	8	0	0	0	0	0	1	119
中型	2	6	0	2	17	13	4	4	2	1	0	0	0	0	0	51
準中型	1	2	2	9	3	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	23
普通	1	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
合計	26	28	7	19	34	35	15	23	10	1	0	0	0	0	1	199

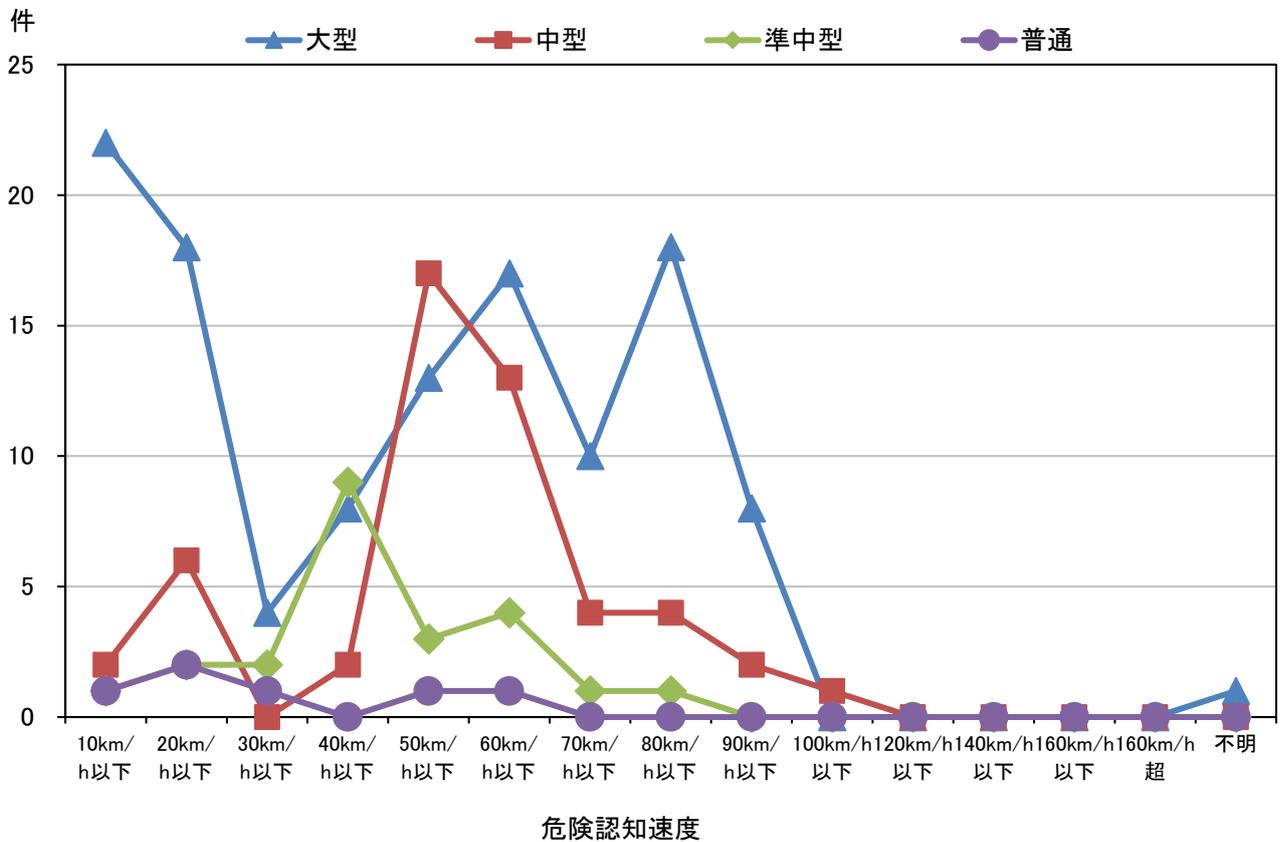


図6-2 危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数（令和5年）

(3) 事業用貨物自動車の危険認知速度別の死亡事故率（令和5年）

令和5年の危険認知速度別の死亡事故率は、71-80km/hが8.4%で割合が高く、続いて81-90km/hが7.2%、61-70km/hが5.3%、51-60km/hが4.5%となっています。

表 6-3 危険認知速度別の死亡事故率（令和5年）

事故種別	危険認知速度												合計
	10km/h以下	20km/h以下	30km/h以下	40km/h以下	50km/h以下	60km/h以下	70km/h以下	80km/h以下	90km/h以下	100km/h以下	100km/h超	不明	
死傷事故件数(件)	2,936	1,334	958	1,288	1,129	781	281	274	139	32	8	21	9,181
死亡事故件数(件)	26	28	7	19	34	35	15	23	10	1	0	1	199
死亡事故率(%)	0.9	2.1	0.7	1.5	3.0	4.5	5.3	8.4	7.2	3.1	0.0	4.8	2.2

※ 死亡事故率=死亡事故件数/事故件数×100

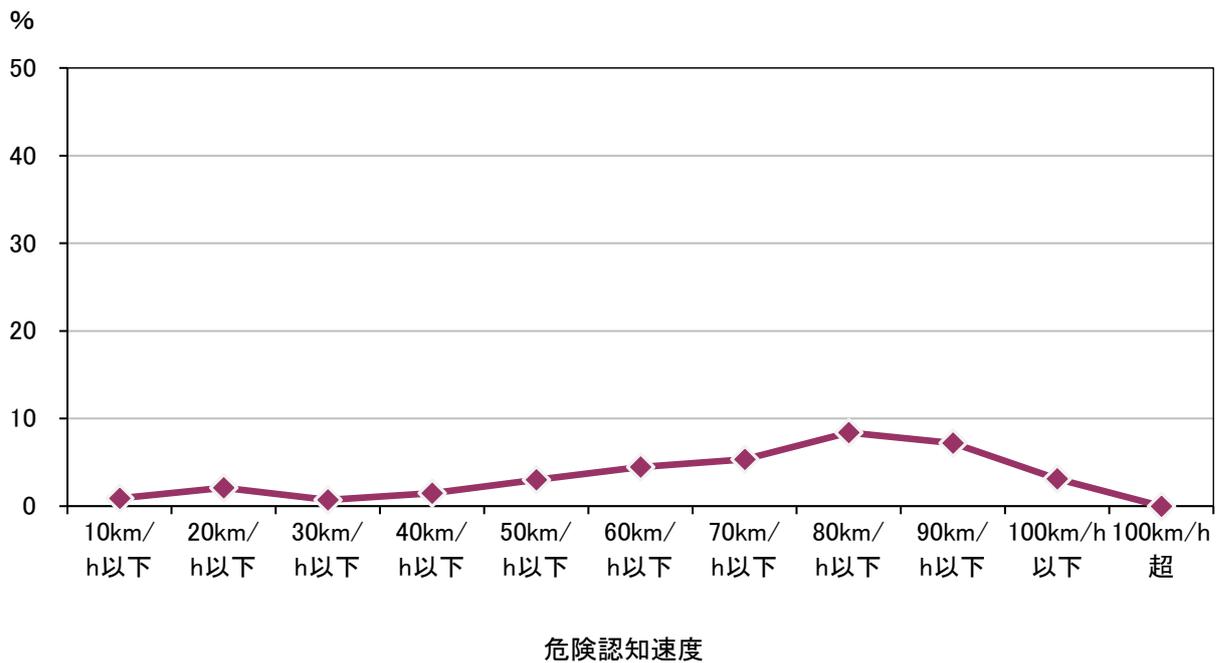


図 6-3 危険認知速度別の死亡事故率（令和5年）

7. 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数（令和5年）

- 令和5年の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数は、昼間の時間帯に50km/h以下の低速での事故が多い傾向にあり、50km/h以下の合計で8-9時台が546件、10-11時台が663件、12-13時台が475件、14-15時台が478件となっています。

表 7-1 時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数（令和5年）

危険認知速度	時間（2時間毎）												合計
	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	
10km/h以下	8	8	28	120	189	205	116	136	121	42	13	14	1,000
20km/h以下	7	6	17	84	75	92	63	68	45	24	14	8	503
30km/h以下	9	14	13	65	74	97	87	65	38	18	15	6	501
40km/h以下	15	11	25	94	116	141	119	106	71	35	22	6	761
50km/h以下	13	22	34	57	92	128	90	103	44	28	21	26	658
60km/h以下	13	22	31	42	63	58	55	46	37	17	9	22	415
70km/h以下	13	6	8	15	19	22	29	18	20	10	6	10	176
80km/h以下	14	11	8	5	15	20	17	17	10	12	3	11	143
90km/h以下	7	7	3	3	7	10	3	6	5	3	4	9	67
100km/h以下	3	3	0	1	1	2	2	0	4	0	3	2	21
120km/h以下	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	1	1	2	0	0	3	0	0	0	1	0	8
合計	103	111	168	488	651	775	584	565	396	189	111	114	4,255

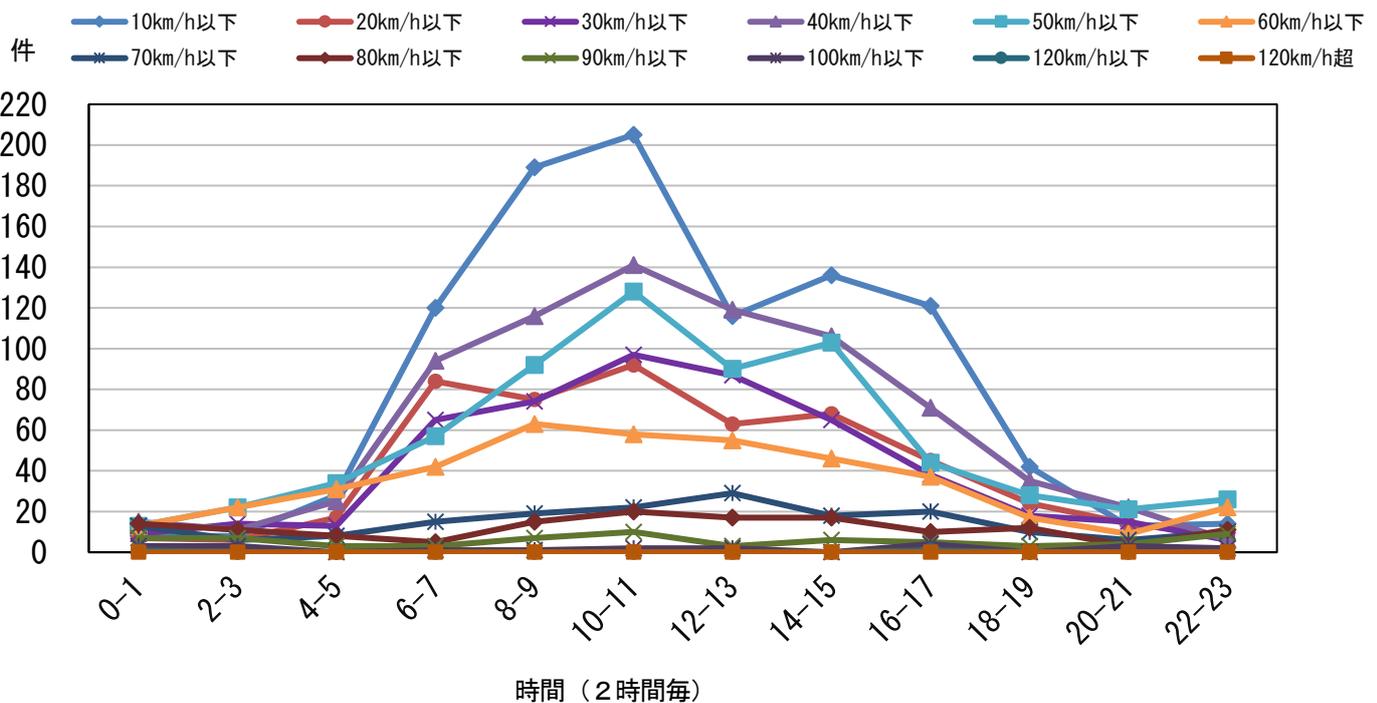


図 7-1 時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数（令和5年）

構成率で見ると、6-19 時台では 10km/h 以下の割合が高く、一方、22-5 時台では 51-60km/h の割合が高くなっています。

なお、41-50km/h は時間帯に関係なく一定の割合があります。

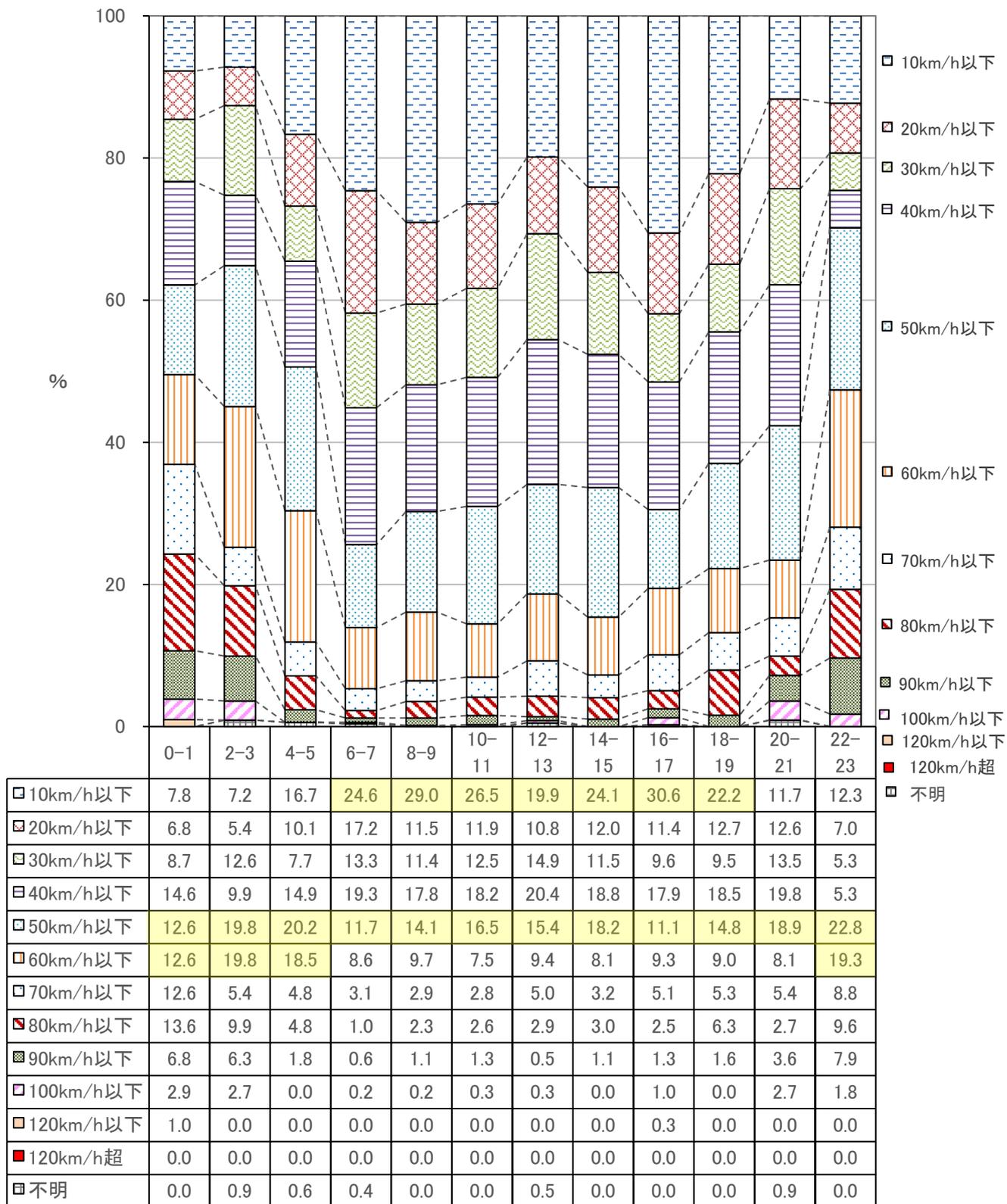


図 7-2 時間帯別・危険認知速度別追突死傷事故件数の構成率（令和 5 年）

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数（令和5年）

令和5年の時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数は、71-80km/hについては20-5時台に約9割と夜間・早朝の時間帯での発生が非常に多くなっています。

表 7-2 時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数（令和5年）

(件)

危険認知速度 \ 時間帯(2時間毎)	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
10km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20km/h以下	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
30km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40km/h以下	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
50km/h以下	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	6
60km/h以下	1	0	2	0	0	1	0	0	2	0	0	0	6
70km/h以下	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
80km/h以下	2	1	2	0	0	0	0	0	1	0	1	2	9
90km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
100km/h以下	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
120km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	2	6	1	2	3	3	1	3	0	1	3	30

構成率でみると、下記グラフのとおりです。

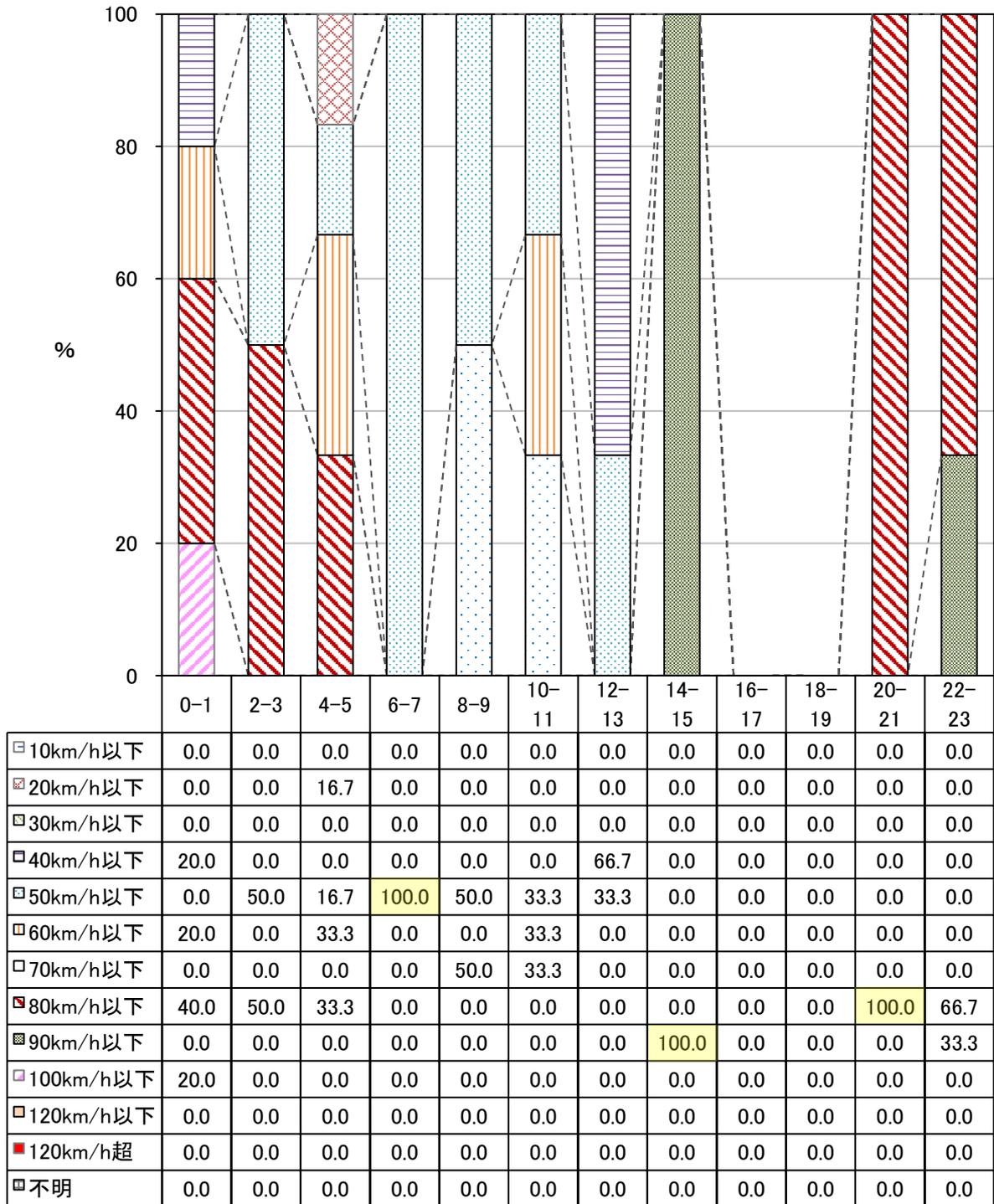


図7-3 時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数（令和5年）

8. 事業用貨物自動車の行動類型別死傷事故の状況

令和5年の行動類型別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、直進（等速）1,588件、発進543件、進路変更（左に）417件となっています。中型では、直進（等速）1,182件、発進288件、直進（減速）212件となっており、準中型では、直進（等速）963件、発進261件、直進（減速）206件、普通では、直進（等速）180件、発進77件、右折時（その他）48件となっています。

いずれの種別でも、直進（等速）が最も多く、次に発進が多くなっています。

表8 行動類型別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和5年）

行動類型 第1当事者種別	(件)																			
	発進	直進 加速	直進 等速	直進 減速	追越・ 追抜	進路変 更右に	進路変 更左に	左折	右折時 専用車 線利用	右折時 その他	転回	後退	横断	蛇行	逆走	急停止	停止	駐車(運 転者在)	その他	合計
大型	543	40	1,588	322	65	213	417	377	80	175	10	170	11	2	4	1	12	1	20	4,051
中型	288	24	1,182	212	44	111	77	163	63	125	13	146	4	3	1	4	21	0	8	2,489
準中型	261	34	963	206	22	37	47	155	35	158	29	144	3	0	0	5	35	2	16	2,152
普通	77	14	180	47	8	10	8	47	6	48	2	28	3	0	0	0	7	2	2	489
合計	1,169	112	3,913	787	139	371	549	742	184	506	54	488	21	5	5	10	75	5	46	9,181

構成率でみると、大型では、直進（等速）39.2%、発進13.4%、進路変更（左に）10.3%、左折9.3%となっています。中型では、直進（等速）47.5%、発進11.6%、直進（減速）8.5%、左折6.5%、準中型では、直進（等速）44.7%、発進12.1%、直進（減速）9.6%、右折時（その他）7.3%、普通では、直進（等速）36.8%、発進15.7%、右折時（その他）9.8%、直進（減速）及び左折が各9.6%となっています。

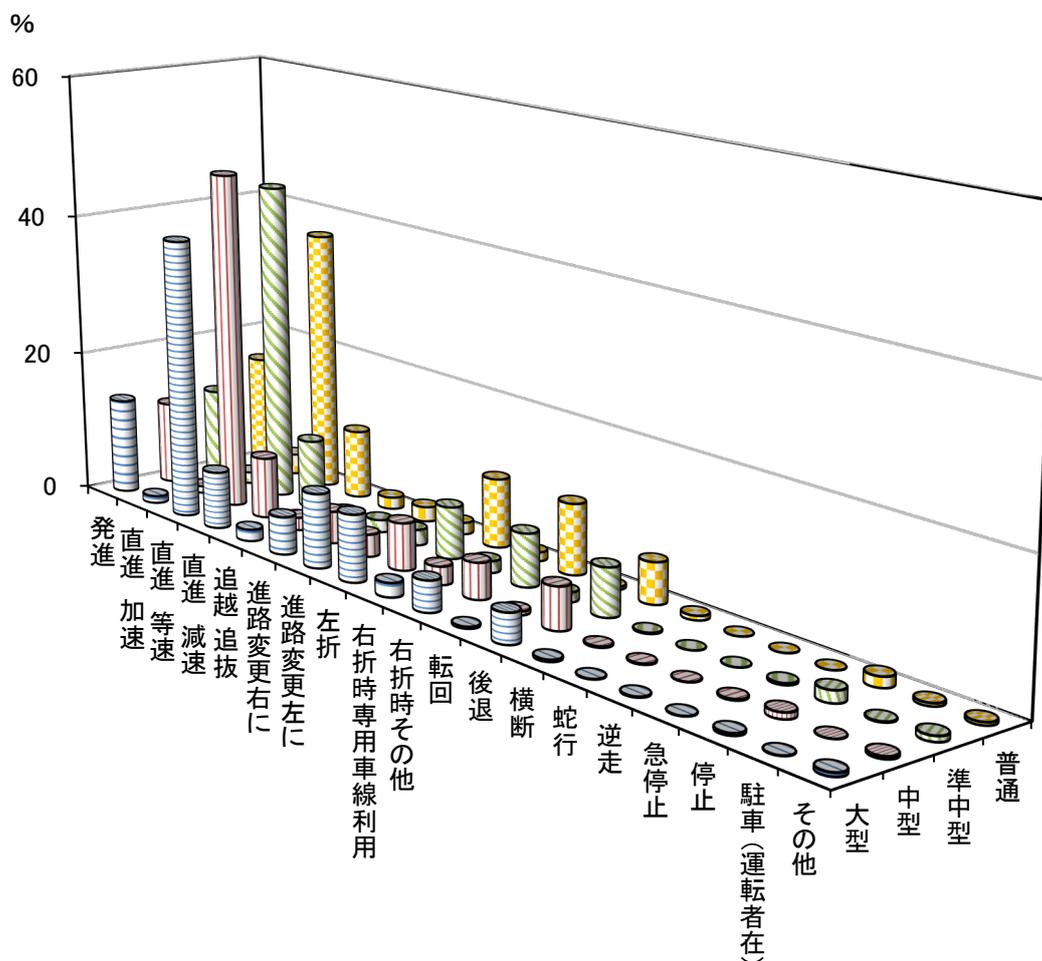


図8 行動類型別・第1当事者種別の死傷事故件数の構成率（令和5年）

9. 事業用貨物自動車の法令違反別死傷事故の状況

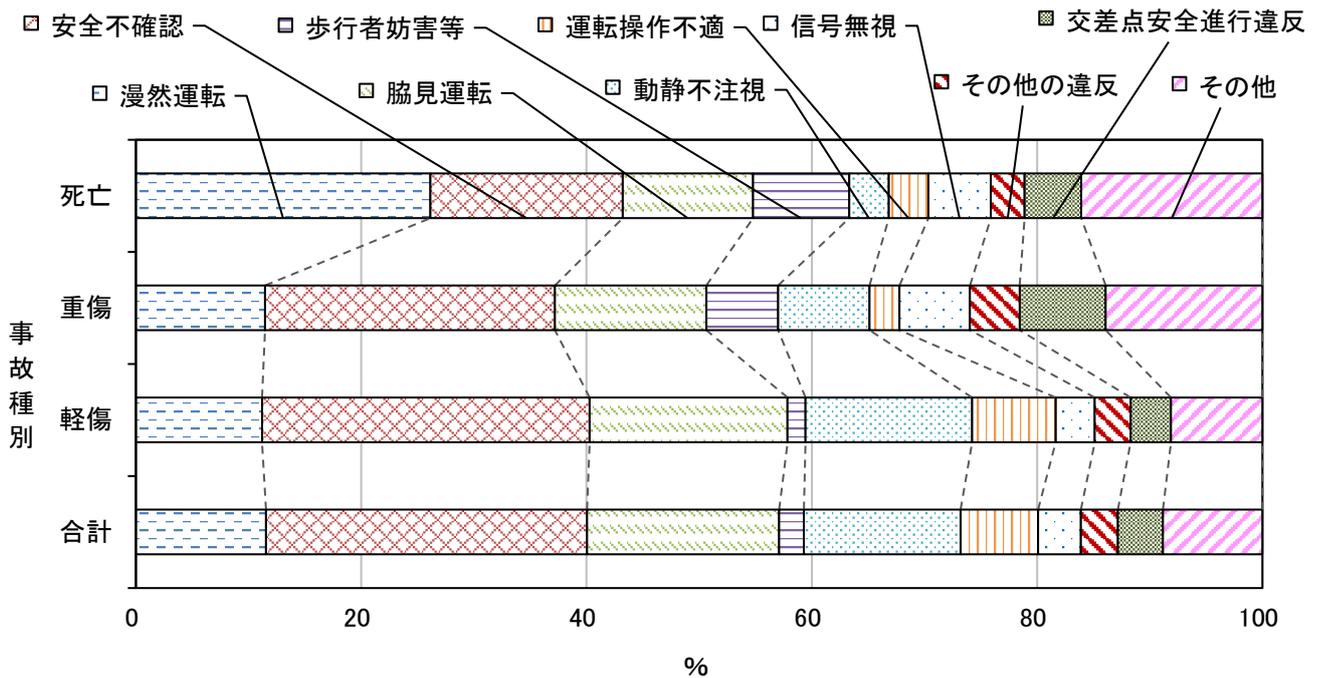
令和5年の法令違反（事故の結果に最も影響を与えている違反であって、無免許運転、無資格運転及び酒気帯び運転以外の違反）別の死傷事故件数及び構成率は、全体では、安全不確認2,617件（28.5%）、脇見運転1,566件（17.1%）、動静不注視1,277件（13.9%）となっています。

一方、死亡事故では、漫然運転52件（26.1%）、安全不確認34件（17.1%）、脇見運転23件（11.6%）となっています。

また、重傷事故では、安全不確認222件（25.7%）、脇見運転116件（13.4%）、漫然運転99件（11.5%）、となっており、軽傷事故では、安全不確認2,361件（29.1%）、脇見運転1,427件（17.6%）、動静不注視1,200件（14.8%）となっています。

表9-1 法令違反別の死傷事故件数及び構成率（令和5年）

法令違反	事故類型	死亡事故件数		重傷事故件数		軽傷事故件数		合計	
		件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)
信号無視		11	5.5	54	6.3	282	3.5	347	3.8
通行区分違反		1	0.5	10	1.2	42	0.5	53	0.6
最高速度違反		3	1.5	4	0.5	3	0.0	10	0.1
横断・転回等違反		0	0.0	13	1.5	42	0.5	55	0.6
車間距離不保持		0	0.0	1	0.1	52	0.6	53	0.6
追越し禁止違反		0	0.0	9	1.0	43	0.5	52	0.6
踏切不停止		0	0.0	0	0.0	1	0.0	1	0.0
右折違反		2	1.0	6	0.7	25	0.3	33	0.4
左折違反		2	1.0	7	0.8	65	0.8	74	0.8
環状交差点違反		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
優先通行妨害		6	3.0	17	2.0	69	0.8	92	1.0
交差点安全進行違反		10	5.0	66	7.6	291	3.6	367	4.0
歩行者妨害等		17	8.5	55	6.4	130	1.6	202	2.2
徐行違反		0	0.0	2	0.2	13	0.2	15	0.2
一時不停止		4	2.0	12	1.4	87	1.1	103	1.1
整備不良		2	1.0	2	0.2	6	0.1	10	0.1
酒酔い運転		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
過労等	薬物運転	0	0.0	0	0.0	1	0.0	1	0.0
	過労運転	3	1.5	8	0.9	20	0.2	31	0.3
安全運転義務違反	運転操作不適	7	3.5	23	2.7	602	7.4	632	6.9
	漫然運転	52	26.1	99	11.5	909	11.2	1,060	11.5
	脇見運転	23	11.6	116	13.4	1,427	17.6	1,566	17.1
	動静不注視	7	3.5	70	8.1	1,200	14.8	1,277	13.9
	安全不確認	34	17.1	222	25.7	2,361	29.1	2,617	28.5
	安全速度違反	5	2.5	12	1.4	44	0.5	61	0.7
	その他	1	0.5	14	1.6	142	1.7	157	1.7
その他の違反		6	3.0	38	4.4	258	3.2	302	3.3
不明		3	1.5	3	0.3	4	0.0	10	0.1
合計		199	100.0	863	100.0	8,119	100.0	9,181	100.0



※ 構成率については、死亡事故件数の多い9項目及びその他とする。

図9-1 法令違反別死傷事故件数の構成率（令和5年）

(参考)

主な用語の意味

用語	意味
漫然運転	脇見運転ではないが、運転中に“運転以外のことを考えていた”、“ぼんやりしていた”、“ラジオ放送に聞き入っていた”等のために注意的がはずれ、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。
脇見運転	風景、案内標識、他車や歩行者等の動静を見ていた等、前方の交通環境を認識せず運転し、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。
動静不注視	相手当事者を発見(認識)したが、危険でないと思って注視を怠り、又は相手が譲ってくれる(避けてくれる)ものと思い込んで注視を怠り、事故を発生させた場合等をいいます。
安全不確認	前方、後方、側方の確認が可能な速度に減速したが、確認を十分に行われなかったために、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。

参 考

事業用貨物自動車の主な法令違反別死亡事故の推移（平成 26-令和 5 年）

- ・死亡事故において多い法令違反 3 項目のうち、漫然運転は、令和 4 年までは概ね減少傾向にありましたが、令和 5 年は 52 件と前年と比較して倍近くに増加しています。
- ・脇見運転は、年によってばらつきがあり、令和 5 年は前年と比較して減少しています。
- ・安全不確認は、年によってばらつきがありますが、令和 5 年は漫然運転と同様に前年と比較して増加しています。

表 9-2 法令違反別死亡事故件数の推移（平成 26-令和 5 年）

(件)

年	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
法令違反										
漫然運転	78	63	57	58	50	57	37	36	28	52
脇見運転	51	55	35	41	41	47	24	26	30	23
安全不確認	40	49	40	36	51	40	51	37	20	34
合計	330	308	258	271	253	239	207	200	169	199

- ・構成率でみると、漫然運転は、平成 29 年から徐々に減少し、令和元年には増加に転じ、その後は減少しましたが、令和 5 年は 26.1%と平成 26 年からの 10 年間で一番多くなっています。脇見運転は、平成 30 年までは、概ね 16%前後でしたが、令和 2 年に大きく減少した以降増加し、令和 5 年は 11.6%に減少しています。さらに、安全不確認は、平成 29 年までは概ね 15%前後でしたが、それ以降は増減を繰り返しています。

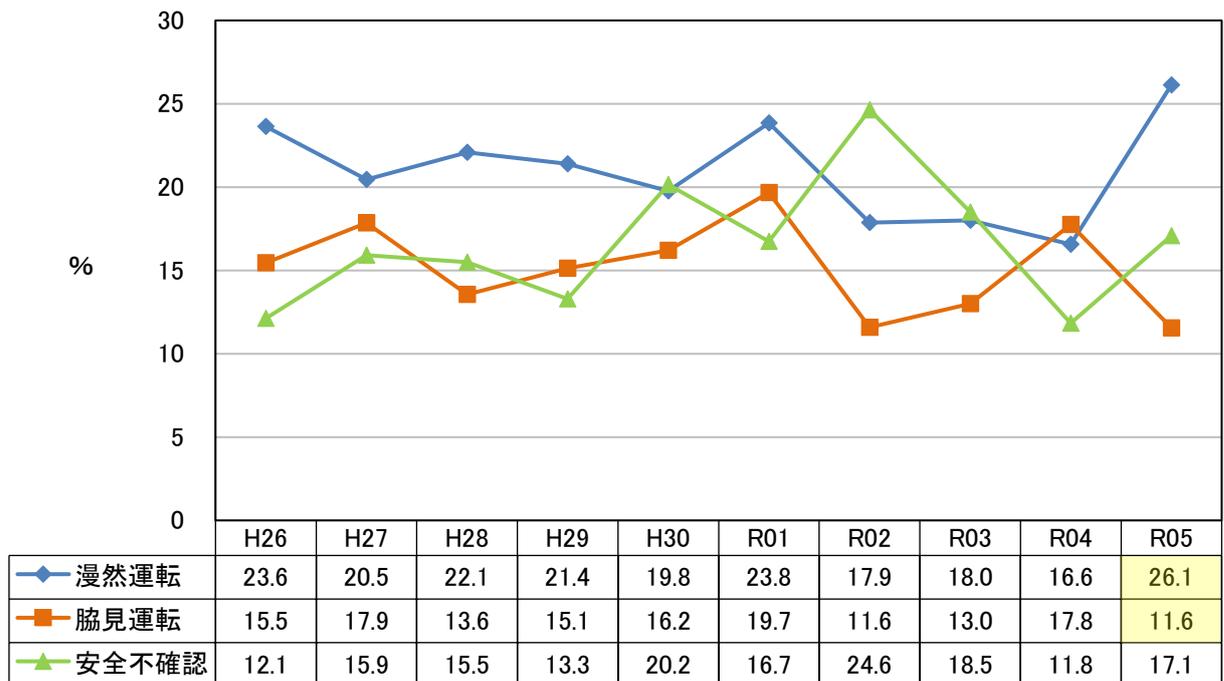


図 9-2 法令違反別死亡事故件数構成率の推移（平成 26-令和 5 年）

10. 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故件数（令和5年）

令和5年の飲酒運転による死傷事故は23件で、死亡事故はないものの、重傷事故6件（26.1%）、軽傷事故17件（73.9%）となっており、重傷事故では酒酔い運転という悪質な事故が1件発生しています。

飲酒基準別では、酒酔い1件、酒気帯び(0.25以上)16件、酒気帯び(0.25未満)3件、基準以下3件となり、酒気帯び(0.25以上)が全体の73.9%を占めています。

表 10-1 飲酒運転による死傷事故件数及び構成率（令和5年）

事故内容	飲酒基準						合計	構成率(%)	飲酒なし等	
	酒酔い	酒気帯び (0.25以上)	酒気帯び (0.25未満)	基準 以下	検知 不能	件数			構成率(%)	
死亡(件)	0	0	0	0	0	0	0.0	199	2.2	
重傷(件)	1	3	1	1	0	6	26.1	857	9.4	
軽傷(件)	0	13	2	2	0	17	73.9	8,102	88.5	
合計	1	16	3	3	0	23	100.0	9,158	100.0	
構成率(%)	4.3	69.6	13.0	13.0	0.0	100.0				

※ 「酒気帯び」欄の数値は、呼気中のアルコール濃度（mg/l）を示す。

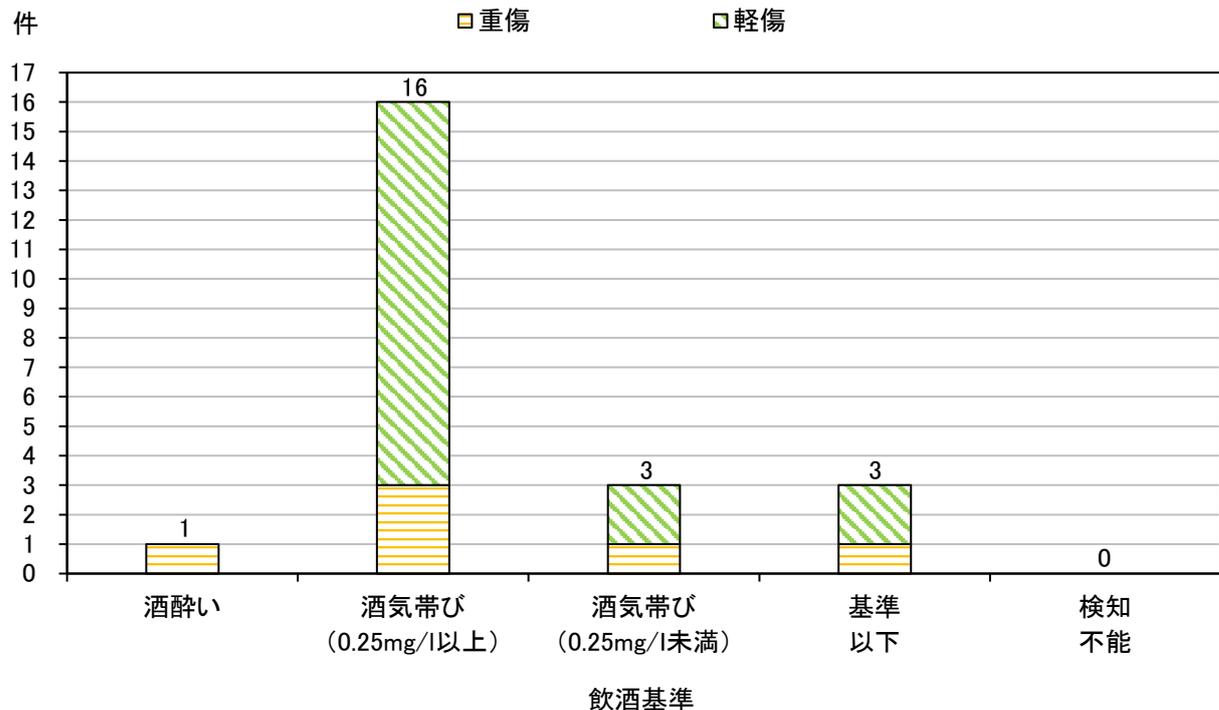


図 10-1 飲酒運転による死傷事故件数（令和5年）

(2) 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成 26-令和 5 年）

飲酒運転事故による死傷事故件数は、平成 26 年から増減を繰り返し令和元年から減少していましたが、令和 5 年は前年と比較して大幅に増加しており、飲酒運転による事故件数 0 件には依然として至っていません。

表 10-2 飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成 26-令和 5 年）

(件)

飲酒基準 \ 年	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
酒酔い	3	3	3	1	0	2	1	2	0	1
酒気帯び(0.25以上)	15	14	23	13	12	16	10	9	3	16
酒気帯び(0.25未満)	3	4	5	4	3	5	4	1	1	3
基準以下	8	12	6	10	5	5	6	2	2	3
検知不能	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合計	30	33	37	28	20	28	22	14	6	23

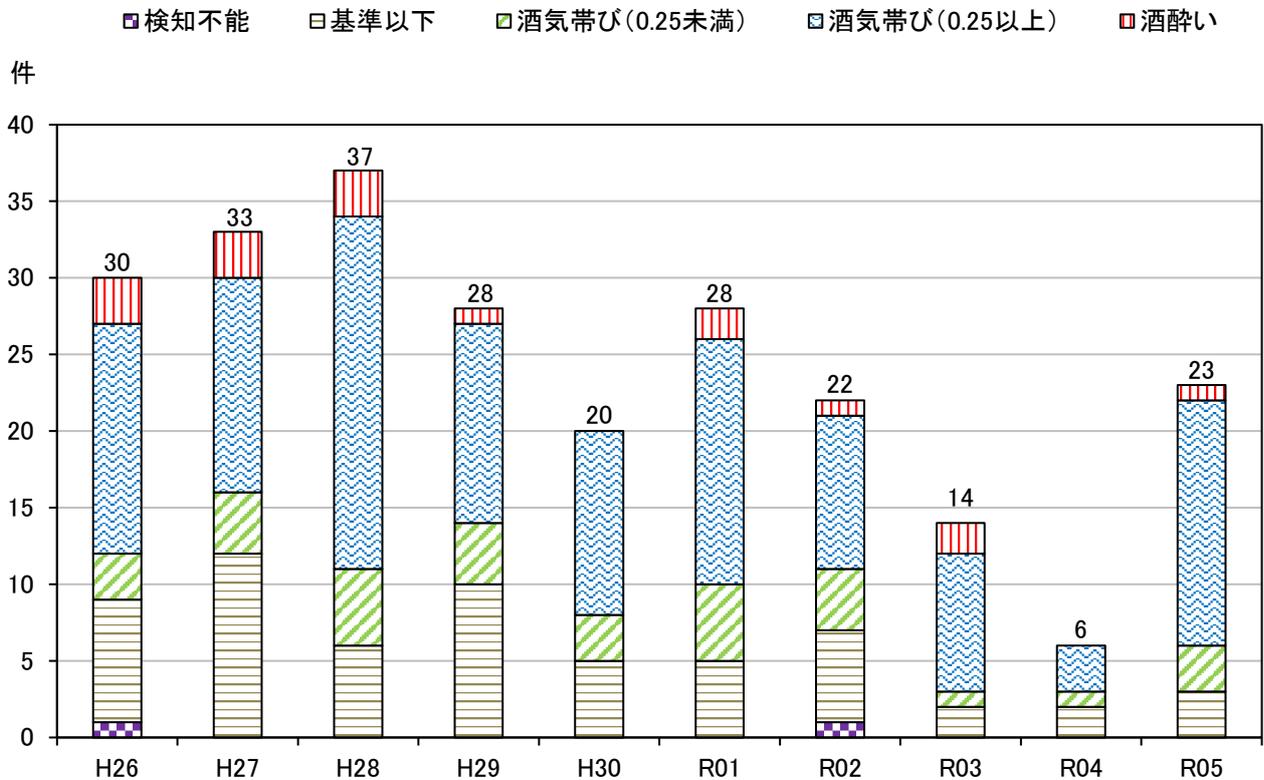


図 10-2 飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成 26-令和 5 年）

(3) 事業用貨物自動車の管轄運輸支局（車籍）別の飲酒運転による死傷事故件数の推移

管轄運輸支局（車籍）別の飲酒運転による死傷事故件数は、平成26年から令和5年までの10年間の合計で、大阪と福岡が最多で各17件発生しています。次いで兵庫が14件、北海道、東京、及び千葉が各11件、茨城が10件と続いています。

表10-3 管轄運輸支局（車籍）別の飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

年 車籍	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	H26-R05
北海道	1	3	1	2	2	0	1	0	0	1	11
宮城	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	3
福島	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	5
岩手	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
青森	0	0	1	0	1	0	1	0	1	2	6
山形	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
秋田	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
新潟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
長野	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	4
石川	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	4
富山	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	3
東京	3	0	3	2	0	1	2	0	0	0	11
神奈川	1	3	1	1	1	0	0	0	0	1	8
千葉	3	2	1	0	0	2	1	1	1	0	11
埼玉	1	1	0	2	0	1	1	1	0	0	7
茨城	0	1	1	0	2	4	1	1	0	0	10
群馬	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
栃木	0	1	2	1	0	0	0	1	0	1	6
山梨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛知	1	1	0	2	1	2	0	0	0	2	9
静岡	0	1	5	0	0	0	1	0	0	1	8
岐阜	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3
三重	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	3
福井	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
大阪	3	2	3	3	1	1	2	1	0	1	17
京都	1	0	2	1	0	1	1	1	0	0	7
兵庫	3	3	1	1	1	0	2	0	0	3	14
滋賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
奈良	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4
和歌山	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
広島	2	0	0	1	1	1	0	0	1	1	7
鳥取	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
島根	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
岡山	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4
山口	2	0	0	0	2	1	1	1	0	1	8
高松	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	5
徳島	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	4
愛媛	0	1	1	2	0	1	0	0	0	0	5
高知	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
福岡	1	4	3	1	1	2	1	2	0	2	17
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
熊本	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3
大分	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
宮崎	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
鹿児島	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3
沖縄	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
不明	0	0	0	2	0	2	2	0	0	1	7
合計	30	33	37	28	20	28	22	14	6	23	241

 10年間の合計が10件以上の都道府県
 1年間の事故件数が3件以上の都道府県

11. 事業用貨物自動車の整備不良による死傷事故の状況

整備不良違反による第1当事者種別の死傷事故件数は、平成27年に4件と一旦減少したものの、平成28年は13件、平成29年は11件、平成30年は13件と増加し、令和元年には9件、令和2年には6件と減少した後、再び増加しており、10年間を通して変動が大きい状況です。

第1当事者種別で見ると大型の事故件数が多く、年間10件以上となったのは10年間のうち4回です。

また、普通では、平成26年から10年間を通して0件です。

※ 「整備不良違反」とは、当該事故の発生に最も影響を与えた道路交通法上の法令違反が「整備不良」であったものをいう。

表11 整備不良による第1当事者種別死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

第1当事者種別	年									
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
大型	9	3	12	10	10	9	6	8	9	10
中型	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0
準中型				1	2	0	0	1	0	0
普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10	4	13	11	13	9	6	9	10	10

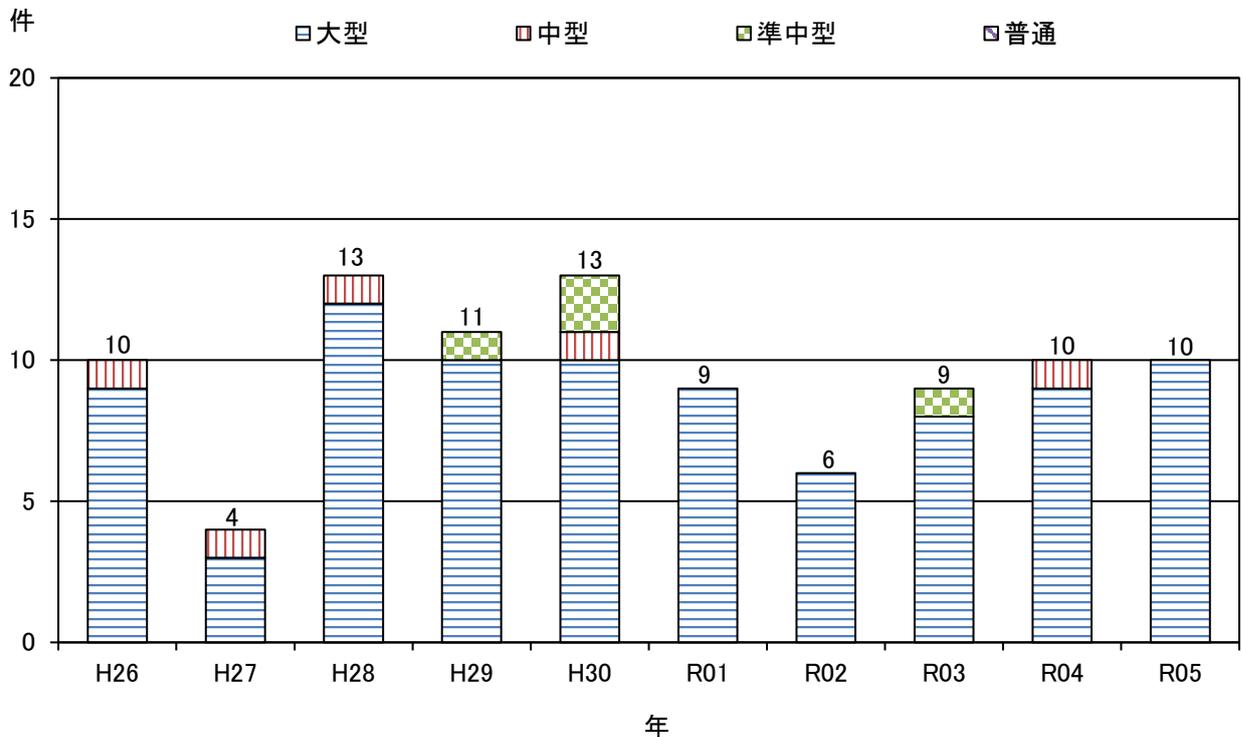


図11 整備不良による第1当事者種別死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

12. 事業用貨物自動車の車両的要因別死傷事故の状況

令和5年の車両的要因による死傷事故件数は70件で、内訳は大型46件、中型12件、準中型8件、普通4件となっています。

整備不良による死傷事故の要因別件数は、タイヤ不良が、大型11件、中型2件、準中型2件と目立っています。

一方、状態的不良のある死傷事故の要因別件数は、荷くずれが、大型12件、中型3件、準中型1件と目立っています。

このように車両的要因別のある事故では、タイヤ不良と荷くずれが多くなっています。

※ 「車両的要因」とは、車両の構造、装置の不良及び車両の状態的不良が事故の発生の要因と考えられる場合をいい、車両の不良状態が人的要因を誘発した場合を含む。

表12 車両的要因別の死傷事故件数（令和5年）

車両的要因		大型	中型	準中型	普通	合計	
整備不良	制動装置不良	0	0	1	0	1	
	かじ取り装置不良	0	0	0	0	0	
	タイヤ不良	11	2	2	1	16	
	車輪不良	3	0	0	0	3	
	灯火不良	0	0	0	0	0	
	エンジン故障	1	0	0	0	1	
	変速機不良・故障	0	0	0	0	0	
	燃料・潤滑装置不良	0	0	0	0	0	
	フロントガラス等不良	0	0	0	0	0	
	ミラー調整不良、破損、欠落	0	0	0	0	0	
	不良改造（オーバーフェンダ等）	0	0	0	0	0	
	その他車両等の構造・装置等の整備不良	3	1	0	0	4	
	小計	18	3	3	1	25	
状態的不良	車内の状態	着色フィルムが視界に影響した	0	0	0	0	0
		ワイパーを作動させなかった、フロントガラスを拭かなかったなどのため相手の発見が遅れた	0	0	0	0	0
		車室内の飾り物が視界に影響した	0	1	0	0	1
		車室内の同乗者が視界、操作に影響した	0	0	0	0	0
		車室内の荷物が視界、操作に影響した	4	0	0	0	4
		計	4	1	0	0	5
	積荷の状態	過積載が制動距離に影響した	1	0	0	0	1
		過積載が車両の安全性に影響した	1	0	0	0	1
		荷くずれ	12	3	1	1	17
		積み荷等の車外はみ出し	3	2	2	0	7
		積み荷等が自車の灯火を妨害した	0	0	0	0	0
		計	17	5	3	1	26
	灯火の状態	前照灯不点火	0	0	0	0	0
		駐車灯不点火（尾灯、非常点滅を含む）	0	0	0	0	0
		自車前照灯の上下向きが視界に影響	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0
	小計	21	6	3	1	31	
その他の車両的要因	7	3	2	2	14		
合計	46	12	8	4	70		

13. 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数 (令和5年)

令和5年の運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数は、いずれの種別においても10年以上の年数の運転者が圧倒的に多く、大型で3,575件、中型で2,169件、準中型で1,718件、普通で369件となっています。

表 13-1 運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和5年）

第1当事者種別	運転免許経過年数										合計
	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	10年未満	10年以上	無免許等	その他		
大型	16	33	38	30	70	289	3,575	0	0	4,051	
中型	9	22	31	24	50	178	2,169	6	0	2,489	
準中型	28	37	57	30	65	215	1,718	2	0	2,152	
普通	11	12	21	14	17	45	369	0	0	489	
合計	64	104	147	98	202	727	7,831	8	0	9,181	

※ 「運転免許経過年数」とは、当該運転免許を取得してからの経過年数をいう。

構成率で見ると、大型では、10年以上88.2%、5年以上10年未満7.1%となっています。中型では、10年以上87.1%、5年以上10年未満7.2%となっており、準中型では、10年以上79.8%、5年以上10年未満10.0%、普通では、10年以上75.3%、5年以上10年未満9.2%となっています。

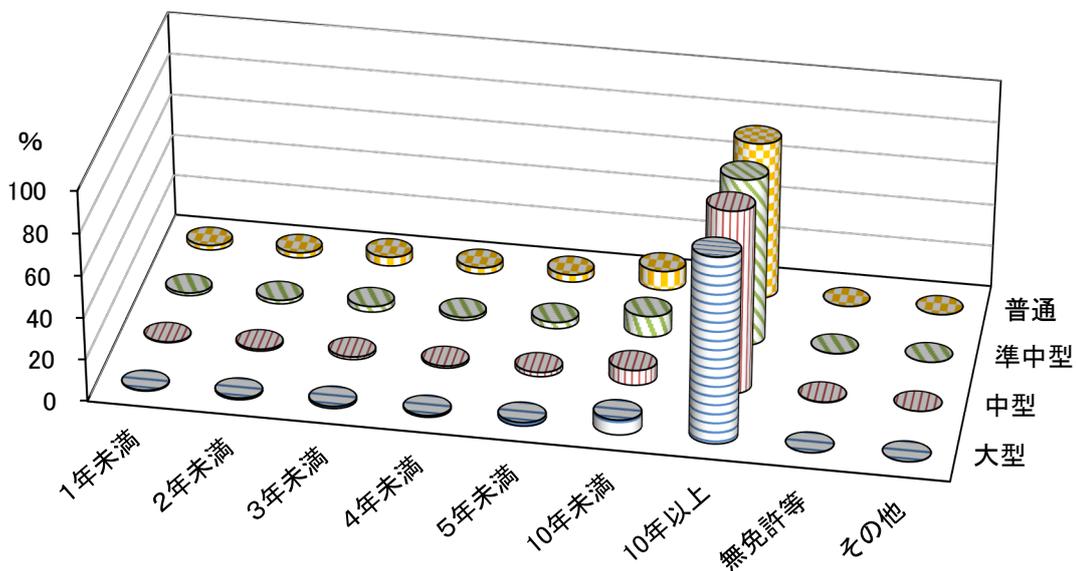


図 13-1 運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別死傷事故件数の構成率（令和5年）

(2) 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別の死傷事故件数
(令和5年)

令和5年の運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別で死傷事故件数が多いのは、運転免許経過年数10年以上の50-54歳1,525件、55-59歳1,441件、45-49歳1,085件です。

表 13-2 運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別の死傷事故件数（令和5年）

運転免許経過年	運転者年齢												合計
	19歳以下	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	
1年未満	20	27	1	3	0	1	6	2	1	2	1	0	64
2年未満	16	53	13	3	3	0	8	3	2	3	0	0	104
3年未満	0	90	14	9	4	7	6	7	5	3	2	0	147
4年未満	0	67	13	3	0	2	5	3	3	2	0	0	98
5年未満	0	95	55	14	10	4	7	10	6	1	0	0	202
10年未満	0	79	409	83	31	28	36	17	27	10	7	0	727
10年以上	0	0	70	424	540	676	1,085	1,525	1,441	1,084	986	0	7,831
無免許等	0	1	3	0	0	1	1	1	0	1	0	0	8
合計	36	412	578	539	588	719	1,154	1,568	1,485	1,106	996	0	9,181

※ 「運転免許経過年数」とは、当該運転免許を取得してからの経過年数をいう。

構成率でみると、20-24歳では、免許経過年は満遍なく分布しており（10年以上除く）、また、35歳以上ではすべての年齢層で10年以上が90%を超えています。

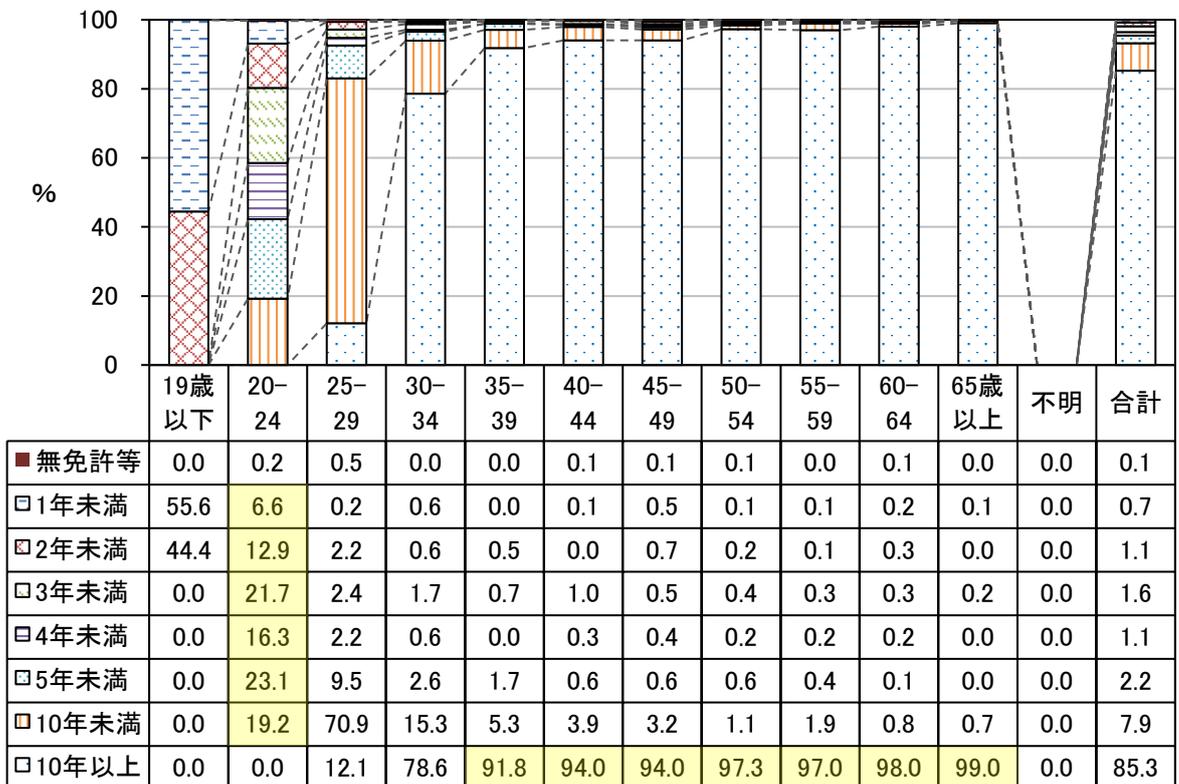


図 13-2 運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別死傷事故件数の構成率（令和5年）

14. 事業用貨物自動車の運転者の運転資格別死傷事故の状況

令和5年における運転者の運転資格別の死傷事故のうち、有資格者以外の事故は9件となっています。

表14 運転者の運転資格別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和5年）

第1当事者種別	免許資格 有資格	無免許等			不明	合計
		免許停止中	免許条件違反	無免許等		
大型	4,051	0	0	0	0	4,051
中型	2,489	0	0	3	3	2,495
準中型	2,149	0	0	1	2	2,152
普通	489	0	0	0	0	489
合計	9,172	0	0	4	5	9,181

※ 「無免許等」とは無資格運転、免許外、無免許をいう。

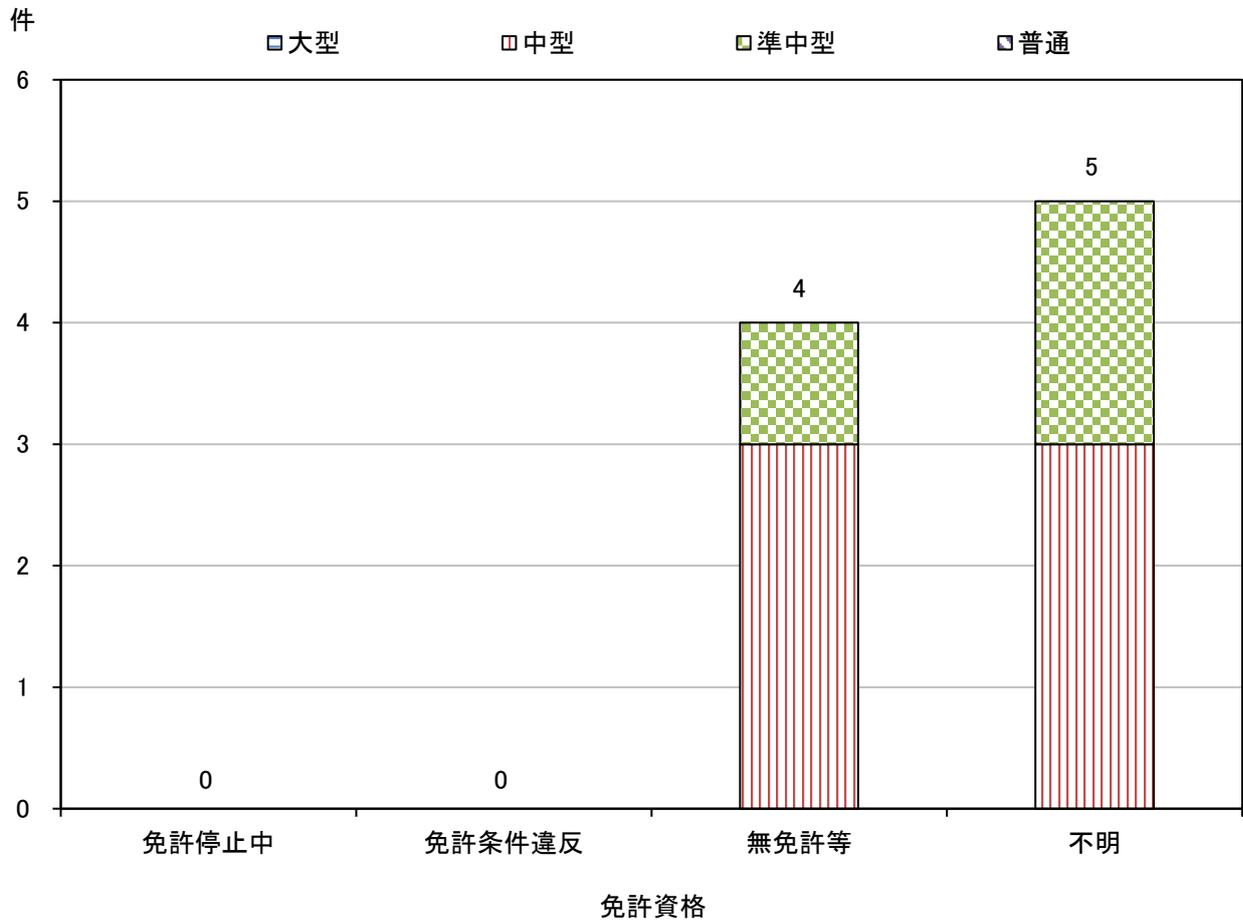


図14 運転者の運転資格別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和5年）

15. 事業用貨物自動車の運転者のシートベルト着用有無別死傷事故の状況

令和5年における運転者（第1当事者）のシートベルト着用有無別の死傷事故件数は、着用9,035件、非着用82件となっています。

これを死傷率で見ると、シートベルト着用では、死亡0.2%、重傷0.4%、軽傷1.2%、損傷なし98.3%となっています。

一方、シートベルト非着用では、死亡17.1%、重傷2.4%、軽傷4.9%、損傷なし75.6%となり、着用と比較すると死傷率が非常に高くなっています。

また、死傷率の構成率で見ると、シートベルト着用では軽傷の68.4%が最も多く、一方、シートベルト非着用では死亡の70.0%が最も高くなっています。

※ 「死傷率」とは、被害程度を対象者で割った値（例：着用死亡死傷率＝着用の死亡/着用の合計）

表 15-1 運転者（第1当事者）のシートベルト着用有無別・第1当事者種別の死傷事故件数
（令和5年）

第1当事者種別 運転者の着用状況						(件)		
		大型	中型	準中型	普通	合計	死傷率(%)	構成率(%)
着用	死亡	10	4	2	0	16	0.2	10.5
	重傷	12	10	10	0	32	0.4	21.1
	軽傷	51	25	26	2	104	1.2	68.4
	小計	73	39	38	2	152	1.7	100.0
	損傷なし	3,934	2,410	2,057	482	8,883	98.3	
	計	4,007	2,449	2,095	484	9,035	100.0	
非着用	死亡	7	5	2	0	14	17.1	70.0
	重傷	1	0	1	0	2	2.4	10.0
	軽傷	1	2	1	0	4	4.9	20.0
	小計	9	7	4	0	20	24.4	100.0
	損傷なし	12	17	30	3	62	75.6	
	計	21	24	34	3	82	100.0	
不明	死亡	1	0	0	0	1	1.6	25.0
	重傷	0	0	1	0	1	1.6	25.0
	軽傷	1	1	0	0	2	3.1	50.0
	小計	2	1	1	0	4	6.3	100.0
	損傷なし	21	15	22	2	60	93.8	
	計	23	16	23	2	64	100.0	
合計		4,051	2,489	2,152	489	9,181		

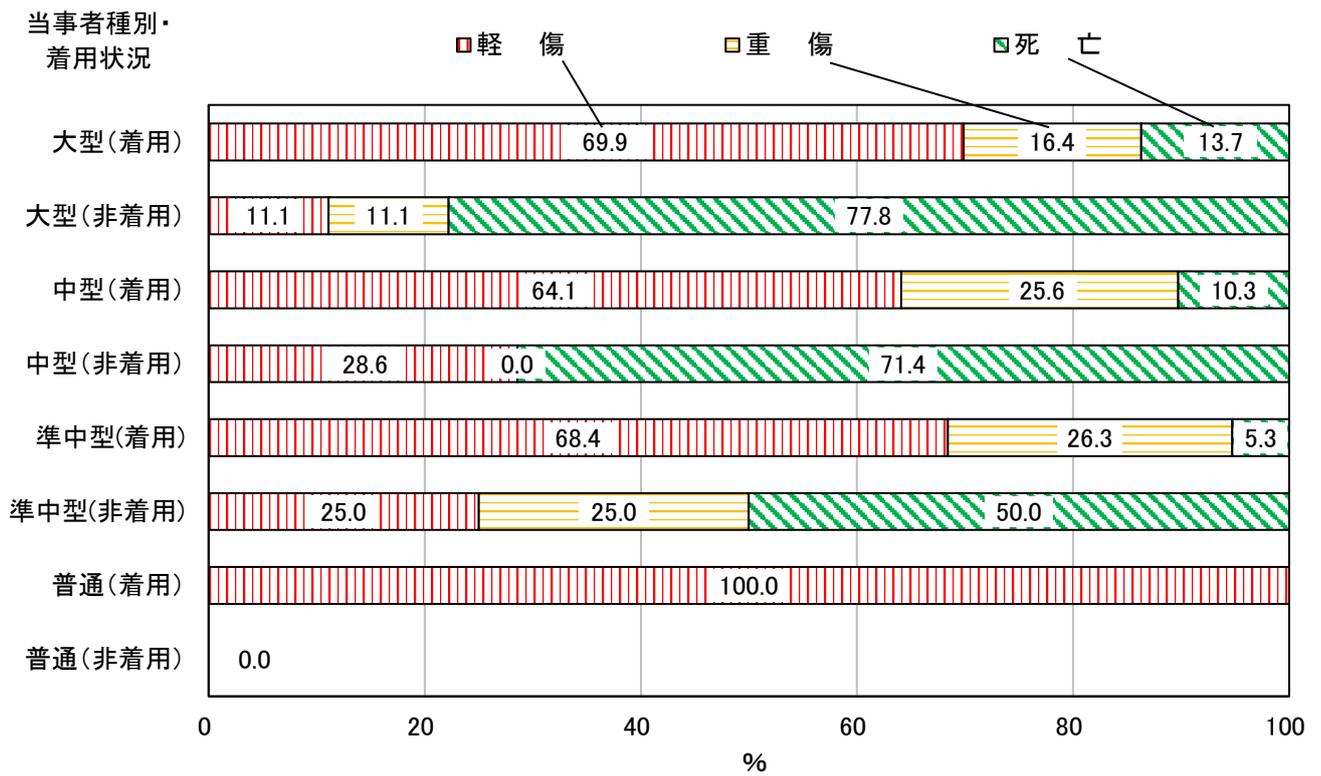


図 15-1 運転者（第 1 当事者）のシートベルト着用有無別・第 1 当事者種別死傷事故件数の構成率（令和 5 年）

参 考

事業用貨物自動車の運転者のシートベルト着用状況（平成26-令和5年）

- ・運転者（第1当事者）のシートベルト着用有無別の死傷者数の内、死者では、着用・非着用ともに概ね減少傾向にあります。
- ・重傷者では、着用は平成26年の97人から令和5年の32人で、10年間で65人(67.0%)減少しています。また、非着用でも微増減を繰り返しながらも概ね減少傾向にあります。
- ・軽傷者では、着用は平成26年274人から令和5年の104人と着実に減少しており、10年間で170人(62.0%)の減少となっています。また、非着用についても微増減はあるものの概ね減少傾向にあり、特に平成27年以降は10人を下回る人数となっています。

表15-2 運転者（第1当事者）のシートベルト着用有無別死傷者数の推移（平成26-令和5年）

(人)

運転者の着用状況		年									
		H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
着用	死者	27	23	24	26	16	18	11	24	11	16
	重傷者	97	78	65	52	50	46	42	36	32	32
	軽傷者	274	190	192	165	152	114	121	117	107	104
	計	398	291	281	243	218	178	174	177	150	152
非着用	死者	20	26	15	18	13	13	8	10	10	14
	重傷者	11	11	9	4	8	2	3	3	4	2
	軽傷者	11	4	6	4	2	3	3	2	6	4
	計	42	41	30	26	23	18	14	15	20	20
不明	死者	4	2	2	2	4	2	2	1	3	1
	重傷者	5	0	1	2	6	4	1	3	2	1
	軽傷者	1	1	1	3	2	3	1	1	1	2
	計	10	3	4	7	12	9	4	5	6	4
合計	死者	51	51	41	46	33	33	21	35	24	31
	重傷者	113	89	75	58	64	52	46	42	38	35
	軽傷者	286	195	199	172	156	120	125	120	114	110
	計	450	335	315	276	253	205	192	197	176	176

- ・運転者（第1当事者）のシートベルト着用率は、平成26年から令和5年までの10年間を通して、ほぼ横ばいで推移しています。
- ・傷害程度別のシートベルト着用率で見ると、死者は、最も低いのは平成27年の45.1%、最も高いのは令和3年の68.6%など、着用率の増減が大きく、また、平成26年から令和5年までの10年間を通して多くても7割までの着用率にとどまっています。
- ・重傷者は、死者の着用率よりも高く、令和2年に90%を超えたものの、70%台後半から80%台後半で推移していましたが、令和5年は再び90%を超えています。
- ・さらに、軽傷者は、10年間を通して常に90%を超えています。

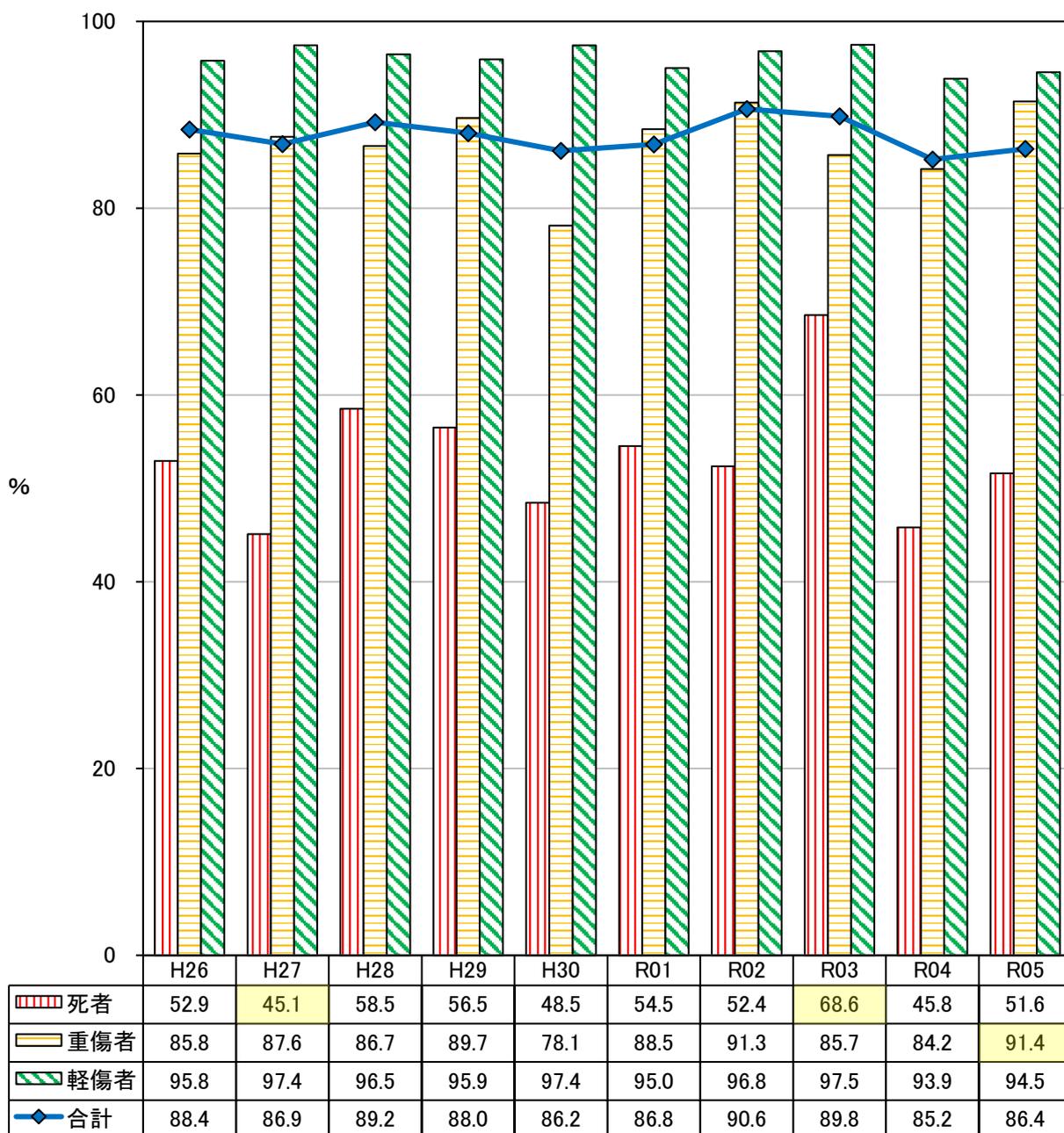


図 15-2 運転者の傷害程度別シートベルト着用率の推移（平成26-令和5年）

- ・運転者（第1当事者）全体のシートベルト非着用率は、平成27年以降減少傾向にあったものの、令和4年に急増し、令和5年も同水準となっています。
- ・傷害程度別のシートベルト非着用率で見ると、死者でも同様の傾向で、令和3年は28.6%と平成26年からの10年間で最少になりましたが、令和4年に急増し、令和5年は平成27年に次ぐ高い数値となっています。
- ・重傷者では、令和元年の3.8%が最も低く、平成30年の12.5%が最も高くなっています。
- ・軽傷者では、平成30年の1.3%が最も低く、令和4年の5.3%が最も高くなっています。
- ・死者のシートベルト非着用率は、重傷者及び軽傷者と比較して、非常に高い値となっています。

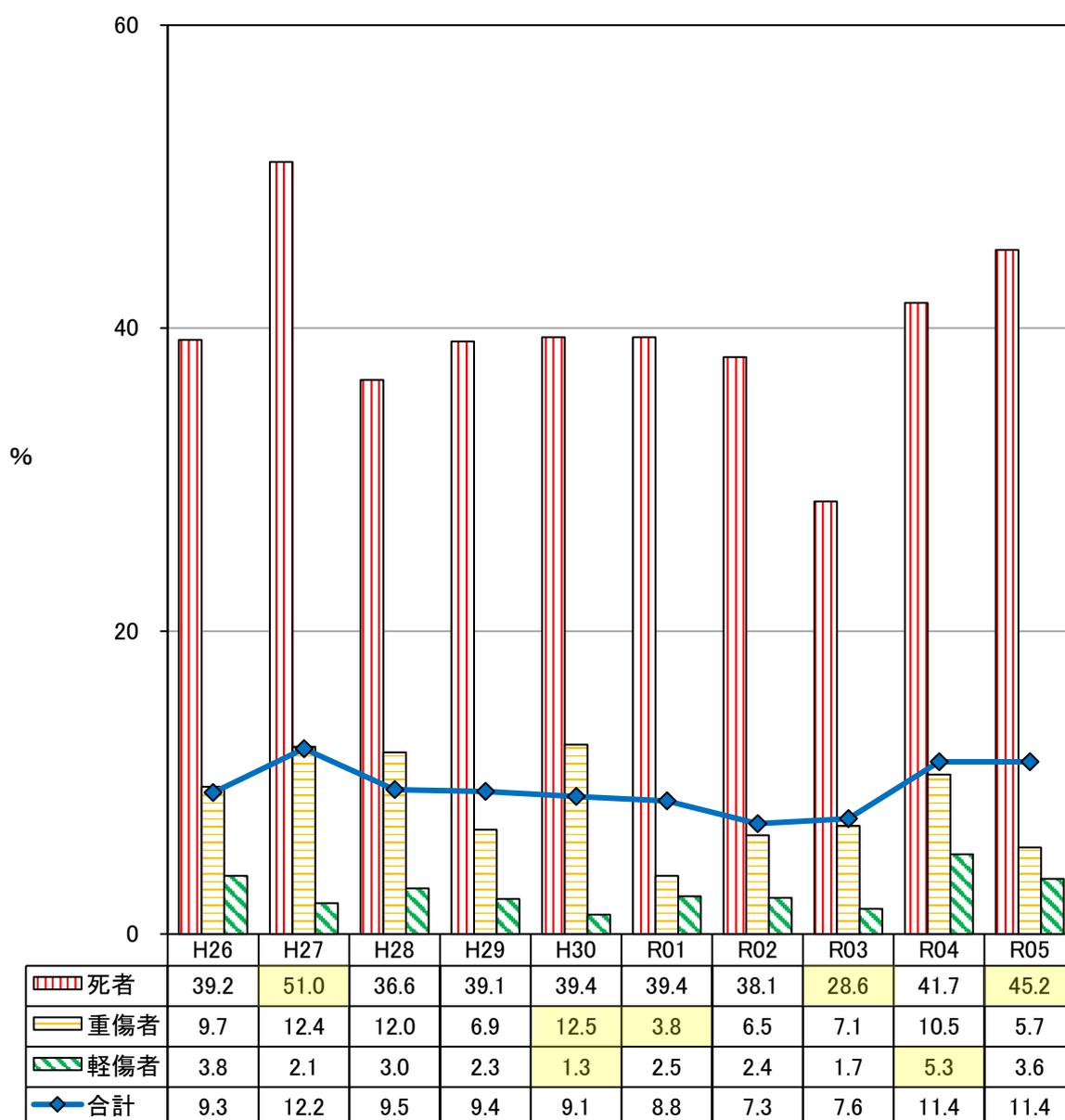


図15-3 運転者（第1当事者）の傷害程度別シートベルト非着用率の推移（平成26-令和5年）

16. 事業用貨物自動車の高速道路における主な死傷事故の状況

(1) 高速道路における追突の事故詳細区分別死傷事故件数（令和4・5年）

令和5年の高速道路における追突死傷事故件数は683件で、令和4年の631件から52件（8.2%）増加しています。

事故詳細区分別にみると、走行車に追突では、令和4年の死亡7件、重傷17件、軽傷224件の計248件から、令和5年の死亡6件、重傷20件、軽傷215件の計241件となり、死亡は1件減少、重傷は3件増加、軽傷は9件減少し、合計7件の減少となっています。

同様に車線停止中（その他）では、令和4年の死亡4件、重傷13件、軽傷177件の計194件から、令和5年には死亡6件、重傷22件、軽傷226件の計254件となり、死亡は2件増加、重傷は9件増加、軽傷は49件増加し、合計60件の増加となっています。

※ 「車線停止中その他」には、渋滞停止中が含まれる。

※ 「高速道路」とは、高速自動車国道、自動車専用道路（道路交通法施行令第42条の規定により指定された自動車専用道路）をいう。

表 16-1 高速道路における追突の事故詳細区分別死傷事故件数（令和4・5年）

(件)

年		R04				R05				増減	
		死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計		
事故詳細区分	事故内容										
		死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	増減	
追突	追越・追抜	0	1	2	3	0	2	9	11	8	
	走行車に	7	17	224	248	6	20	215	241	-7	
	流入車に	0	2	3	5	0	1	2	3	-2	
	流出車に	0	1	5	6	0	0	6	6	0	
	車線停止中	故障車に	1	2	12	15	1	3	4	8	-7
		事故車に	1	4	13	18	0	5	18	23	5
		その他	4	13	177	194	6	22	226	254	60
	路肩停止中	故障車に	1	2	6	9	0	2	3	5	-4
		事故車に	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1	0	5	6	0	2	5	7	1
	料金所付近停止車に	0	1	15	16	0	0	13	13	-3	
	その他	0	4	107	111	1	7	104	112	1	
	合計	15	47	569	631	14	64	605	683	52	

(2) 高速道路における追突の道路区分別死傷事故件数（令和4・5年）

高速道路における追突の道路区分別事故件数は、走行車線（第一通行帯）では、令和4年の死亡8件、重傷29件、軽傷245件の計282件から、令和5年には死亡10件、重傷42件、軽傷264件の計316件となり、死亡は2件増加、重傷は13件増加、軽傷は19件増加の合計34件増加となっています。

走行車線（第二通行帯以上）では、令和4年の死亡2件、重傷5件、軽傷129件の計136件から、令和5年には死亡2件、重傷5件、軽傷157件の計164件となり、死亡、重傷は前年と同様ですが、軽傷は28件の増加となっています。

追越車線では、令和4年の死亡2件、重傷7件、軽傷128件の計137件から、令和5年には死亡1件、重傷8件、軽傷120件の計129件となり、死亡と軽傷は減少、重傷は1件増加しているものの、合計では8件の減少となっています。

一方、路肩では、令和4年の17件から、令和5年には13件となり、4件の減少となっています。

表 16-2 高速道路における追突の道路区分別死傷事故件数（令和4・5年）

(件)

年 事故内容 道路区分	R04				R05				増減
	死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	
走行車線-第一通行帯	8	29	245	282	10	42	264	316	34
走行車線-第二通行帯以上	2	5	129	136	2	5	157	164	28
追越車線	2	7	128	137	1	8	120	129	-8
登板車線	0	0	3	3	0	1	2	3	0
加速車線	0	0	3	3	0	1	2	3	0
減速車線	0	2	3	5	0	1	4	5	0
路肩	3	2	12	17	0	5	8	13	-4
ランプウェイ-入路	0	0	3	3	0	0	3	3	0
ランプウェイ-出路	0	0	14	14	0	0	20	20	6
ジャンクション	0	0	6	6	0	0	3	3	-3
料金所等付近-本線上	0	2	13	15	0	1	5	6	-9
料金所等付近-その他	0	0	7	7	0	0	9	9	2
サービスエリア	0	0	1	1	0	0	0	0	-1
パーキングエリア	0	0	0	0	1	0	4	5	5
その他	0	0	2	2	0	0	4	4	2
合計	15	47	569	631	14	64	605	683	52

(3) 高速道路における対歩行者の事故類型詳細区分別死傷事故件数（令和4・5年）

高速道路における対歩行者の死傷事故件数は、令和4年の死亡4件、重傷3件、軽傷3件の計10件から、令和5年には死亡3件、重傷7件、軽傷4件の14件となり、4件増加しています。

表 16-3 高速道路における対歩行者の事故類型詳細区分別死傷事故件数（令和4・5年）

(件)

年		R04				R05				増減
事故内容		死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	
事故詳細区分	故障修理中	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	路上作業中	0	0	1	1	0	0	1	1	0
	その他	4	3	2	9	3	7	3	13	4
	合計	4	3	3	10	3	7	4	14	4

(4) 高速道路における対歩行者の道路区分別死傷事故件数（令和4・5年）

高速道路における対歩行者の道路区分別死傷事故件数は、走行車線（第一通行帯）では、令和4年の死亡1件、重傷3件から、令和5年には死亡2件、重傷3件となり、1件増加しています。

また、走行車線（第二通行帯以上）では、令和4年の死亡3件から、令和5年には死亡1件となり2件減少していますが、重傷は1件増加しています。

表 16-4 高速道路における人対車両の道路区分別死傷事故件数（令和4・5年）

(件)

年		R04				R05				増減
事故内容		死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	
道路区分										
	走行車線-第一通行帯	1	3	0	4	2	3	0	5	1
	走行車線-第二通行帯以上	3	0	0	3	1	1	0	2	-1
	追越車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登板車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	加速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	路肩	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	ランプウェイ-入路	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ランプウェイ-出路	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジャンクション	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	料金所等付近-本線上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	料金所等付近-その他	0	0	1	1	0	0	0	0	-1
	サービスエリア	0	0	0	0	0	1	2	3	3
	パーキングエリア	0	0	2	2	0	1	2	3	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	4	3	3	10	3	7	4	14	4

17. 事業用貨物自動車の死傷者の状況

(1) 事業用貨物自動車の死傷者数（令和5年）

令和5年の死傷者数は、死者207人、重傷者930人、軽傷者10,813人の計11,950人となっています。

第2当事者種別では、対普通乗用車4,523人、対軽乗用2,025人、対自転車1,119人、対歩行者682人となっています。

死傷者別・第1当事者種別でみると、死者は、大型では、対歩行者38人、対自転車22人、中型では、対歩行者28人、対自転車6人、準中型では、対歩行者12人、対自転車2人、普通では、対歩行者3人、対自転車1人となっています。

一方、重傷者は、大型では、対歩行者81人、対自転車114人、中型では、対歩行者44人、対自転車41人、準中型では、対歩行者34人、対自転車36人、普通では、対歩行者11人、対自転車9人となっています。

また、軽傷者は、大型では、対普通乗用車2,106人、対軽乗用853人、中型では、対普通乗用車1,157人、対軽乗用624人、準中型では、対普通乗用車956人、対軽乗用404人、普通では、対普通乗用車173人、対軽乗用61人となっています。

表 17-1 事業用貨物自動車の死傷者数（令和5年）

(人)

死傷者別		死者					重傷者					軽傷者					合計
		大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	
第1当事者種別	第2当事者種別																
乗用車	バス	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	26	3	6	3	38	41
	マイクロバス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	2	0	7	7
	普通乗用車	8	0	0	0	8	75	27	18	3	123	2,106	1,157	956	173	4,392	4,523
	軽乗用	5	2	0	0	7	42	20	11	3	76	853	624	404	61	1,942	2,025
	ミニカー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	5	5
	小計	13	2	0	0	15	120	47	29	6	202	2,988	1,788	1,370	238	6,384	6,601
貨物車	大型貨物	5	5	0	0	10	20	10	5	0	35	250	96	38	8	392	437
	中型貨物	2	1	0	0	3	12	6	1	0	19	109	77	45	5	236	258
	準中型貨物	2	1	2	0	5	6	5	7	0	18	148	113	105	13	379	402
	普通貨物	0	0	0	0	0	5	6	3	0	14	141	114	136	18	409	423
	ライトバン	0	0	0	0	0	6	3	1	0	10	94	78	56	15	243	253
	軽貨物	2	0	0	0	2	21	10	13	2	46	236	186	166	16	604	652
	小計	11	7	2	0	20	70	40	30	2	142	978	664	546	75	2,263	2,425
トレーラ	0	1	0	0	1	1	1	0	0	2	64	34	11	6	115	118	
自動二輪	小型二輪	7	0	1	0	8	15	12	6	1	34	52	32	16	8	108	150
	軽二輪	3	1	2	0	6	14	11	7	2	34	45	39	46	11	141	181
	原付二輪	2	0	1	0	3	15	14	10	4	43	65	55	79	14	213	259
	小計	12	1	4	0	17	44	37	23	7	111	162	126	141	33	462	590
原付	8	2	0	1	11	16	14	21	0	51	64	55	64	20	203	265	
特殊車	農耕用	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	2
	大型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3	3
	小型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	1	0	0	4	5
路面電車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
列車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
軽車両	自転車	22	6	2	1	31	114	41	36	9	200	284	221	284	99	888	1,119
	駆動補助機付自転車	3	0	0	0	3	5	5	5	0	15	22	20	20	12	74	92
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	小計	25	6	2	1	34	119	46	41	9	215	306	241	305	111	963	1,212
歩行者	38	28	12	3	81	81	44	34	11	170	105	131	148	47	431	682	
駐車両(運転者不在)	8	1	1	0	10	12	2	2	0	16	18	6	4	1	29	55	
物件	7	5	2	1	15	11	5	4	0	20	26	17	18	3	64	99	
相手なし	4	0	0	0	4	2	0	0	0	2	5	2	2	1	10	16	
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	126	52	23	6	207	476	235	184	35	930	4,655	3,031	2,598	529	10,813	11,950	

(2) 事業用貨物自動車の死傷者の構成率（令和5年）

令和5年の死傷者の第1当事者種別の構成率は、大型では、対普通乗用車41.6%、対軽乗用17.1%、対自転車8.0%、中型では、対普通乗用車35.7%、対軽乗用19.5%、対自転車8.1%、準中型では、対普通乗用車34.7%、対軽乗用14.8%、対自転車11.5%、普通では、対普通乗用車30.9%、対自転車19.1%、対軽乗用11.2%となっています。

表 17-2 相関別死傷者数の構成率（令和5年）

(%)

	大型	中型	準中型	普通
バス	0.6	0.1	0.2	0.5
マイクロバス	0.1	0.1	0.1	0.0
普通乗用車	41.6	35.7	34.7	30.9
軽乗用	17.1	19.5	14.8	11.2
ミニカー	0.0	0.1	0.1	0.2
大型貨物	5.2	3.3	1.5	1.4
中型貨物	2.3	2.5	1.6	0.9
準中型貨物	3.0	3.6	4.1	2.3
普通貨物	2.8	3.6	5.0	3.2
ライトバン	1.9	2.4	2.0	2.6
軽貨物	4.9	5.9	6.4	3.2
小型二輪	1.4	1.3	0.8	1.6
軽二輪	1.2	1.5	2.0	2.3
原付二輪	1.6	2.1	3.2	3.2
原付	1.7	2.1	3.0	3.6
農耕用	0.0	0.0	0.0	0.0
特殊大型	0.0	0.0	0.0	0.0
特殊小型	0.0	0.0	0.0	0.0
路面電車	0.0	0.0	0.0	0.0
列車	0.0	0.0	0.0	0.0
自転車	8.0	8.1	11.5	19.1
駆動補助機付自転車	0.6	0.8	0.9	2.1
その他	0.0	0.0	0.0	0.0
歩行者	4.3	6.1	6.9	10.6
駐車車両（運転者不在）	0.7	0.3	0.2	0.2
物件	0.8	0.8	0.9	0.7
相手なし	0.2	0.1	0.1	0.2
不明	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

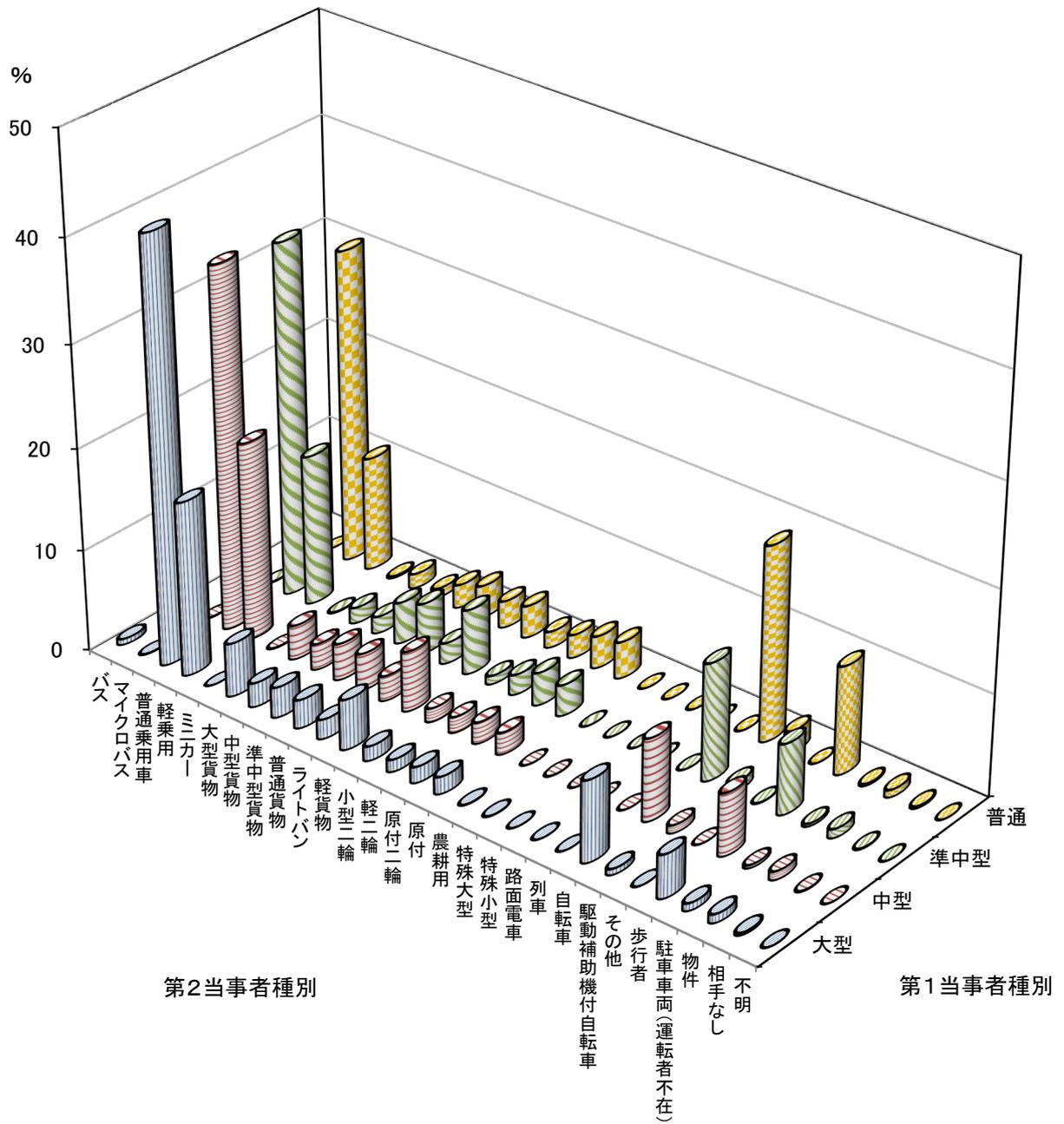


図 17-1 相関別死傷者数の構成率 (令和5年)

(3) 事業用貨物自動車の第1当事者種別・年齢別の死傷者数（令和5年）

令和5年の第1当事者種別・年齢別の死傷者数の合計は、50-54歳1,392人、45-49歳1,269人、40-44歳1,088人となっています。

死傷者別にみると、死者は、大型では50-54歳16人、中型では60-64歳7人、準中型では55-59歳4人となっています。

一方、重傷者は、大型では60-64歳48人、中型では45-49歳26人、準中型では50-54歳24人、普通では55-59歳7人となっています。

また、軽傷者は、全ての種別で50-54歳が最も多く、大型では571人、中型では340人、準中型では300人、普通62人となっています。

第1当事者別の合計をみると、大型が5,257人（44.0%）、中型が3,318人（27.8%）、準中型が2,805人（23.5%）、普通570人（4.8%）で、大型・中型で全体の約7割を占めています。

表 17-3 第1当事者種別・年齢別の死傷者数（令和5年）

(人)

死傷者 第1当事者種別 年齢別	死者					重傷者					軽傷者					合計				
	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	合計
6歳以下	0	1	0	0	1	1	2	1	0	4	67	41	44	15	167	68	44	45	15	172
7-12歳	0	1	1	0	2	6	2	4	3	15	65	38	71	8	182	71	41	76	11	199
13-15歳	0	0	0	0	0	9	1	3	0	13	35	28	29	4	96	44	29	32	4	109
16-19歳	5	0	0	0	5	20	13	8	1	42	98	89	84	21	292	123	102	92	22	339
20-24歳	10	6	1	0	17	21	19	9	0	49	359	262	192	31	844	390	287	202	31	910
25-29歳	10	0	1	0	11	26	16	7	1	50	442	287	214	56	999	478	303	222	57	1,060
30-34歳	3	2	0	0	5	22	12	13	2	49	426	249	207	54	936	451	263	220	56	990
35-39歳	4	3	0	0	7	20	14	12	1	47	425	278	211	52	966	449	295	223	53	1,020
40-44歳	8	3	1	0	12	22	13	8	2	45	439	305	240	47	1,031	469	321	249	49	1,088
45-49歳	12	1	2	0	15	46	26	20	2	94	497	317	289	57	1,160	555	344	311	59	1,269
50-54歳	16	6	2	0	24	45	25	24	1	95	571	340	300	62	1,273	632	371	326	63	1,392
55-59歳	12	5	4	1	22	47	19	11	7	84	402	244	221	42	909	461	268	236	50	1,015
60-64歳	9	7	1	0	17	48	18	12	5	83	304	176	147	25	652	361	201	160	30	752
65-69歳	6	4	2	0	12	43	13	10	1	67	203	139	103	25	470	252	156	115	26	549
70-74歳	9	3	2	1	15	41	13	12	4	70	149	123	110	13	395	199	139	124	18	480
75-79歳	6	2	1	1	10	24	9	11	3	47	91	68	72	10	241	121	79	84	14	298
80-84歳	5	4	1	1	11	17	9	11	1	38	57	34	44	4	139	79	47	56	6	188
85-89歳	8	3	3	2	16	14	8	7	0	29	23	8	15	2	48	45	19	25	4	93
90-94歳	2	1	1	0	4	3	3	1	1	8	2	5	5	1	13	7	9	7	2	25
95歳以上	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
合計	126	52	23	6	207	476	235	184	35	930	4,655	3,031	2,598	529	10,813	5,257	3,318	2,805	570	11,950

(4) 事業用貨物自動車の年齢別死傷者数の構成率（令和5年）

令和5年の年齢別死傷者数の構成率は、死者では、50-54歳11.6%、55-59歳10.6%、20-24歳及び60-64歳が各8.2%となっています。

一方、重傷者では、50-54歳10.2%、45-49歳10.1%、55-59歳9.0%となっています。また、軽傷者では、50-54歳11.8%、45-49歳10.7%、40-44歳9.5%となっています。

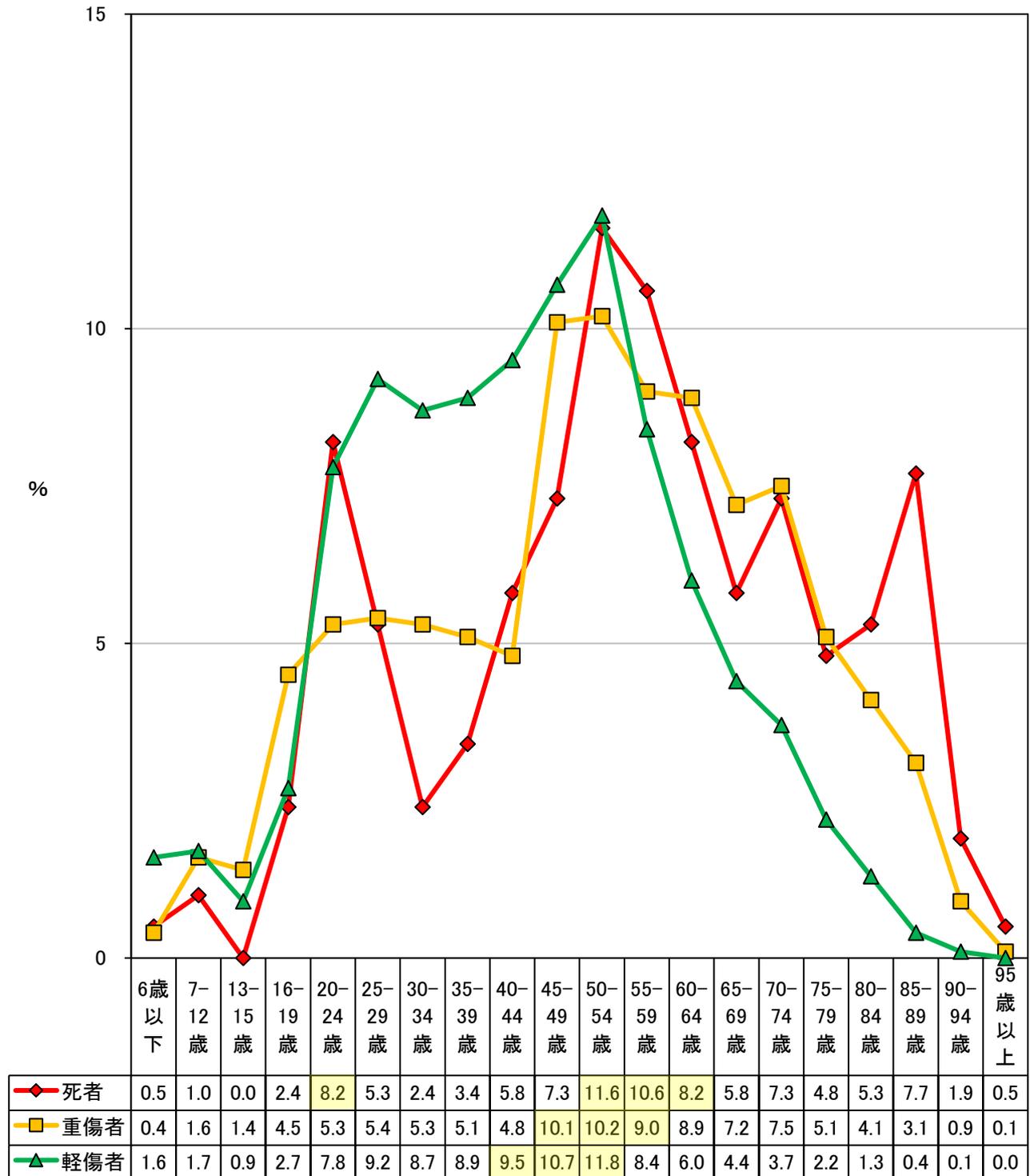


図17-2 年齢別死傷者数の構成率（令和5年）

(5) 事業用貨物自動車の死者数の推移（平成 26-令和 5 年）

事業用貨物自動車の死者数全体の推移は、増減しながら概ね減少傾向にあり、平成 28 年以降は 300 人を下回り、令和 4 年には 200 人を下回りましたが、令和 5 年は増加し再び 200 人を超えています。

第 2 当事者別でみると、比較的顕著な減少傾向にあるのは対歩行者で、平成 26 年の 121 人をピークに令和 4 年には 70 人まで減少し、令和 5 年は前年より微増したものの、この 10 年間で 3 割ほど減少しています。

表 17-4 事業用貨物自動車の死者数の推移（平成 26-令和 5 年）

(人)

第2当事者 \ 年	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
乗用車	30	33	31	30	36	21	16	15	23	15
貨物車	51	41	36	41	31	20	29	22	19	20
二輪車	28	25	29	27	27	19	28	27	18	28
対自転車	74	59	53	47	62	51	43	43	22	34
対歩行者	121	112	89	91	83	106	76	72	70	81
物件	23	20	15	22	12	16	10	20	11	15
その他	13	22	17	22	9	12	9	7	11	14
合計	340	312	270	280	260	245	211	206	174	207

※ 「第2当事者」は、表 17-1 の項目とする。

※ 「その他」は、特殊車、路面電車、列車、駐車車両（運転者不在）、相手なし、不明の合計とする。

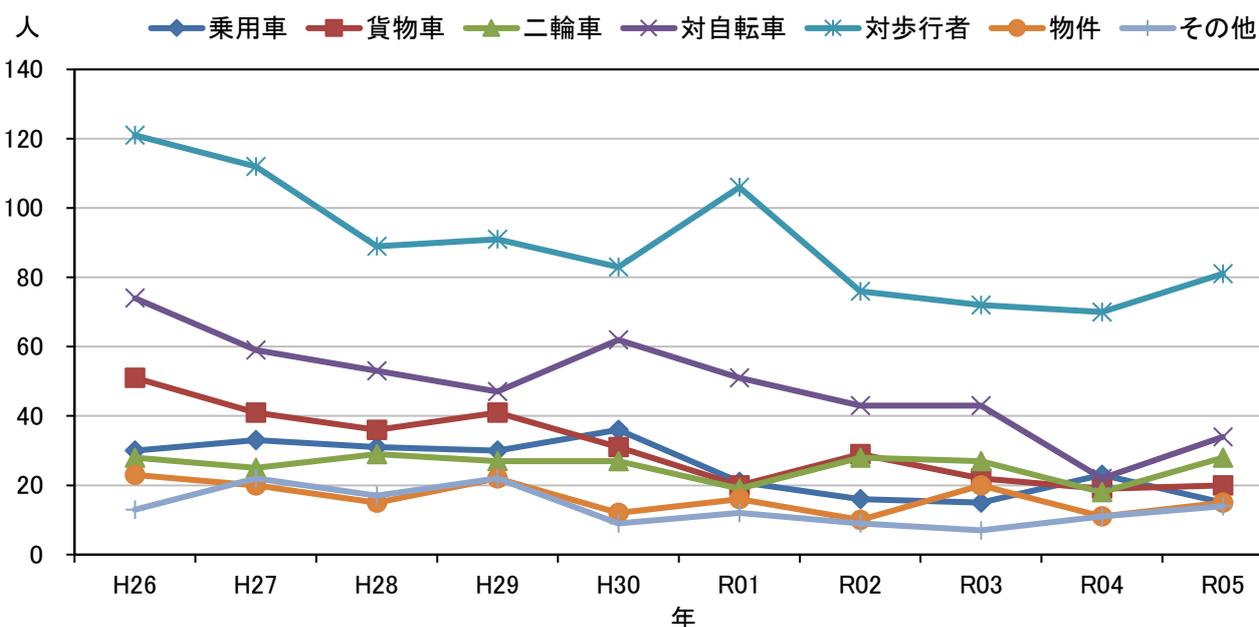


図 17-3 事業用貨物自動車の死者数の推移（平成 26-令和 5 年）

(6) 事業用貨物自動車の対歩行者・対自転車の年齢別死者数（令和5年）

令和5年の対歩行者と対自転車の年齢別死者数は、対歩行者の年齢別で見ると、第1当事者種別では、大型は85-89歳が7人、中型は60-64歳が5人、準中型は55-59歳及び85-89歳が各2人となり、高齢者が比較的多くなっています。

一方、対自転車の年齢別で見ると、大型では55-59歳4人、中型では7-12歳、20-24歳、50-54歳、60-64歳、75-79歳及び80-84歳が各1人、準中型では70-74歳及び85-89歳が各1人、普通では70-74歳1人と比較的高齢層が多い傾向がみられます。

表 17-5 対歩行者・対自転車の年齢別死者数（令和5年）

第2当事者 第1当事者 年齢(第2当事者)	対歩行者					対自転車					合計
	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	
6歳以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-12歳	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	2
13-15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16-19歳	2	0	0	0	2	1	0	0	0	1	3
20-24歳	0	1	1	0	2	2	1	0	0	3	5
25-29歳	1	0	0	0	1	2	0	0	0	2	3
30-34歳	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	2
35-39歳	1	2	0	0	3	1	0	0	0	1	4
40-44歳	3	1	0	0	4	2	0	0	0	2	6
45-49歳	1	0	1	0	2	1	0	0	0	1	3
50-54歳	4	3	1	0	8	3	1	0	0	4	12
55-59歳	2	3	2	0	7	4	0	0	0	4	11
60-64歳	4	5	0	0	9	0	1	0	0	1	10
65-69歳	1	2	0	0	3	3	0	0	0	3	6
70-74歳	3	3	1	0	7	3	0	1	1	5	12
75-79歳	3	1	1	1	6	1	1	0	0	2	8
80-84歳	4	2	1	1	8	1	1	0	0	2	10
85-89歳	7	3	2	1	13	0	0	1	0	1	14
90-94歳	1	1	1	0	3	0	0	0	0	0	3
95歳以上	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	38	28	12	3	81	25	6	2	1	34	115

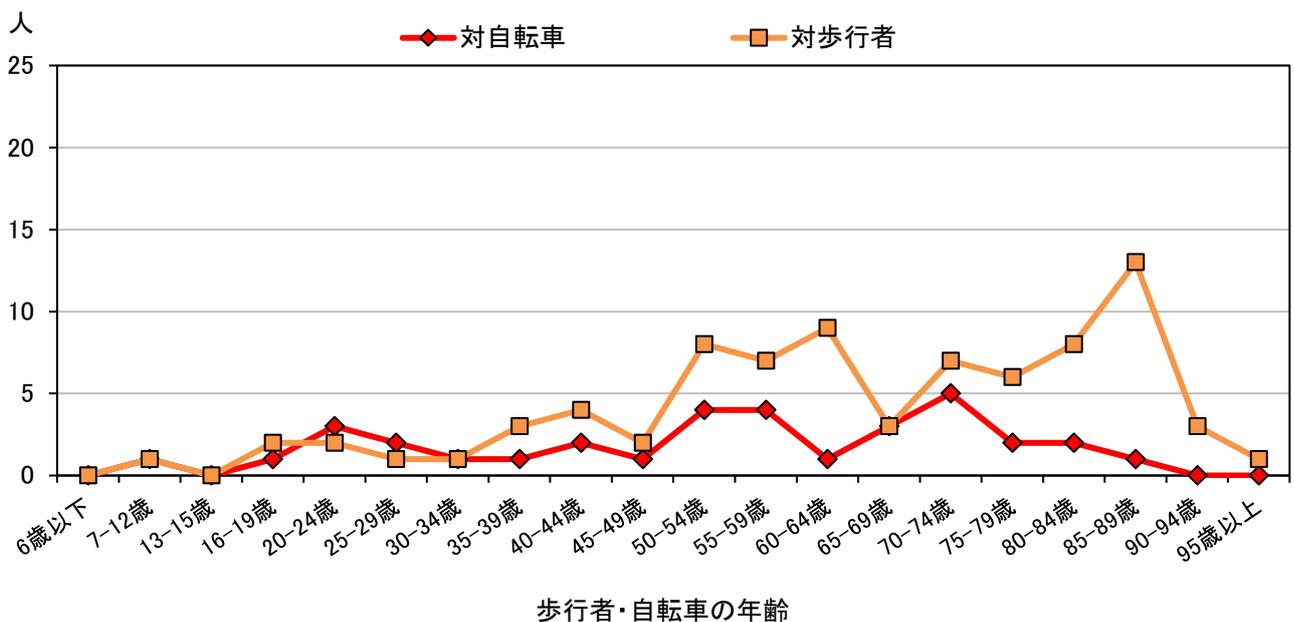


図 17-4 対歩行者・対自転車の年齢別死者数（令和5年）

付 録

- 付録 1. 都道府県別の死傷事故件数（令和5年）
- 付録 2. 事業用自動車の第1当事者種別・都道府県別の死傷事故件数（令和5年）
- 付録 3. 事業用自動車の第1当事者種別・法令違反別の死傷事故件数（令和5年）
- 付録 4. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷事故件数（令和5年）
- 付録 5. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷者数（令和5年）
- 付録 6. 交通事故発生状況の推移（平成8-令和5年）
- 付録 7. 事業用自動車の業態別死者数の推移（平成26-令和5年）
- 付録 8. 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死者数の推移（平成26-令和5年）
- 付録 9. 事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）
- 付録10. 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）
- 付録11. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの死亡事故件数（令和5年）
- 付録12. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの重傷・軽傷事故件数（令和5年）
- 付録13. 事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況（平成26-令和5年）
- 付録14. 事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況（平成26-令和5年）
- 付録15. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率（令和5年）
- 付録16. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和5年）
- 付録17. 事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数（令和5年）
- 付録18. 事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和5年）
- 付録19. 事業用貨物自動車の対自転車事故の状況
- 付録20. 事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況
- 付録21. 事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況
- 付録22. 事業用貨物自動車の車両単独事故の状況
- 付録23. 事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況
- 付録24. 事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死亡事故件数及び死者数（令和2-令和5年）
- 付録25. 事業用貨物自動車1万台当たりの死亡事故件数（車籍別）（令和4-令和5年）
- 付録26. 事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死者数及び重傷者数（令和2-令和5年）
- 付録27. 事業用貨物自動車を第1当事者とする死者数及び重傷者数の推移（平成26-令和5年）
- 付録28. 事業用貨物自動車1万台当たりの死者数及び重傷者数（車籍別）（令和4-令和5年）

付録 1. 都道府県別の死傷事故件数（令和 5 年）

都道府県	区分	死亡			重傷			軽傷			合計		
		件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)
北海道	札幌	67	7	11.7	638	92	16.8	5,974	237	4.1	6,679	336	5.3
	函館	8	1	14.3	57	-6	-9.5	496	-11	-2.2	561	-16	-2.8
	旭川	15	-8	-34.8	88	-12	-12.0	622	66	11.9	725	46	6.8
	釧路	18	1	5.9	102	-4	-3.8	753	224	42.3	873	221	33.9
	北見	10	4	66.7	36	6	20.0	198	28	16.5	244	38	18.4
	計	118	5	4.4	921	76	9.0	8,043	544	7.3	9,082	625	7.4
東北	青森	45	14	45.2	185	-6	-3.1	2,389	236	11.0	2,619	244	10.3
	岩手	35	0	0.0	307	53	20.9	1,161	-61	-5.0	1,503	-8	-0.5
	宮城	44	7	18.9	436	20	4.8	3,553	-111	-3.0	4,033	-84	-2.0
	秋田	31	0	0.0	157	-19	-10.8	967	17	1.8	1,155	-2	-0.2
	山形	31	5	19.2	289	12	4.3	2,460	-207	-7.8	2,780	-190	-6.4
	福島	51	5	10.9	416	59	16.5	2,446	147	6.4	2,913	211	7.8
東京	134	2	1.5	1,680	171	11.3	29,571	1,042	3.7	31,385	1,215	4.0	
関東	茨城	92	4	4.5	618	-11	-1.7	5,779	225	4.1	6,489	218	3.5
	栃木	58	9	18.4	499	-3	-0.6	3,251	-75	-2.3	3,808	-69	-1.8
	群馬	45	-2	-4.3	225	2	0.9	9,768	235	2.5	10,038	235	2.4
	埼玉	122	18	17.3	1,681	25	1.5	15,199	383	2.6	17,002	426	2.6
	千葉	126	4	3.3	1,493	65	4.6	11,945	272	2.3	13,564	341	2.6
	神奈川	115	6	5.5	1,271	168	15.2	20,484	598	3.0	21,870	772	3.7
	新潟	53	-7	-11.7	544	8	1.5	2,124	-8	-0.4	2,721	-7	-0.3
	山梨	29	5	20.8	243	9	3.8	1,840	79	4.5	2,112	93	4.6
	長野	41	-5	-10.9	477	34	7.7	4,488	225	5.3	5,006	254	5.3
	静岡	68	-13	-16.0	848	-44	-4.9	17,746	41	0.2	18,662	-16	-0.1
中部	富山	30	-3	-9.1	245	-3	-1.2	1,603	-69	-4.1	1,878	-75	-3.8
	石川	28	7	33.3	257	20	8.4	1,774	45	2.6	2,059	72	3.6
	福井	20	-6	-23.1	188	14	8.0	778	39	5.3	986	47	5.0
	岐阜	47	-25	-34.7	381	54	16.5	2,649	153	6.1	3,077	182	6.3
	愛知	144	12	9.1	715	86	13.7	23,688	624	2.7	24,547	722	3.0
	三重	61	2	3.4	485	37	8.3	2,430	20	0.8	2,976	59	2.0
近畿	滋賀	43	5	13.2	369	60	19.4	2,355	-160	-6.4	2,767	-95	-3.3
	京都	58	15	34.9	790	73	10.2	3,219	169	5.5	4,067	257	6.7
	大阪	145	7	5.1	2,958	226	8.3	22,848	209	0.9	25,951	442	1.7
	兵庫	102	-15	-12.8	939	-14	-1.5	15,240	-62	-0.4	16,281	-91	-0.6
	奈良	26	-2	-7.1	355	0	0.0	2,219	-1	0.0	2,600	-3	-0.1
	和歌山	31	8	34.8	265	-14	-5.0	1,059	-28	-2.6	1,355	-34	-2.4
中国	鳥取	14	1	7.7	103	11	12.0	539	46	9.3	656	58	9.7
	島根	21	5	31.3	166	0	0.0	569	-15	-2.6	756	-10	-1.3
	岡山	49	-24	-32.9	634	140	28.3	4,478	697	18.4	5,161	813	18.7
	広島	75	3	4.2	774	82	11.8	3,917	366	10.3	4,766	451	10.5
	山口	35	5	16.7	367	8	2.2	1,867	-5	-0.3	2,269	8	0.4
四国	徳島	28	6	27.3	250	34	15.7	1,709	-13	-0.8	1,987	27	1.4
	香川	33	1	3.1	256	26	11.3	2,752	-130	-4.5	3,041	-103	-3.3
	愛媛	42	-2	-4.5	500	19	4.0	1,573	-34	-2.1	2,115	-17	-0.8
	高知	22	-4	-15.4	207	-10	-4.6	746	46	6.6	975	32	3.4
九州	福岡	103	31	43.1	648	-13	-2.0	19,422	287	1.5	20,173	305	1.5
	佐賀	12	-11	-47.8	120	-9	-7.0	3,012	-74	-2.4	3,144	-94	-2.9
	長崎	36	8	28.6	265	-15	-5.4	2,338	35	1.5	2,639	28	1.1
	熊本	36	-16	-30.8	483	5	1.0	2,793	148	5.6	3,312	137	4.3
	大分	32	0	0.0	253	30	13.5	1,948	-68	-3.4	2,233	-38	-1.7
	宮崎	30	-2	-6.3	229	-4	-1.7	3,229	-304	-8.6	3,488	-310	-8.2
	鹿児島	39	-1	-2.5	388	3	0.8	2,538	-125	-4.7	2,965	-123	-4.0
	沖縄	38	6	18.8	408	24	6.3	2,518	156	6.6	2,964	186	6.7
合計	2,618	68	2.7	26,288	1,489	6.0	279,024	5,534	2.0	307,930	7,091	2.4	

付録2. 事業用自動車の第1当事者種別・都道府県別の死傷事故件数（令和5年）

(件)

第1当事者種別 都道府県		事業用										事業用 合計
		乗用車				貨物車						
		バス	マイクロバス	ハイタク	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	トレーラ	
北海道	札幌	33	1	391	425	128	38	24	10	200	49	625
	函館	2	0	27	29	8	5	2	0	15	1	44
	旭川	1	0	17	18	13	5	4	0	22	3	40
	釧路	1	0	12	13	14	2	3	0	19	3	32
	北見	1	0	4	5	1	0	0	1	2	1	7
	計	38	1	451	490	164	50	33	11	258	57	748
東北	青森	11	0	50	61	32	14	7	0	53	7	114
	岩手	3	0	23	26	22	14	4	0	40	4	66
	宮城	7	1	86	94	47	23	16	2	88	6	182
	秋田	3	0	16	19	17	6	1	0	24	1	43
	山形	2	0	21	23	15	17	11	3	46	1	69
	福島	2	0	34	36	45	19	9	0	73	6	109
東京		162	20	2,460	2,642	293	221	436	116	1,066	120	3,708
関東	茨城	9	1	55	65	97	55	31	5	188	29	253
	栃木	5	1	17	23	43	44	15	3	105	10	128
	群馬	3	2	51	56	117	61	36	9	223	22	279
	埼玉	27	11	222	260	253	230	190	47	720	52	980
	千葉	45	4	242	291	189	122	134	19	464	29	755
	神奈川	103	2	645	750	272	180	219	43	714	57	1,464
	新潟	9	1	32	42	35	16	7	4	62	3	104
	山梨	5	2	16	23	24	13	9	0	46	1	69
	長野	3	2	48	53	50	35	20	5	110	3	163
	静岡	24	3	212	239	247	140	68	9	464	32	703
中部	富山	2	0	6	8	12	11	9	4	36	2	44
	石川	6	0	46	52	26	19	6	5	56	2	108
	福井	0	0	6	6	16	15	7	1	39	4	45
	岐阜	6	1	17	24	39	24	16	2	81	6	105
	愛知	48	4	374	426	373	242	133	40	788	52	1,214
	三重	4	0	13	17	78	33	20	4	135	10	152
近畿	滋賀	4	3	21	28	61	32	13	4	110	10	138
	京都	60	2	186	248	52	35	39	8	134	7	382
	大阪	80	5	1,134	1,219	379	261	336	70	1,046	67	2,265
	兵庫	58	5	354	417	259	127	89	29	504	51	921
	奈良	3	0	15	18	18	23	7	3	51	5	69
	和歌山	2	0	14	16	11	11	7	0	29	1	45
中国	鳥取	2	0	6	8	13	5	2	1	21	1	29
	島根	3	1	10	14	6	2	2	1	11	2	25
	岡山	7	0	54	61	97	48	18	1	164	13	225
	広島	18	1	155	174	84	37	24	2	147	9	321
	山口	5	0	39	44	42	17	9	3	71	9	115
四国	徳島	1	1	22	24	17	10	11	1	39	5	63
	香川	6	0	31	37	33	24	8	1	66	6	103
	愛媛	1	0	42	43	23	11	5	2	41	3	84
	高知	2	0	16	18	9	6	1	0	16	2	34
九州	福岡	43	4	700	747	263	155	89	12	519	19	1,266
	佐賀	5	0	28	33	40	16	14	0	70	5	103
	長崎	29	1	66	96	18	8	4	0	30	2	126
	熊本	6	0	62	68	37	16	14	1	68	9	136
	大分	8	0	44	52	29	11	6	3	49	10	101
	宮崎	4	1	57	62	28	11	8	9	56	11	118
	鹿児島	9	0	54	63	19	15	8	3	45	5	108
	沖縄	11	0	142	153	7	4	1	3	15	2	168
合計		894	80	8,395	9,369	4,051	2,489	2,152	489	9,181	770	18,550

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

※ バスは、乗車定員30人以上、マイクロバスは、乗車定員11以上30人未満、ハイタクは、ミニバン・セダン等。

※ トレーラは、貨物車（大型、中型、準中型及び普通）の内数。

付録3. 事業用自動車の第1当事者種別・法令違反別の死傷事故件数（令和5年）

(件)

第1当事者種別		事業用										事業用 合計	
		乗用車				貨物車							
		バス	マイクロバス	ハイタク	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	トレーラ		
法令違反													
車 両 の 運 者	信号無視	22	1	236	259	170	90	76	11	347	35	606	
	通行区分	3	-	29	32	29	18	5	1	53	6	85	
	最高速度	-	-	2	2	4	6	-	-	10	-	12	
	横断転回後退	2	-	99	101	16	17	20	2	55	3	156	
	車間距離不保持	3	1	17	21	22	19	9	3	53	4	74	
	追越し	5	1	17	23	27	17	6	2	52	3	75	
	踏切不停止	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	
	右折	-	-	22	22	12	7	12	2	33	2	55	
	左折	-	2	29	31	50	11	10	3	74	11	105	
	環状交差点違反	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	優先通行妨害	7	3	142	152	35	23	26	8	92	7	244	
	交差点安全進行	36	6	782	824	135	73	119	40	367	27	1,191	
	歩行者妨害等	24	4	461	489	77	63	48	14	202	13	691	
	徐行	1	-	63	64	1	2	8	4	15	-	79	
	一時不停止	4	-	314	318	33	24	30	16	103	7	421	
	整備不良	-	-	-	-	10	-	-	-	10	5	10	
	酒酔い	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	2	
	過労運転	2	1	12	15	12	10	9	-	31	2	46	
	薬物運転	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	
	安 全 運 転 義 務 者	運転操作	168	17	560	745	285	181	121	45	632	50	1,377
前方不注意		漫然	42	4	378	424	405	357	253	45	1,060	71	1,484
			脇見	50	5	764	819	649	490	361	66	1,566	102
動静不注視		123		10	570	703	580	337	305	55	1,277	126	1,980
安全不確認		272	14	3,329	3,615	1,216	626	623	152	2,617	233	6,232	
安全速度		8	1	13	22	43	11	6	1	61	11	83	
その他		76	4	139	219	72	38	39	8	157	16	376	
その他の違反	43	6	411	460	164	63	64	11	302	35	762		
不明	3	-	4	7	4	6	-	-	10	1	17		
合計		894	80	8,395	9,369	4,051	2,489	2,152	489	9,181	770	18,550	

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

※ バスは、乗車定員30人以上、マイクロバスは、乗車定員11以上30人未満、ハイタクは、ミニバン・セダン等。

※ トレーラは、貨物車（大型、中型、準中型及び普通）の内数。

付録4. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷事故件数（令和5年）

運輸支局等 区分		死 亡				重 傷				軽 傷				合 計		
		バス	ハイタク	トラック	小 計	バス	ハイタク	トラック	小 計	バス	ハイタク	トラック	小 計	バス	ハイタク	トラック
北海道	札幌	0	3	7	10	5	39	19	63	25	336	154	515	30	378	180
	函館	0	0	0	0	1	3	0	4	1	24	8	33	2	27	8
	室蘭	0	0	1	1	1	1	1	3	3	10	30	43	4	11	32
	帯広	0	0	2	2	0	2	0	2	1	5	8	14	1	7	10
	釧路	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5	10	15	0	5	11
	北見	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4	2	6	1	4	2
	旭川	0	0	0	0	0	2	7	9	0	14	19	33	0	16	26
小計	0	3	10	13	8	47	28	83	30	398	231	659	38	448	269	
東北	宮城	0	2	2	4	0	8	8	16	8	76	93	177	8	86	103
	福島	0	0	3	3	0	4	14	18	3	30	83	116	3	34	100
	岩手	0	0	3	3	1	5	7	13	3	16	35	54	4	21	45
	青森	0	0	4	4	4	1	6	11	7	49	54	110	11	50	64
	山形	0	0	1	1	0	2	6	8	1	19	49	69	1	21	56
	秋田	0	0	1	1	0	0	8	8	3	16	14	33	3	16	23
小計	0	2	14	16	5	20	49	74	25	206	328	559	30	228	391	
北陸信越	新潟	0	0	2	2	3	5	10	18	7	27	59	93	10	32	71
	長野	0	0	2	2	2	7	15	24	3	41	87	131	5	48	104
	石川	0	0	0	0	2	8	7	17	4	39	53	96	6	47	60
	富山	0	0	1	1	0	0	6	6	2	5	39	46	2	5	46
小計	0	0	5	5	7	20	38	65	16	112	238	366	23	132	281	
関東	東京	1	8	7	16	16	115	60	191	156	2,338	663	3,157	173	2,461	730
	神奈川	0	1	9	10	8	31	38	77	91	603	581	1,275	99	635	628
	千葉	0	2	9	11	9	27	47	83	46	205	423	674	55	234	479
	埼玉	0	0	17	17	5	16	77	98	36	191	708	935	41	207	802
	茨城	0	1	8	9	2	5	30	37	9	51	205	265	11	57	243
	群馬	0	0	5	5	0	2	14	16	5	49	199	253	5	51	218
	栃木	1	0	8	9	1	4	23	28	6	13	108	127	8	17	139
	山梨	0	0	2	2	0	1	9	10	4	15	50	69	4	16	61
小計	2	12	65	79	41	201	298	540	353	3,465	2,937	6,755	396	3,678	3,300	
中部	愛知	0	1	8	9	3	6	41	50	48	364	652	1,064	51	371	701
	静岡	0	1	4	5	3	11	24	38	24	199	372	595	27	211	400
	岐阜	0	0	3	3	1	0	8	9	6	18	108	132	7	18	119
	三重	0	0	7	7	0	2	18	20	5	11	118	134	5	13	143
	福井	0	0	1	1	0	1	5	6	0	5	33	38	0	6	39
小計	0	2	23	25	7	20	96	123	83	597	1,283	1,963	90	619	1,402	
近畿	大阪	0	3	23	26	15	103	107	225	69	1,021	882	1,972	84	1,127	1,012
	京都	0	2	3	5	12	25	26	63	50	162	160	372	62	189	189
	兵庫	0	1	7	8	9	18	26	53	53	328	412	793	62	347	445
	滋賀	0	0	2	2	2	1	10	13	5	18	57	80	7	19	69
	奈良	0	0	0	0	0	3	13	16	2	12	74	88	2	15	87
	和歌山	0	0	2	2	0	2	9	11	1	13	49	63	1	15	60
小計	0	6	37	43	38	152	191	381	180	1,554	1,634	3,368	218	1,712	1,862	
中国	広島	0	0	6	6	6	14	25	45	15	141	132	288	21	155	163
	鳥取	0	0	2	2	1	1	5	7	1	5	17	23	2	6	24
	島根	1	0	0	1	1	1	2	4	2	9	12	23	4	10	14
	岡山	0	0	9	9	2	7	17	26	3	47	145	195	5	54	171
山口	0	0	3	3	1	5	13	19	3	34	48	85	4	39	64	
小計	1	0	20	21	11	28	62	101	24	236	354	614	36	264	436	
四国	香川	0	1	2	3	1	1	9	11	6	29	74	109	7	31	85
	徳島	0	0	2	2	0	2	4	6	3	20	35	58	3	22	41
	愛媛	0	0	2	2	0	4	15	19	1	38	46	85	1	42	63
	高知	0	0	2	2	1	4	2	7	1	12	19	32	2	16	23
小計	0	1	8	9	2	11	30	43	11	99	174	284	13	111	212	
九州	福岡	0	2	10	12	2	21	30	53	45	673	495	1,213	47	696	535
	佐賀	0	0	1	1	0	1	5	6	4	27	67	98	4	28	73
	長崎	2	1	0	3	6	5	0	11	24	60	42	126	32	66	42
	熊本	0	2	2	4	1	9	5	15	5	51	78	134	6	62	85
	大分	0	0	1	1	2	6	5	13	6	39	49	94	8	45	55
	宮崎	0	1	0	1	2	5	6	13	3	51	46	100	5	57	52
鹿児島	0	0	2	2	4	7	6	17	5	47	64	116	9	54	72	
小計	2	6	16	24	17	54	57	128	92	948	841	1,881	111	1,008	914	
沖縄	0	3	0	3	1	19	1	21	10	120	13	143	11	142	14	
不明	0	1	1	2	1	4	13	18	7	48	86	141	8	53	100	
合計	5	36	199	240	138	576	863	1,577	831	7,783	8,119	16,733	974	8,395	9,181	

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

※ バスは、バス及びマイクロバス、ハイタクは、ミニバン・セダン等、トラックは、貨物車。

付録5. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷者数（令和5年）

運輸支局等	区分	死亡				重傷				軽傷				合計		
		バス	ハイタク	トラック	小計	バス	ハイタク	トラック	小計	バス	ハイタク	トラック	小計	バス	ハイタク	トラック
北海道	札幌	0	3	7	10	5	41	19	65	28	390	198	616	33	434	224
	函館	0	0	0	0	1	3	0	4	8	29	9	46	9	32	9
	室蘭	0	0	2	2	1	1	3	5	5	13	38	56	6	14	43
	帯広	0	0	2	2	0	2	0	2	1	6	9	16	1	8	11
	釧路	0	0	0	0	0	0	1	1	0	6	13	19	0	6	14
	北見	0	0	0	0	1	0	0	1	0	7	2	9	1	7	2
	旭川	0	0	0	0	0	2	7	9	0	15	35	50	0	17	42
小計	0	3	11	14	8	49	30	87	42	466	304	812	50	518	345	
東北	宮城	0	2	2	4	0	8	9	17	12	97	124	233	12	107	135
	福島	0	0	4	4	0	4	16	20	3	34	104	141	3	38	124
	岩手	0	0	3	3	2	5	7	14	6	17	39	62	8	22	49
	青森	0	0	6	6	4	1	7	12	23	55	75	153	27	56	88
	山形	0	0	1	1	0	2	6	8	1	24	60	85	1	26	67
秋田	0	0	1	1	0	0	8	8	6	17	20	43	6	17	29	
小計	0	2	17	19	6	20	53	79	51	244	422	717	57	266	492	
北陸信越	新潟	0	0	2	2	3	5	11	19	7	28	68	103	10	33	81
	長野	0	0	2	2	2	7	18	27	6	47	121	174	8	54	141
	石川	0	0	0	0	2	8	8	18	4	45	68	117	6	53	76
	富山	0	0	1	1	0	0	6	6	3	6	48	57	3	6	55
小計	0	0	5	5	7	20	43	70	20	126	305	451	27	146	353	
関東	東京	1	8	7	16	17	122	61	200	187	2,597	807	3,591	205	2,727	875
	神奈川	0	1	9	10	8	31	41	80	112	711	765	1,588	120	743	815
	千葉	0	2	9	11	9	28	47	84	58	248	551	857	67	278	607
	埼玉	0	0	17	17	5	16	80	101	56	232	924	1,212	61	248	1,021
	茨城	0	1	8	9	2	5	36	43	9	66	275	350	11	72	319
	群馬	0	0	7	7	0	2	14	16	5	61	260	326	5	63	281
	栃木	1	0	8	9	1	4	26	31	6	14	173	193	8	18	207
	山梨	0	0	2	2	0	1	10	11	5	17	69	91	5	18	81
小計	2	12	67	81	42	209	315	566	438	3,946	3,824	8,208	482	4,167	4,206	
中部	愛知	0	1	8	9	3	6	44	53	55	410	853	1,318	58	417	905
	静岡	0	1	4	5	3	12	24	39	31	252	514	797	34	265	542
	岐阜	0	0	4	4	1	0	11	12	6	22	150	178	7	22	165
	三重	0	0	7	7	0	4	23	27	5	12	171	188	5	16	201
	福井	0	0	1	1	0	1	5	6	0	6	41	47	0	7	47
小計	0	2	24	26	7	23	107	137	97	702	1,729	2,528	104	727	1,860	
近畿	大阪	0	3	23	26	15	109	113	237	87	1,206	1,180	2,473	102	1,318	1,316
	京都	0	2	3	5	12	26	29	67	63	185	219	467	75	213	251
	兵庫	0	1	7	8	9	18	33	60	70	375	548	993	79	394	588
	滋賀	0	0	2	2	2	1	11	14	11	22	82	115	13	23	95
	奈良	0	0	0	0	0	3	13	16	2	13	119	134	2	16	132
	和歌山	0	0	2	2	0	2	9	11	1	17	81	99	1	19	92
小計	0	6	37	43	38	159	208	405	234	1,818	2,229	4,281	272	1,983	2,474	
中国	広島	0	0	6	6	6	15	29	50	20	166	179	365	26	181	214
	鳥取	0	0	2	2	1	1	5	7	1	6	31	38	2	7	38
	島根	1	0	0	1	1	1	2	4	4	11	13	28	6	12	15
	岡山	0	0	10	10	2	7	20	29	3	49	180	232	5	56	210
山口	0	0	3	3	1	5	13	19	3	40	71	114	4	45	87	
小計	1	0	21	22	11	29	69	109	31	272	474	777	43	301	564	
四国	香川	0	1	2	3	1	1	9	11	9	33	97	139	10	35	108
	徳島	0	0	2	2	0	2	4	6	3	24	58	85	3	26	64
	愛媛	0	0	2	2	0	4	15	19	1	45	60	106	1	49	77
	高知	0	0	2	2	1	4	2	7	3	13	25	41	4	17	29
小計	0	1	8	9	2	11	30	43	16	115	240	371	18	127	278	
九州	福岡	0	2	10	12	2	23	32	57	51	864	678	1,593	53	889	720
	佐賀	0	0	1	1	0	1	5	6	8	32	83	123	8	33	89
	長崎	2	1	0	3	6	6	0	12	31	67	59	157	39	74	59
	熊本	0	2	2	4	1	9	5	15	5	60	108	173	6	71	115
	大分	0	0	1	1	2	7	5	14	6	49	69	124	8	56	75
	宮崎	0	1	0	1	2	5	7	14	5	58	56	119	7	64	63
	鹿児島	0	0	2	2	5	7	6	18	6	49	78	133	11	56	86
小計	2	6	16	24	18	58	60	136	112	1,179	1,131	2,422	132	1,243	1,207	
沖縄	0	3	0	3	1	20	1	22	11	146	16	173	12	169	17	
不明	0	1	1	2	1	4	14	19	10	54	139	203	11	59	154	
合計	5	36	207	248	141	602	930	1,673	1,062	9,068	10,813	20,943	1,208	9,706	11,950	

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

※ バスは、バス及びマイクロバス、ハイタクは、ミニバン及びセダン等、トラックは、貨物車。

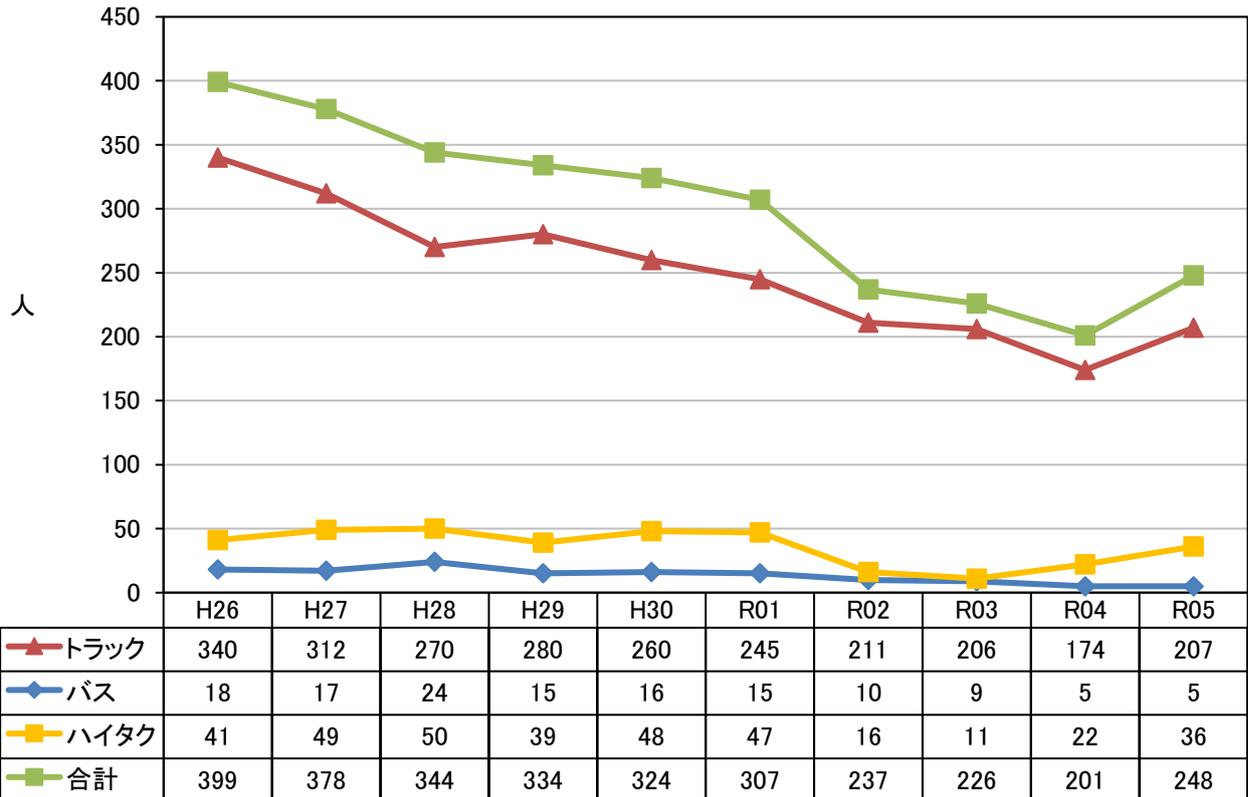
※ 死傷者数とは、事業用自動車が第1当事者となった事故における全当事者数をいう。

付録6. 交通事故発生状況の推移（平成8-令和5年）

事故状況 年	全体			貨物自動車					
	事故件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)	事故件数(件)		死者数(人)		負傷者数(人)	
				事業用	自家用	事業用	自家用	事業用	自家用
平成8年	771,085	9,943	942,204	28,102	80,633	762	980	36,716	97,948
平成9年	780,401	9,642	958,925	28,453	79,063	710	954	37,361	96,147
平成10年	803,882	9,214	990,676	28,086	77,580	728	902	36,957	94,516
平成11年	850,371	9,012	1,050,399	29,721	80,294	715	896	39,630	98,544
平成12年	931,950	9,073	1,155,707	32,953	84,938	763	801	43,960	104,756
平成13年	947,253	8,757	1,181,039	33,292	83,530	690	820	44,669	103,559
平成14年	936,950	8,396	1,168,029	32,162	79,297	688	735	43,138	98,481
平成15年	948,281	7,768	1,181,681	32,492	78,786	657	691	43,726	97,801
平成16年	952,720	7,436	1,183,617	32,403	76,464	637	622	43,460	94,962
平成17年	934,346	6,937	1,157,113	32,000	73,446	632	571	42,656	90,986
平成18年	887,267	6,415	1,098,564	30,328	68,005	557	519	40,328	84,300
平成19年	832,704	5,796	1,034,652	27,356	61,829	534	506	36,316	77,224
平成20年	766,394	5,209	945,703	24,222	55,315	428	430	31,852	68,608
平成21年	737,637	4,979	911,215	20,681	49,851	387	371	27,049	62,133
平成22年	725,924	4,948	896,297	21,049	48,747	402	412	27,897	60,605
平成23年	692,084	4,691	854,613	20,568	46,826	368	386	27,282	58,427
平成24年	665,157	4,438	825,392	19,474	43,978	389	316	25,739	55,825
平成25年	629,033	4,388	781,492	18,491	41,172	364	289	24,599	51,903
平成26年	573,842	4,113	711,374	17,801	37,502	340	328	23,662	47,720
平成27年	536,899	4,117	666,023	16,156	34,719	312	257	21,366	44,468
平成28年	499,201	3,904	618,853	14,600	32,197	270	277	19,165	41,186
平成29年	472,165	3,694	580,850	14,217	30,290	280	236	18,611	38,239
平成30年	430,601	3,532	525,846	13,428	28,117	260	251	17,508	35,278
令和元年	381,237	3,215	461,775	11,629	24,950	245	223	15,038	31,237
令和2年	309,178	2,839	369,476	9,449	20,255	211	219	11,872	24,923
令和3年	305,196	2,636	362,131	9,415	20,028	206	211	11,796	24,688
令和4年	300,839	2,610	356,601	9,371	19,543	174	211	11,927	24,018
令和5年	307,930	2,678	365,595	9,181	19,762	207	215	11,743	24,370

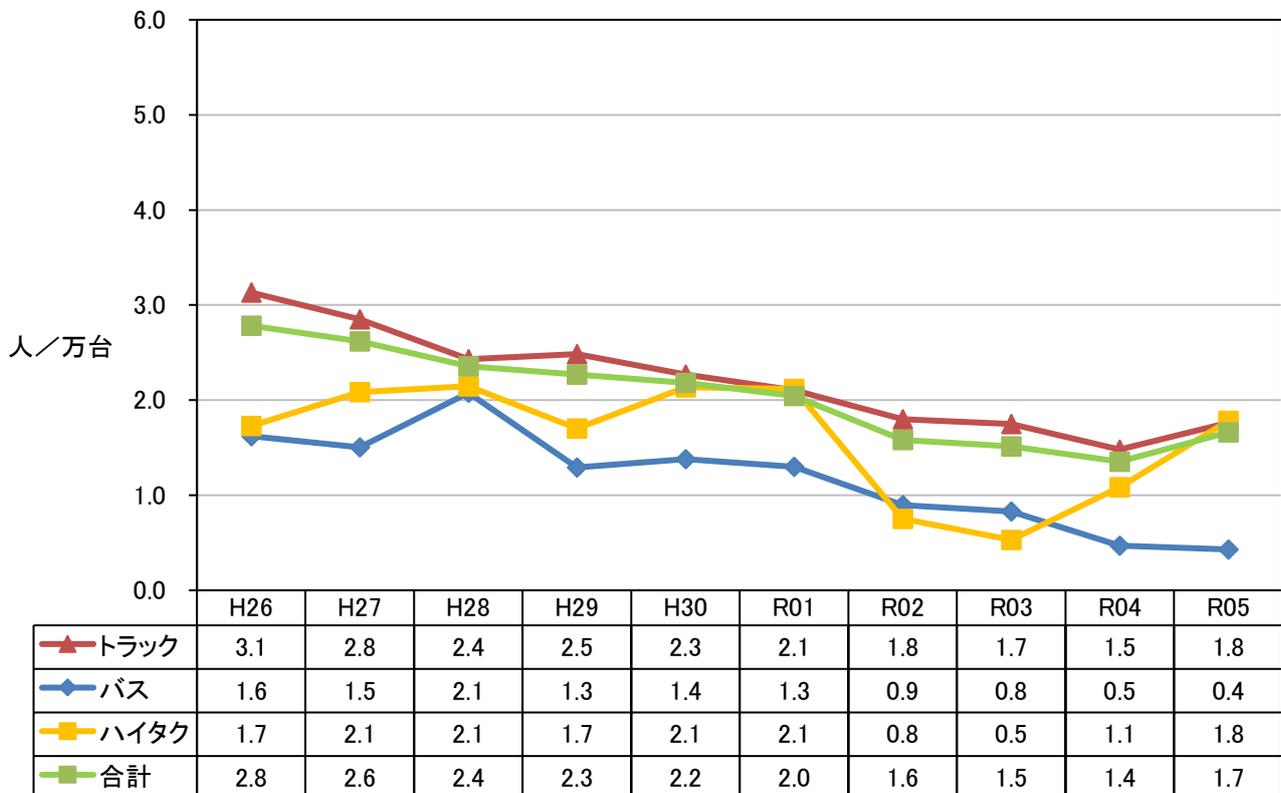
※ 貨物自動車は、軽自動車を除く。

付録 7. 事業用自動車の業態別死者数の推移（平成26-令和5年）



※ 軽自動車及びミニカーを除く。

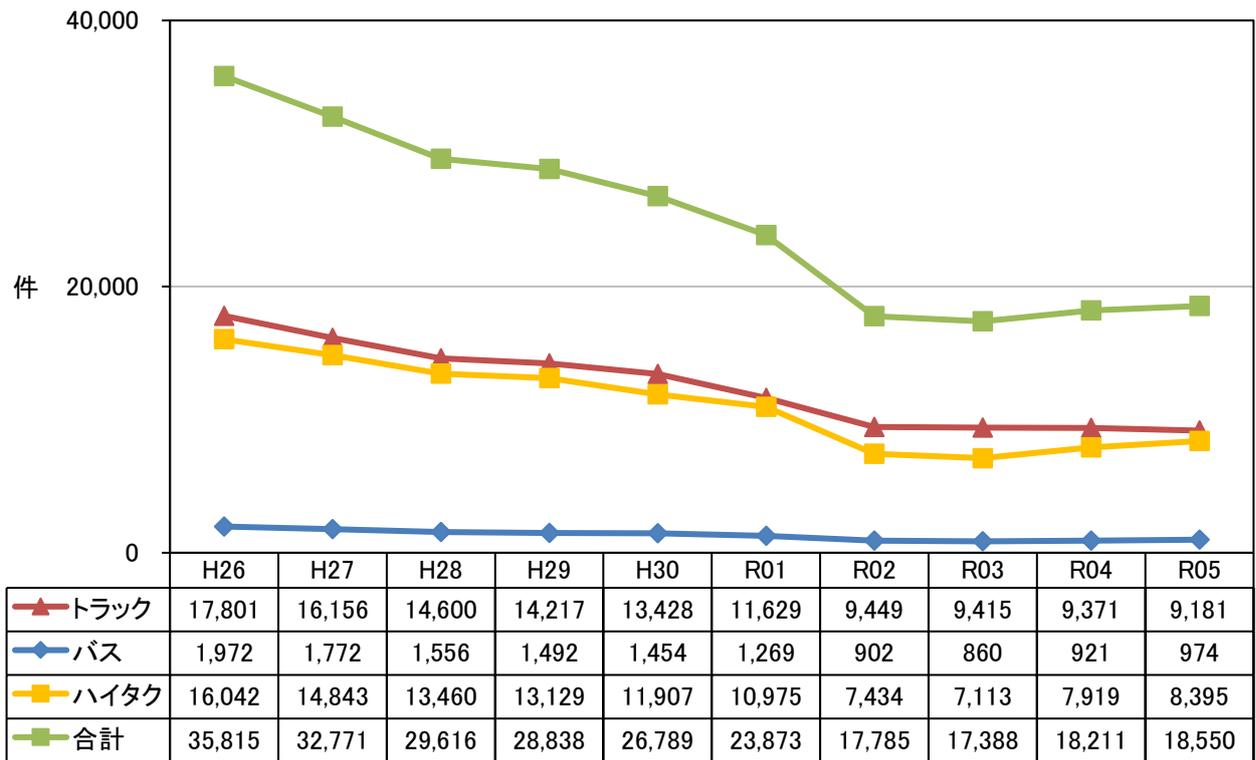
付録 8. 事業用自動車の業態別車両 1 万台当たりの死者数の推移（平成26-令和5年）



※ 軽自動車及びミニカーを除く。

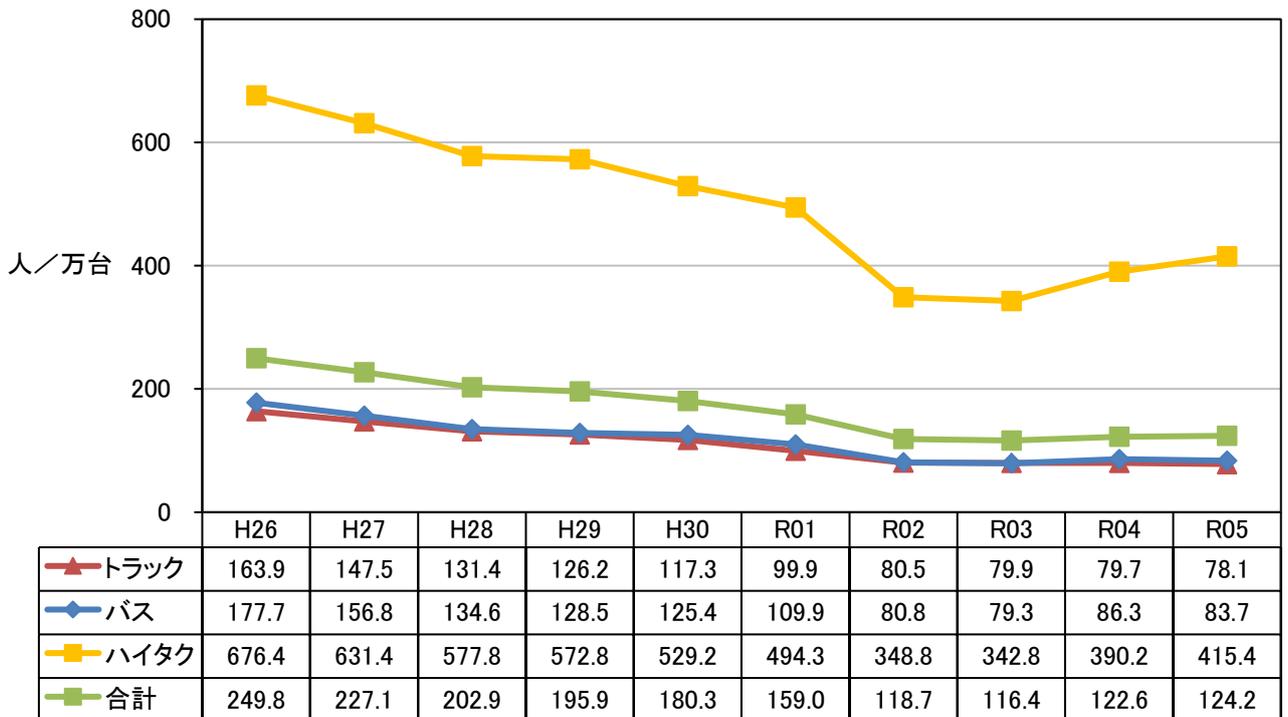
※ 算出には、（一財）自動車検査登録情報協会の「自動車保有車両数（令和5年12月末現在）」を使用した。

付録9. 事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）



※ 軽自動車及びミニカーを除く。

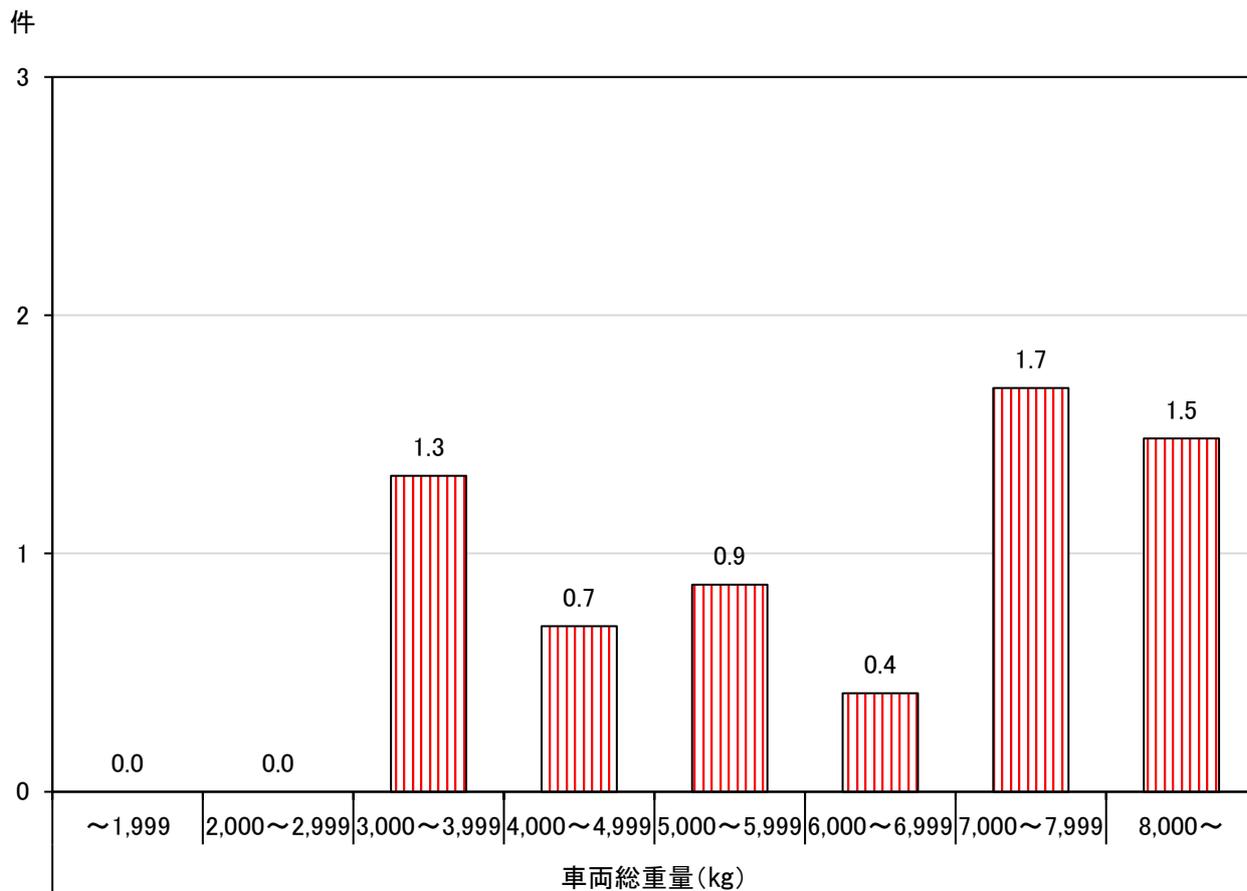
付録10. 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）



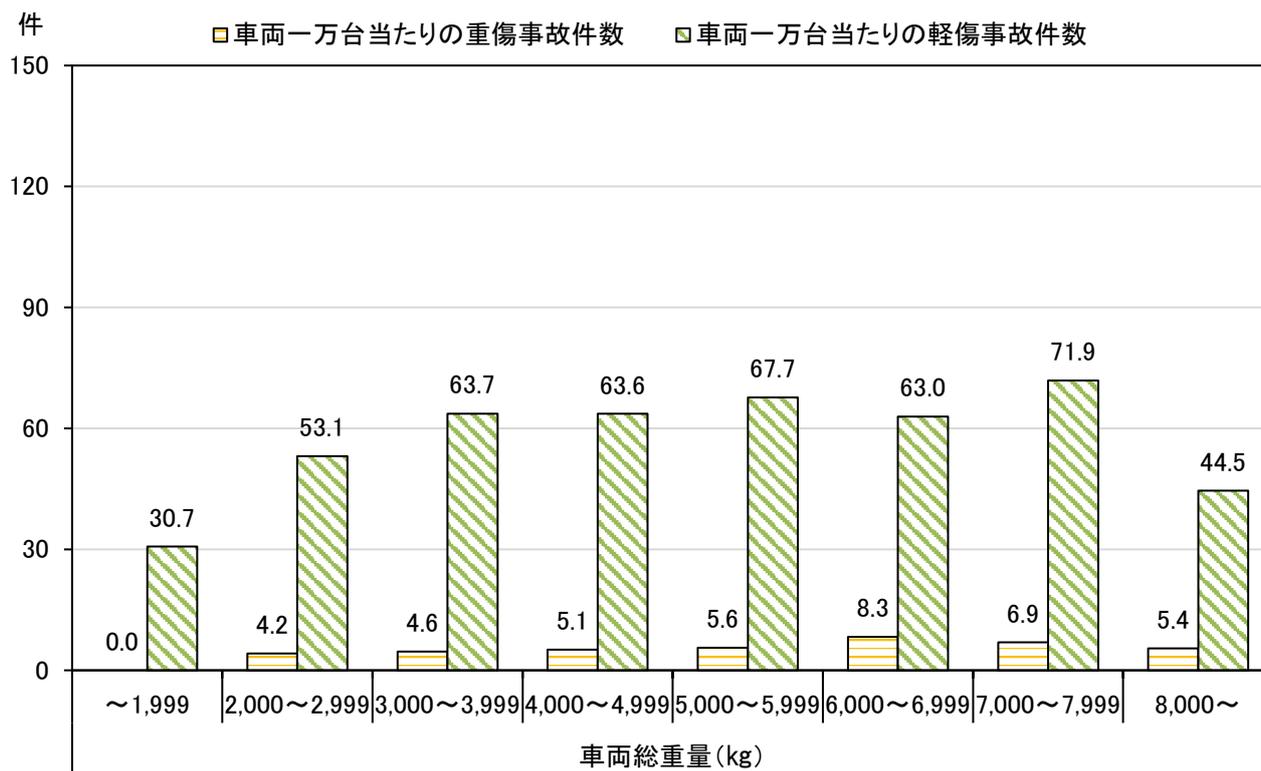
※ 軽自動車及びミニカーを除く。

※ 算出には、（一財）自動車検査登録情報協会の「自動車保有車両数（令和5年12月末現在）」を使用した。

付録11. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの死亡事故件数（令和5年）



付録12. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの重傷・軽傷事故件数（令和5年）



付録13. 事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況（平成26-令和5年）

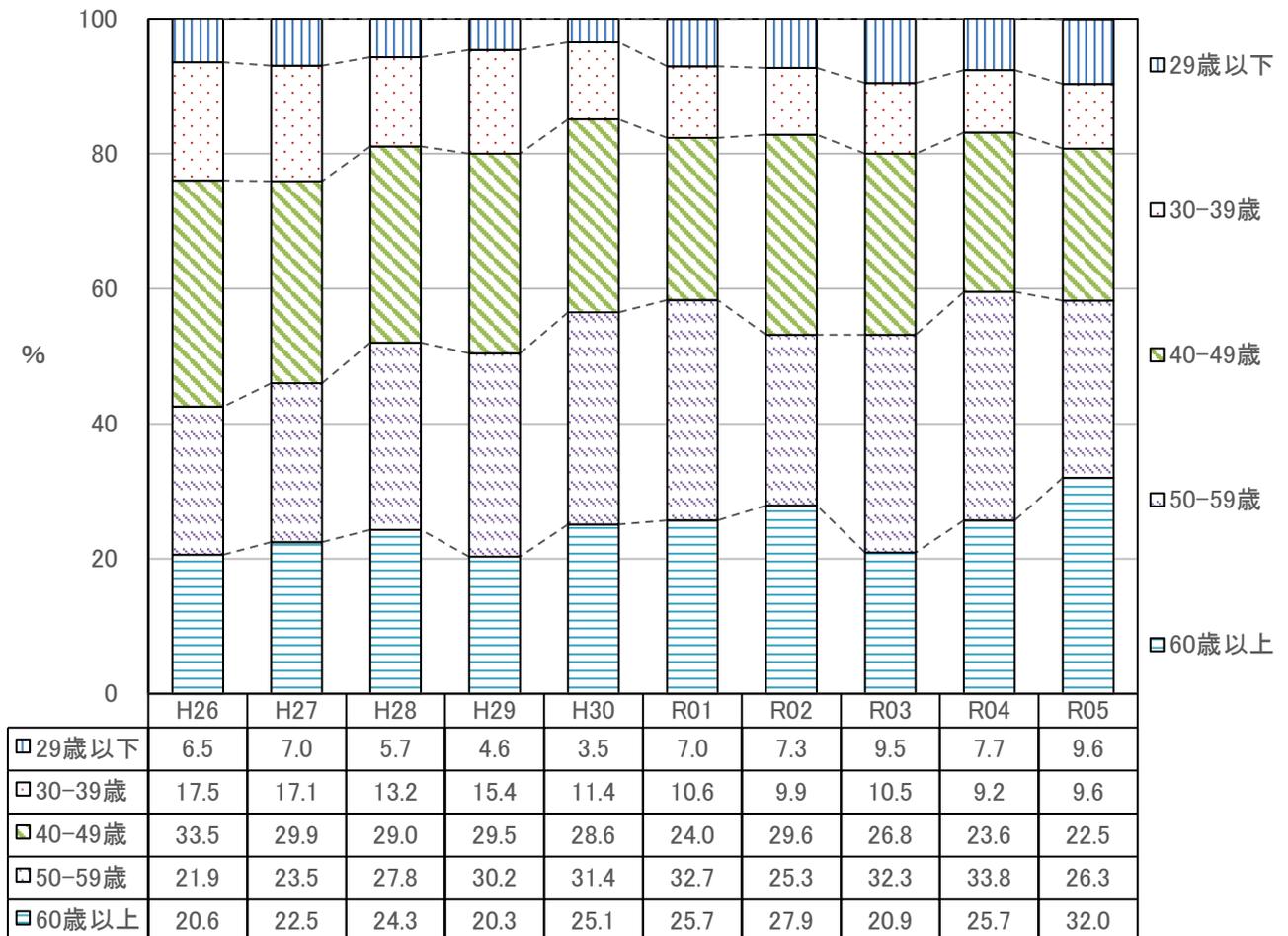
(1-1) 運転者年齢別死亡事故件数の推移（バス・ハイタク・トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H26		25	68	130	85	80	388
H27		26	64	112	88	84	374
H28		18	42	92	88	77	317
H29		15	50	96	98	66	325
H30		11	36	90	99	79	315
R01		21	32	72	98	77	300
R02		17	23	69	59	65	233
R03		21	23	59	71	46	220
R04		15	18	46	66	50	195
R05		23	23	54	63	77	240

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

(1-2) 運転者年齢別死亡事故件数の構成率の推移（バス・ハイタク・トラック）



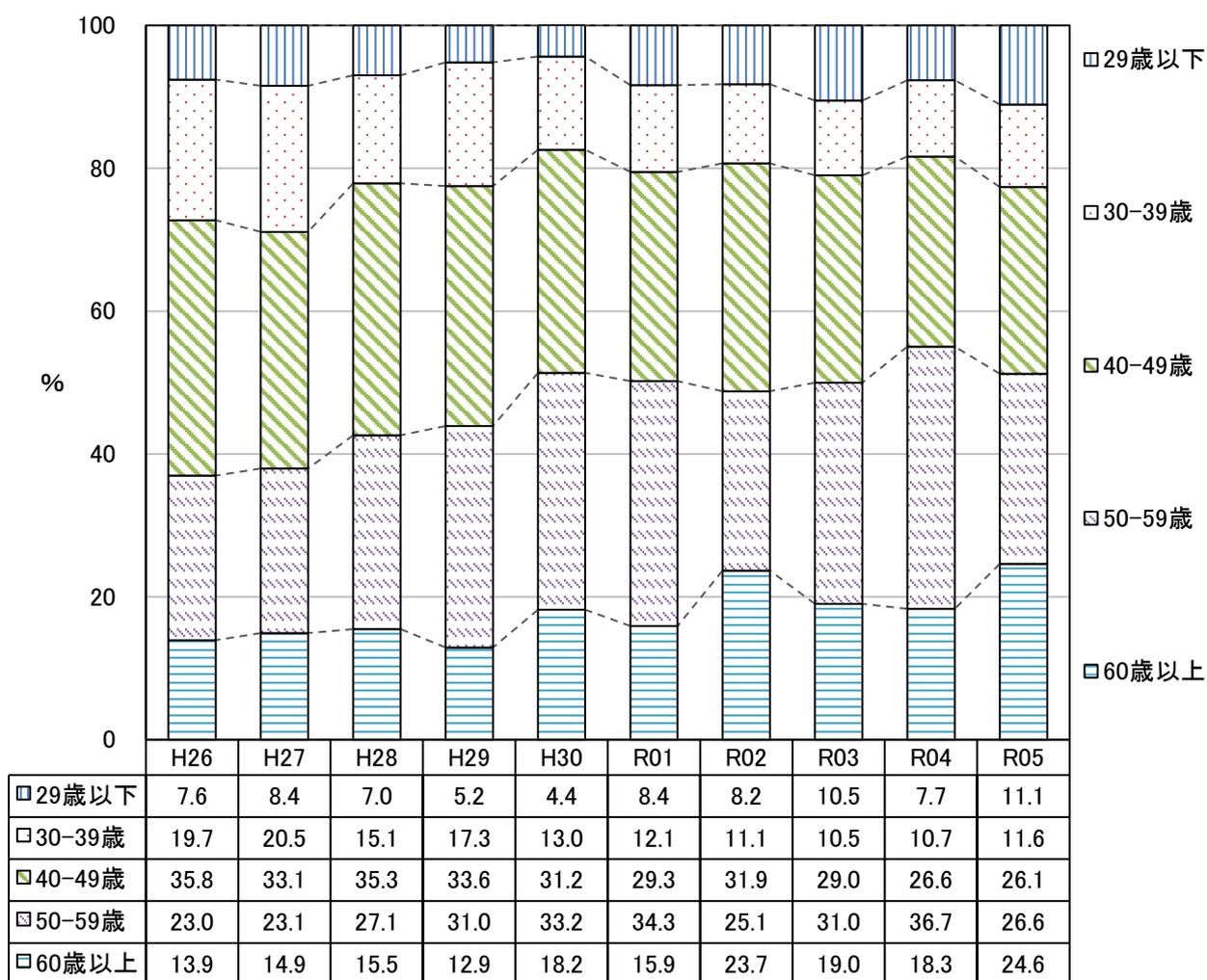
(2-1) 運転者年齢別死亡事故件数の推移（トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H26		25	65	118	76	46	330
H27		26	63	102	71	46	308
H28		18	39	91	70	40	258
H29		14	47	91	84	35	271
H30		11	33	79	84	46	253
R01		20	29	70	82	38	239
R02		17	23	66	52	49	207
R03		21	21	58	62	38	200
R04		13	18	45	62	31	169
R05		22	23	52	53	49	199

※ 軽自動車を除く。

(2-2) 運転者年齢別死亡事故件数の構成率の推移（トラック）



付録14. 事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況（平成26-令和5年）

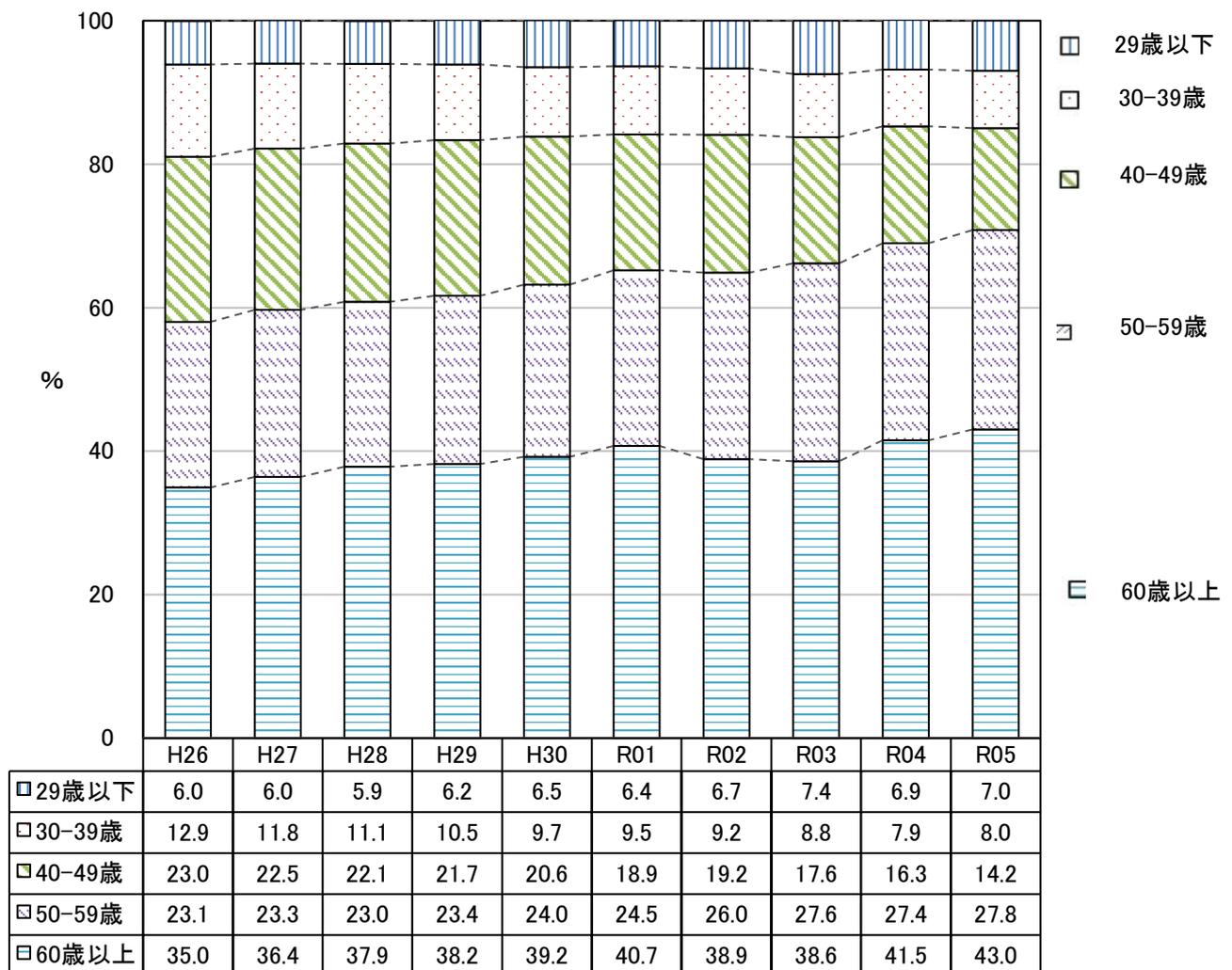
(1-1) 運転者年齢別死傷事故件数の推移（バス・ハイタク・トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H26		2,154	4,614	8,262	8,267	12,518	35,815
H27		1,976	3,878	7,359	7,621	11,937	32,771
H28		1,759	3,307	6,534	6,804	11,212	29,616
H29		1,764	3,035	6,258	6,758	11,023	28,838
H30		1,747	2,584	5,520	6,433	10,505	26,789
R01		1,535	2,253	4,514	5,853	9,718	23,873
R02		1,183	1,643	3,421	4,625	6,913	17,785
R03		1,291	1,534	3,058	4,794	6,711	17,388
R04		1,264	1,427	2,958	4,997	7,565	18,211
R05		1,295	1,486	2,633	5,154	7,982	18,550

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

(1-2) 運転者年齢別死傷事故件数の構成率の推移（バス・ハイタク・トラック）



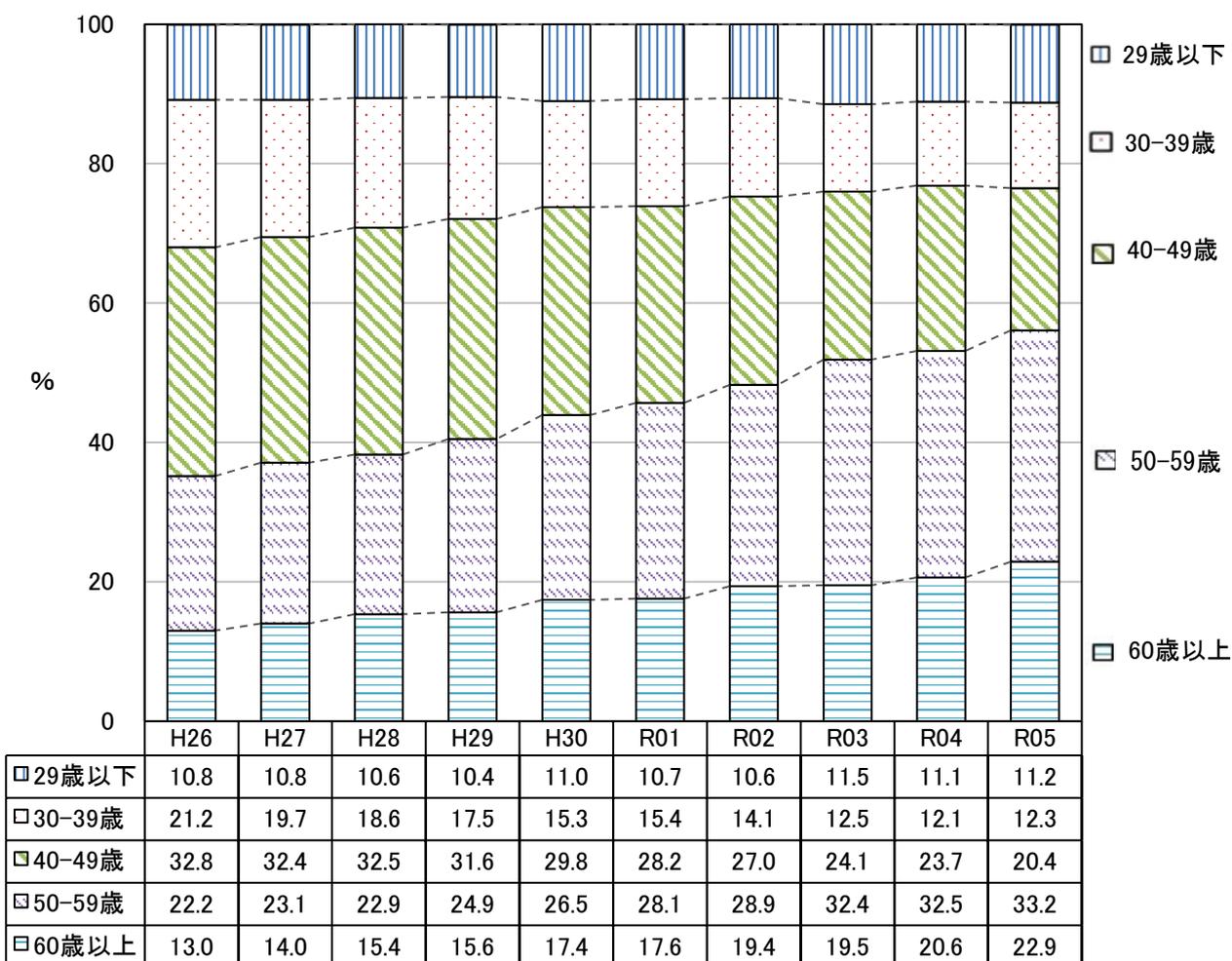
(2-1) 運転者年齢別死傷事故件数の推移（トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H26		1,921	3,766	5,848	3,950	2,316	17,801
H27		1,739	3,181	5,244	3,728	2,264	16,156
H28		1,543	2,717	4,750	3,345	2,245	14,600
H29		1,473	2,487	4,501	3,535	2,221	14,217
H30		1,477	2,048	4,003	3,561	2,339	13,428
R01		1,247	1,790	3,281	3,266	2,045	11,629
R02		1,002	1,334	2,553	2,730	1,830	9,449
R03		1,080	1,179	2,272	3,046	1,838	9,415
R04		1,038	1,130	2,225	3,045	1,933	9,371
R05		1,026	1,127	1,873	3,053	2,102	9,181

※ 軽自動車を除く

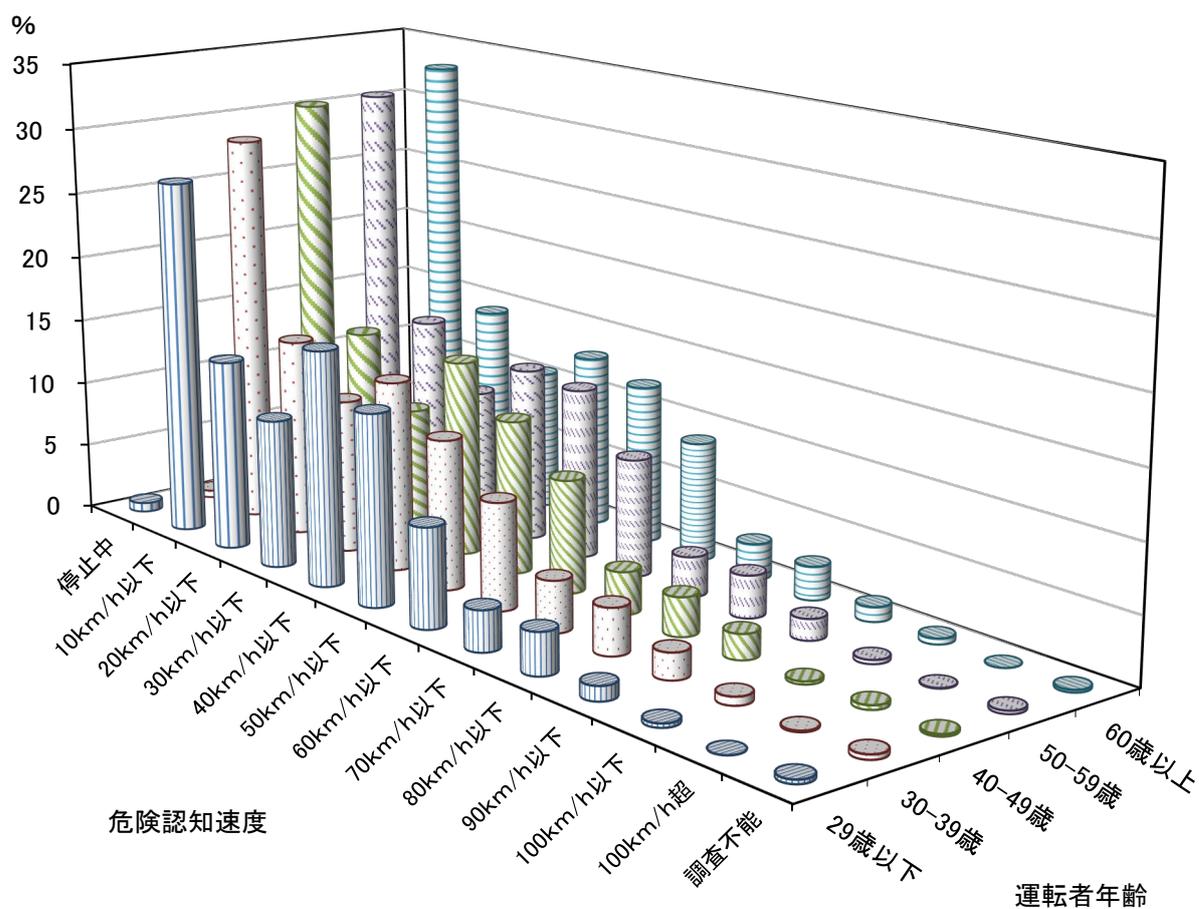
(2-2) 運転者年齢別死傷事故件数の構成率の推移（トラック）



付録15. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率（令和5年）

(%)

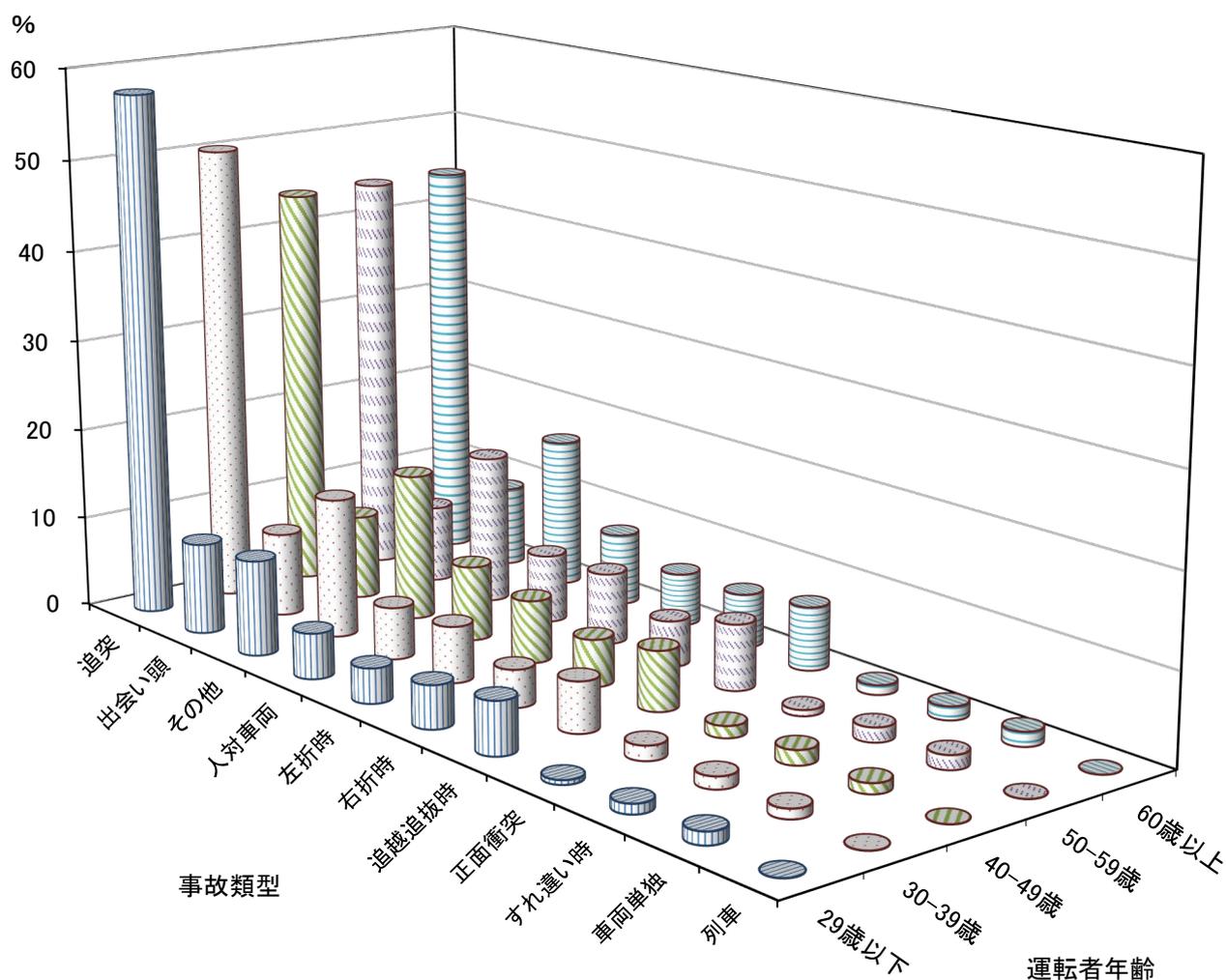
運転者年齢 危険認知速度	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
停止中	0.7	0.5	1.0	0.9	0.9	0.9
10km/h以下	26.9	29.4	31.4	31.6	33.2	31.1
20km/h以下	14.3	14.9	14.6	14.5	14.4	14.5
30km/h以下	11.1	11.5	9.8	10.1	10.6	10.4
40km/h以下	17.5	14.2	14.7	13.1	13.0	14.0
50km/h以下	14.2	11.2	11.5	12.8	12.0	12.3
60km/h以下	7.4	8.0	8.4	8.8	8.9	8.5
70km/h以下	3.0	3.8	3.2	3.0	2.7	3.1
80km/h以下	3.1	3.5	2.9	3.1	2.5	3.0
90km/h以下	1.1	2.0	1.9	1.6	1.1	1.5
100km/h以下	0.3	0.6	0.2	0.3	0.4	0.3
100km/h超	0.0	0.1	0.3	0.0	0.0	0.1
調査不能	0.3	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録16. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和5年）

(%)

事故類型 \ 運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
追突	57.5	50.2	44.0	44.1	44.1	46.3
出会い頭	9.9	9.1	9.2	8.5	8.8	9.0
その他	10.4	15.3	16.1	16.3	16.4	15.5
人対車両	5.0	5.7	8.2	7.4	7.9	7.2
左折時	3.8	6.1	6.8	7.8	5.8	6.5
右折時	4.7	4.1	5.1	5.0	5.9	5.1
追越追抜時	5.8	5.5	6.5	7.2	6.9	6.6
正面衝突	0.5	1.6	1.3	0.7	1.0	1.0
すれ違い時	1.1	1.3	1.6	1.6	1.5	1.5
車両単独	1.4	1.1	1.1	1.5	1.6	1.4
列車	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録17. 事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数（令和5年）

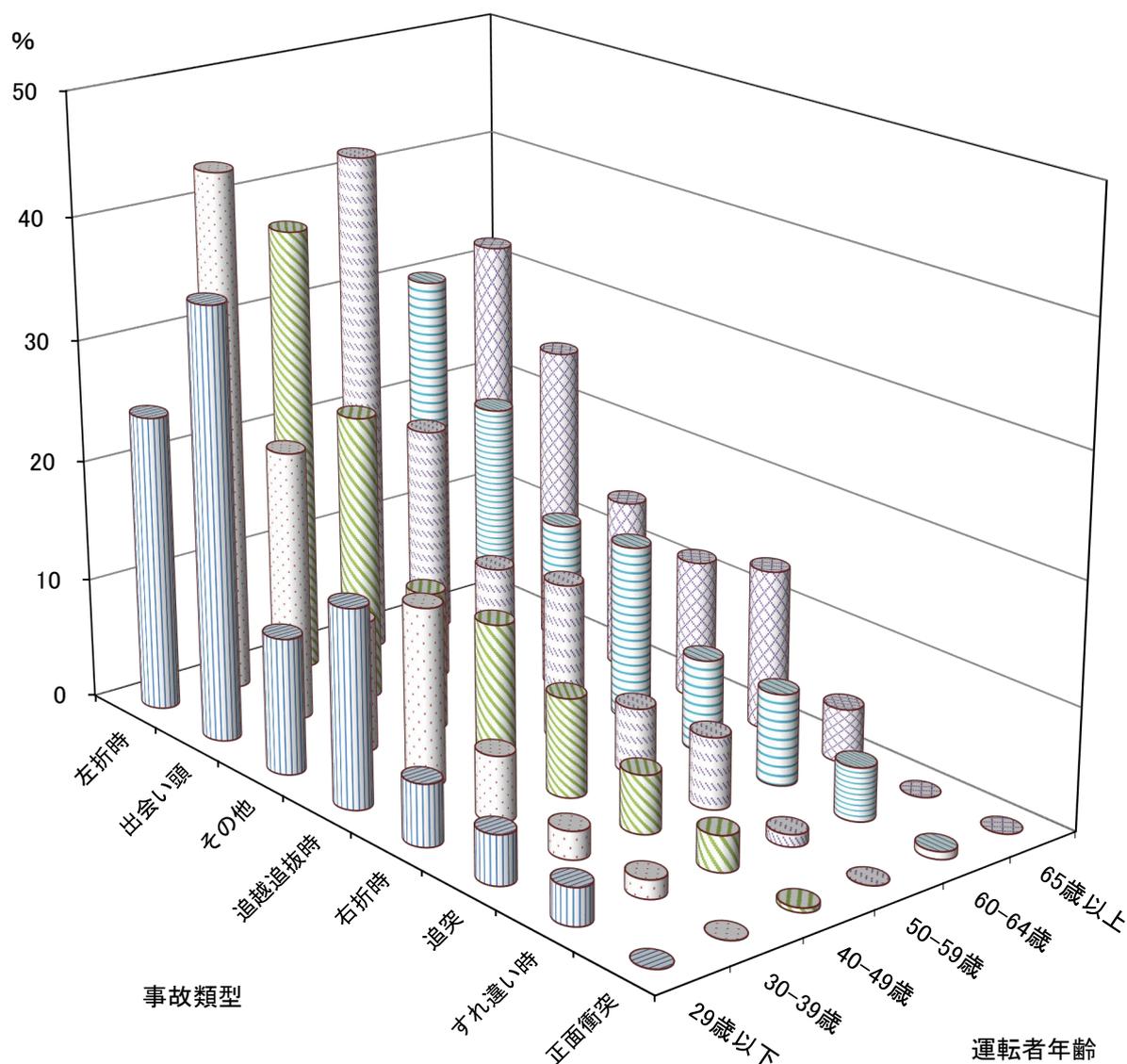
(件)

事故内容		死亡			重傷			軽傷			合計			
		高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	
事故類型詳細区分	道路区分													
自 転 車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	2
	追突	進行中	0	8	8	0	16	16	0	32	32	0	56	56
		駐・停車中	0	0	0	0	1	1	0	5	5	0	6	6
	出会い頭衝突	0	9	9	0	41	41	0	229	229	0	279	279	
	追越・追抜時衝突	0	1	1	0	35	35	0	121	121	0	157	157	
	進路変更時衝突	0	0	0	0	2	2	0	9	9	0	11	11	
	すれ違い時衝突	0	1	1	0	8	8	0	15	15	0	24	24	
	左折時衝突	0	13	13	0	70	70	0	358	358	0	441	441	
	右折時衝突	0	1	1	0	19	19	0	64	64	0	84	84	
	横断時衝突	0	0	0	0	1	1	0	6	6	0	7	7	
	転回時衝突	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	2	
	後退時衝突	0	0	0	0	2	2	0	19	19	0	21	21	
	その他	0	0	0	0	19	19	0	84	84	0	103	103	
小計	0	34	34	0	215	215	0	944	944	0	1,193	1,193		
二 輪 車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	1	1	0	3	3	0	4	4
	追突	進行中	1	3	4	0	5	5	1	20	21	2	28	30
		駐・停車中	1	2	3	1	17	18	0	140	140	2	159	161
	出会い頭衝突	0	3	3	0	30	30	0	59	59	0	92	92	
	追越・追抜時衝突	0	2	2	2	20	22	1	74	75	3	96	99	
	進路変更時衝突	0	5	5	3	9	12	7	36	43	10	50	60	
	すれ違い時衝突	0	0	0	0	1	1	0	7	7	0	8	8	
	左折時衝突	0	1	1	0	12	12	0	54	54	0	67	67	
	右折時衝突	0	9	9	0	41	41	0	102	102	0	152	152	
	横断時衝突	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	
	転回時衝突	0	0	0	0	4	4	0	22	22	0	26	26	
	後退時衝突	0	0	0	0	7	7	0	60	60	0	67	67	
	その他	0	1	1	0	8	8	2	34	36	2	43	45	
小計	2	26	28	6	155	161	11	612	623	19	793	812		
車 両 相 互	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	2
		その他	2	2	4	1	31	32	1	44	45	4	77	81
	追突	進行中	5	1	6	18	6	24	198	235	433	221	242	463
		駐・停車中	7	2	9	45	85	130	406	2,994	3,400	458	3,081	3,539
	出会い頭衝突	0	2	2	0	48	48	2	399	401	2	449	451	
	追越・追抜時衝突	0	0	0	3	8	11	69	272	341	72	280	352	
	進路変更時衝突	2	0	2	3	7	10	175	307	482	180	314	494	
	すれ違い時衝突	0	0	0	0	6	6	1	96	97	1	102	103	
	左折時衝突	0	0	0	0	0	0	1	85	86	1	85	86	
	右折時衝突	0	3	3	0	18	18	0	210	210	0	231	231	
	横断時衝突	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	
	転回時衝突	0	0	0	0	2	2	0	13	13	0	15	15	
	後退時衝突	0	0	0	0	1	1	24	287	311	24	288	312	
	その他	4	0	4	2	9	11	61	182	243	67	191	258	
小計	20	10	30	72	222	294	938	5,126	6,064	1,030	5,358	6,388		
四 輪 車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	追突	進行中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		駐・停車中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	出会い頭衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	追越・追抜時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	進路変更時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	すれ違い時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	左折時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	右折時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	横断時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	転回時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	後退時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計	22	70	92	78	592	670	949	6,682	7,631	1,049	7,344	8,393		

付録18. 事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率
(令和5年)

(%)

事故類型 \ 運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65歳以上	合計
左折時	24.5	43.1	37.0	41.9	30.2	31.9	37.0
出会い頭	35.7	22.3	23.7	21.0	21.4	24.8	23.4
その他	11.2	10.8	11.5	11.8	13.8	14.2	12.1
追越追抜時	16.3	14.6	11.5	13.0	14.5	11.5	13.2
右折時	5.1	5.4	8.1	5.4	7.6	13.3	7.0
追突	4.1	2.3	4.8	5.9	7.5	4.4	5.2
すれ違い時	3.1	1.5	3.0	1.0	4.4	0.0	2.0
正面衝突	0.0	0.0	0.4	0.0	0.6	0.0	0.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

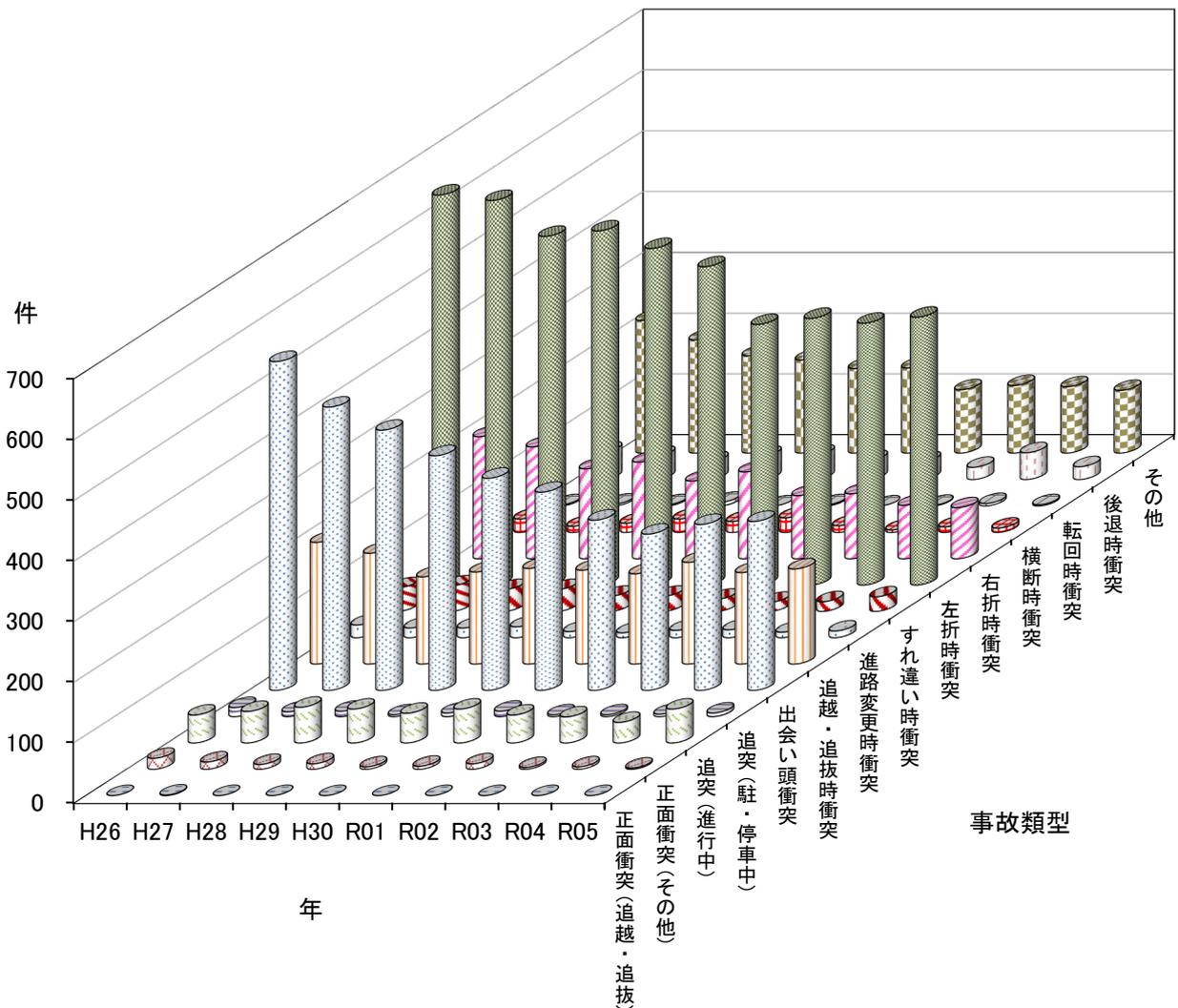


付録19. 事業用貨物自動車の対自転車事故の状況

(1) 対自転車の事故類型別死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

(件)

事故類型		H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	
対自転車	正面衝突	追越・追抜	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	18	12	8	9	4	5	9	3	4	2
	追突	進行中	46	52	59	56	49	56	46	43	34	56
		駐・停車中	15	8	9	3	6	9	3	3	4	6
	出会い頭衝突	542	467	429	387	350	327	281	258	274	279	
	追越・追抜時衝突	201	183	144	152	158	155	149	168	151	157	
	進路変更時衝突	21	16	16	18	10	8	12	13	9	11	
	すれ違い時衝突	39	42	36	36	25	25	20	15	16	24	
	左折時衝突	642	633	574	583	554	524	429	439	431	441	
	右折時衝突	201	184	148	159	128	143	104	107	88	84	
	横断時衝突	22	10	15	22	18	24	11	4	9	7	
	転回時衝突	2	3	2	6	0	2	0	1	4	2	
	後退時衝突	45	38	29	38	40	31	29	20	44	21	
	その他	218	186	160	153	139	140	104	111	109	103	
	合計	2,012	1,835	1,629	1,622	1,481	1,449	1,197	1,185	1,177	1,193	



(2-1) 対自転車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（令和5年）

(件)

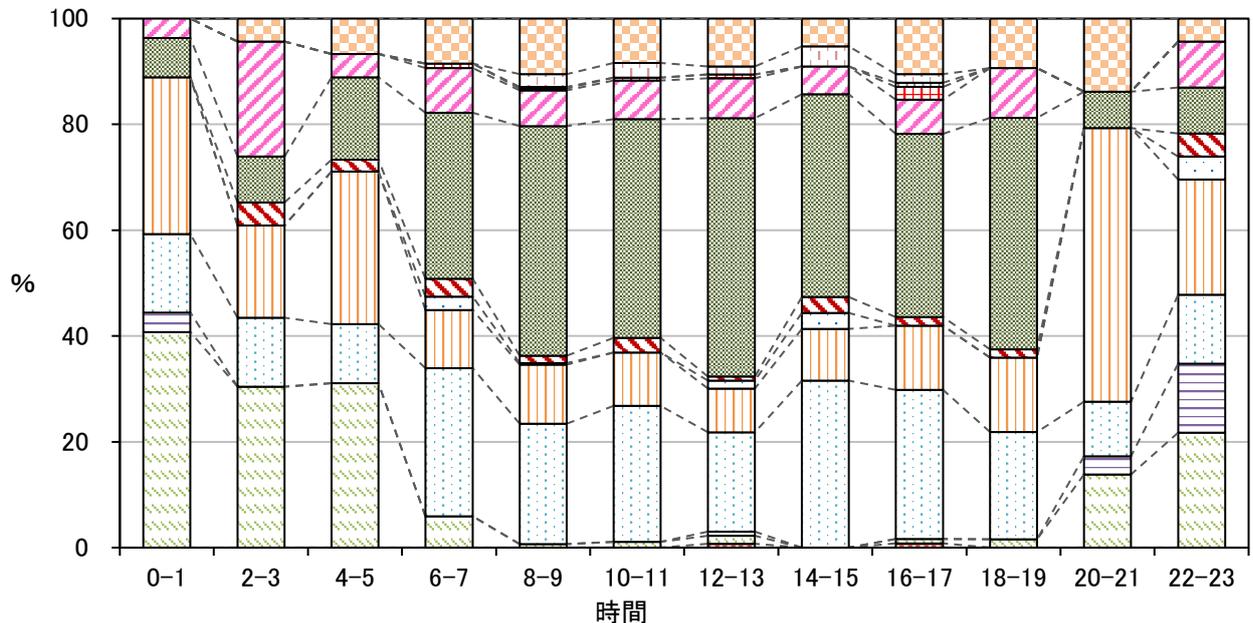
事故類型		時間（2時間毎）												合計		
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23			
対自転車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
	追突	進行中	11	7	14	7	2	2	2	0	1	1	4	5	56	
		駐・停車中	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	6	
	出会い頭衝突	4	3	5	33	67	46	25	42	35	13	3	3	279		
	追越・追抜時衝突	8	4	13	13	33	18	11	13	15	9	15	5	157		
	進路変更時衝突	0	0	0	3	1	0	2	4	0	0	0	1	11		
	すれ違い時衝突	0	1	1	4	4	5	1	4	2	1	0	1	24		
	左折時衝突	2	2	7	37	128	74	65	51	43	28	2	2	441		
	右折時衝突	1	5	2	10	20	13	10	7	8	6	0	2	84		
	横断時衝突	0	0	0	1	1	1	1	0	3	0	0	0	7		
	転回時衝突	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2		
	後退時衝突	0	0	0	0	7	5	2	5	2	0	0	0	21		
	その他	0	1	3	10	31	15	12	7	13	6	4	1	103		
	合計		27	23	45	118	295	179	133	133	124	64	29	23	1,193	

(2-2) 対自転車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和5年）

(%)

事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
対自転車	正面衝突	追越・追抜	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.2
	追突	進行中	40.7	30.4	31.1	5.9	0.7	1.1	1.5	0.0	0.8	1.6	13.8	21.7	4.7
		駐・停車中	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	3.4	13.0	0.5
	出会い頭衝突	14.8	13.0	11.1	28.0	22.7	25.7	18.8	31.6	28.2	20.3	10.3	13.0	23.4	
	追越・追抜時衝突	29.6	17.4	28.9	11.0	11.2	10.1	8.3	9.8	12.1	14.1	51.7	21.7	13.2	
	進路変更時衝突	0.0	0.0	0.0	2.5	0.3	0.0	1.5	3.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.9	
	すれ違い時衝突	0.0	4.3	2.2	3.4	1.4	2.8	0.8	3.0	1.6	1.6	0.0	4.3	2.0	
	左折時衝突	7.4	8.7	15.6	31.4	43.4	41.3	48.9	38.3	34.7	43.8	6.9	8.7	37.0	
	右折時衝突	3.7	21.7	4.4	8.5	6.8	7.3	7.5	5.3	6.5	9.4	0.0	8.7	7.0	
	横断時衝突	0.0	0.0	0.0	0.8	0.3	0.6	0.8	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.6	
	転回時衝突	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.2	
	後退時衝突	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	2.8	1.5	3.8	1.6	0.0	0.0	0.0	1.8	
	その他	0.0	4.3	6.7	8.5	10.5	8.4	9.0	5.3	10.5	9.4	13.8	4.3	8.6	
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 正面衝突（追抜・追越）
- 正面衝突（その他）
- 追突（進行中）
- 追突（駐・停車中）
- 出会い頭衝突
- 追越・追抜時衝突
- 進路変更時衝突
- すれ違い時衝突
- 左折時衝突
- 右折時衝突
- 横断時衝突
- 転回時衝突
- 後退時衝突
- その他



(3-1) 対自転車の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数（令和5年）

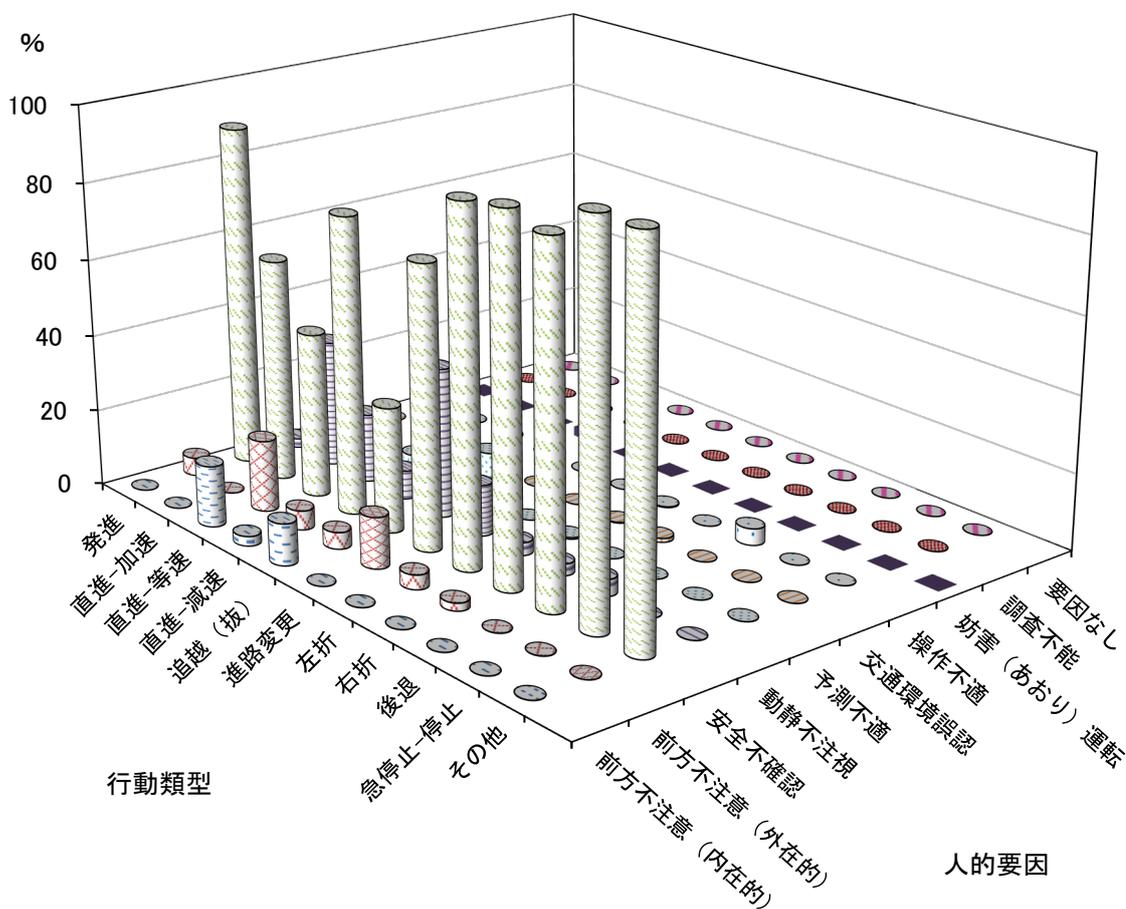
(件)

行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	0	0	53	1	5	0	0	0	0	0	0	59
前方不注意(外在的)	4	0	62	2	2	2	18	2	0	0	0	92
安全不確認	76	7	143	31	15	11	439	93	21	34	30	900
動静不注視	2	4	60	3	18	2	16	3	1	0	0	109
予測不適	2	1	10	1	6	0	2	0	0	0	0	22
交通環境誤認	0	0	3	1	0	0	1	1	0	0	0	6
操作不適	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	4
妨害(あり)運転	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
調査不能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	85	12	332	40	46	15	477	99	23	34	30	1,193

(3-2) 対自転車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率（令和5年）

(%)

行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	0.0	0.0	16.0	2.5	10.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9
前方不注意(外在的)	4.7	0.0	18.7	5.0	4.3	13.3	3.8	2.0	0.0	0.0	0.0	7.7
安全不確認	89.4	58.3	43.1	77.5	32.6	73.3	92.0	93.9	91.3	100.0	100.0	75.4
動静不注視	2.4	33.3	18.1	7.5	39.1	13.3	3.4	3.0	4.3	0.0	0.0	9.1
予測不適	2.4	8.3	3.0	2.5	13.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
交通環境誤認	0.0	0.0	0.9	2.5	0.0	0.0	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.5
操作不適	1.2	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	4.3	0.0	0.0	0.3
妨害(あり)運転	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
調査不能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

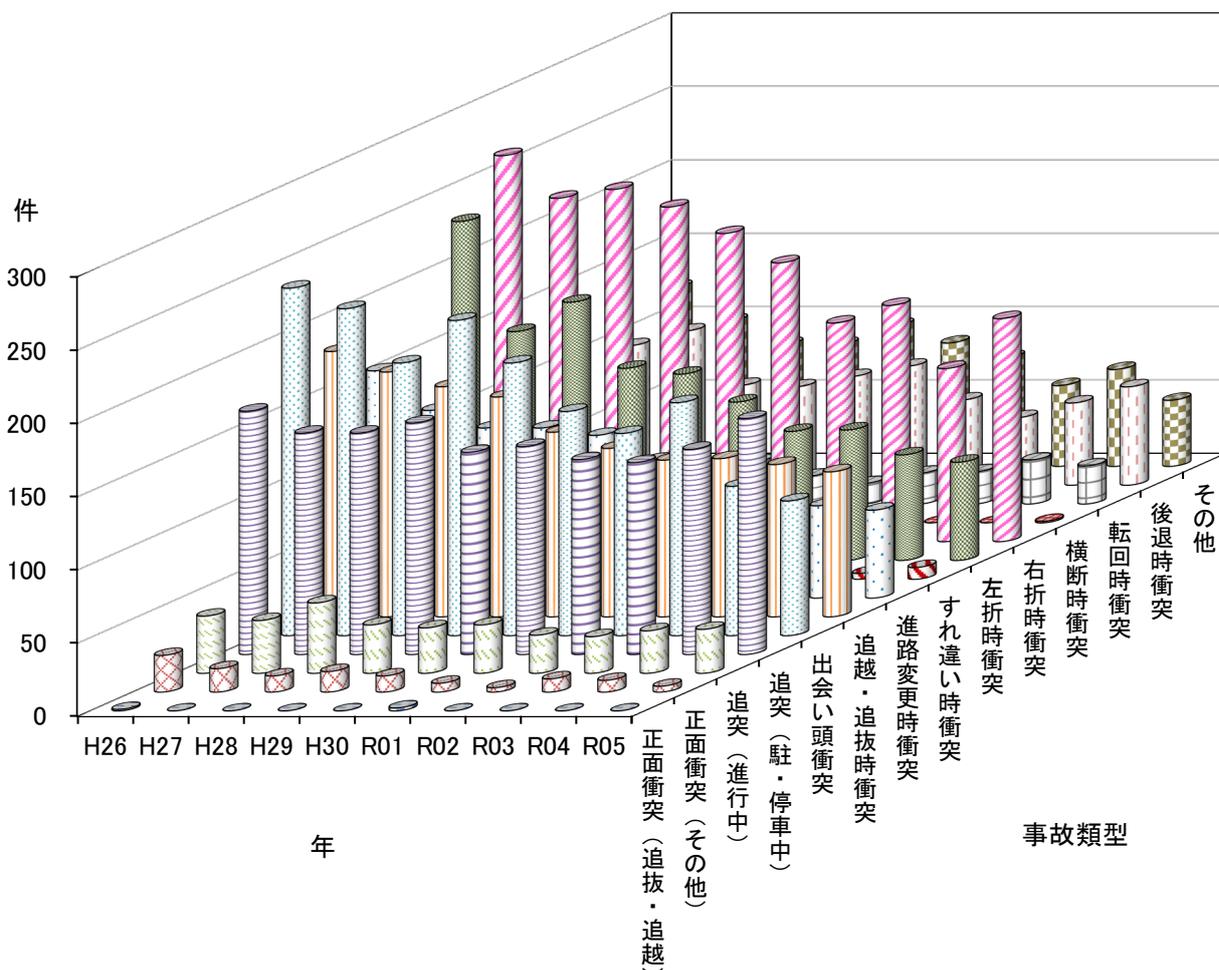


付録20. 事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況

(1) 対二輪車の事故類型別死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

(件)

事故類型		H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	
対二輪車	正面衝突	追越・追抜	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0
		その他	25	16	11	14	11	6	3	9	8	4
	追突	進行中	39	36	48	33	31	33	26	25	29	30
		駐・停車中	166	151	151	158	138	142	133	131	140	161
	出会い頭衝突	237	223	186	215	186	153	138	159	102	92	
	追越・追抜時衝突	181	167	157	150	126	115	107	108	104	99	
	進路変更時衝突	155	128	116	116	111	94	89	68	63	60	
	すれ違い時衝突	18	14	13	15	10	10	7	13	4	8	
	左折時衝突	231	156	176	131	127	108	88	89	72	67	
	右折時衝突	263	234	240	228	210	190	149	161	118	152	
	横断時衝突	1	0	0	2	1	2	0	0	0	1	
	転回時衝突	32	23	24	29	19	14	21	22	30	26	
	後退時衝突	95	105	68	67	74	81	58	46	56	67	
	その他	122	99	83	83	96	84	74	55	66	45	
	合計		1,566	1,352	1,273	1,241	1,140	1,034	893	886	792	812



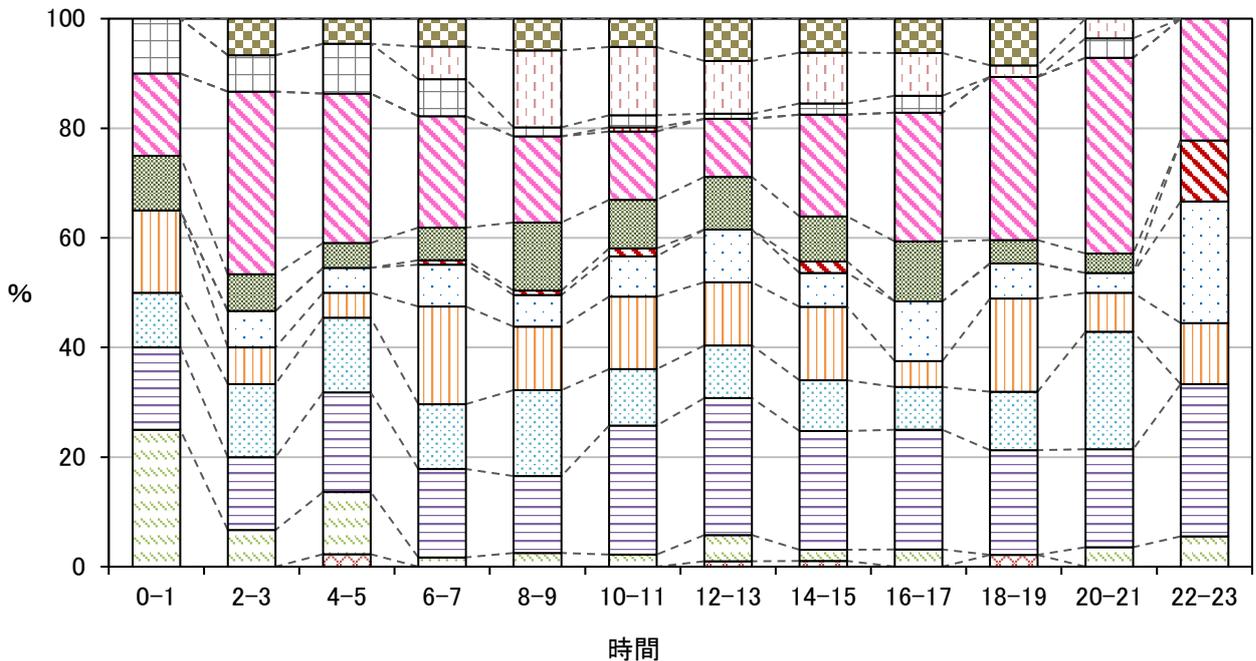
(2-1) 対二輪車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（令和5年）

事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
対二輪車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	4
	追突	進行中	5	1	5	2	3	3	5	2	2	0	1	1	30
		駐・停車中	3	2	8	19	17	32	26	21	14	9	5	5	161
	出会い頭衝突	2	2	6	14	19	14	10	9	5	5	6	0	92	
	追越・追抜時衝突	3	1	2	21	14	18	12	13	3	8	2	2	99	
	進路変更時衝突	0	1	2	9	7	10	10	6	7	3	1	4	60	
	すれ違い時衝突	0	0	0	1	1	2	0	2	0	0	0	2	8	
	左折時衝突	2	1	2	7	15	12	10	8	7	2	1	0	67	
	右折時衝突	3	5	12	24	19	17	11	18	15	14	10	4	152	
	横断時衝突	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	転回時衝突	2	1	4	8	2	3	1	2	2	0	1	0	26	
	後退時衝突	0	0	0	7	17	17	10	9	5	1	1	0	67	
	その他	0	1	2	6	7	7	8	6	4	4	0	0	45	
	合計		20	15	44	118	121	136	104	97	64	47	28	18	812

(2-2) 対二輪車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和5年）

事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
対二輪車	正面衝突	追越・追抜	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.5
	追突	進行中	25.0	6.7	11.4	1.7	2.5	2.2	4.8	2.1	3.1	0.0	3.6	5.6	3.7
		駐・停車中	15.0	13.3	18.2	16.1	14.0	23.5	25.0	21.6	21.9	19.1	17.9	27.8	19.8
	出会い頭衝突	10.0	13.3	13.6	11.9	15.7	10.3	9.6	9.3	7.8	10.6	21.4	0.0	11.3	
	追越・追抜時衝突	15.0	6.7	4.5	17.8	11.6	13.2	11.5	13.4	4.7	17.0	7.1	11.1	12.2	
	進路変更時衝突	0.0	6.7	4.5	7.6	5.8	7.4	9.6	6.2	10.9	6.4	3.6	22.2	7.4	
	すれ違い時衝突	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	1.5	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	11.1	1.0	
	左折時衝突	10.0	6.7	4.5	5.9	12.4	8.8	9.6	8.2	10.9	4.3	3.6	0.0	8.3	
	右折時衝突	15.0	33.3	27.3	20.3	15.7	12.5	10.6	18.6	23.4	29.8	35.7	22.2	18.7	
	横断時衝突	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	
	転回時衝突	10.0	6.7	9.1	6.8	1.7	2.2	1.0	2.1	3.1	0.0	3.6	0.0	3.2	
	後退時衝突	0.0	0.0	0.0	5.9	14.0	12.5	9.6	9.3	7.8	2.1	3.6	0.0	8.3	
	その他	0.0	6.7	4.5	5.1	5.8	5.1	7.7	6.2	6.3	8.5	0.0	0.0	5.5	
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 正面衝突（追抜・追越）
- 正面衝突（その他）
- 追突（進行中）
- 追突（駐・停車中）
- 出会い頭衝突
- 追越・追抜時衝突
- 進路変更時衝突
- すれ違い時衝突
- 左折時衝突
- 右折時衝突
- 横断時衝突
- 転回時衝突
- 後退時衝突
- その他



(3-1) 対二輪車の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数(令和5年)

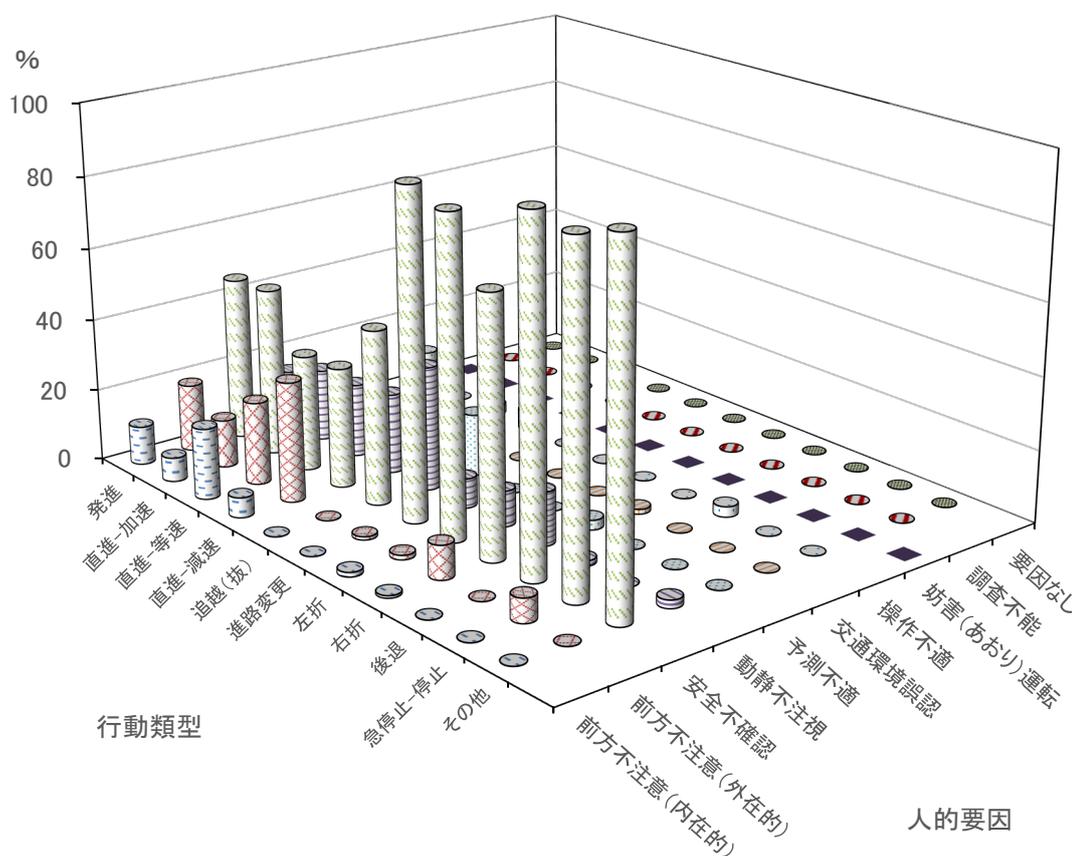
(件)

行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	12	1	30	2	0	0	1	1	0	0	0	47
前方不注意(外在的)	21	2	35	12	0	1	1	14	0	1	0	87
安全不確認	51	7	49	12	14	100	71	106	66	14	43	533
動静不注視	17	3	31	8	10	9	8	22	1	0	1	110
予測不適	0	1	0	0	5	0	0	4	0	0	0	10
交通環境誤認	0	1	3	0	0	0	0	2	0	0	0	6
操作不適	11	0	4	2	0	0	0	0	2	0	0	19
妨害(あおり)運転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査不能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	112	15	152	36	29	110	81	149	69	15	44	812

(3-2) 対二輪車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率(令和5年)

(%)

行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	10.7	6.7	19.7	5.6	0.0	0.0	1.2	0.7	0.0	0.0	0.0	5.8
前方不注意(外在的)	18.8	13.3	23.0	33.3	0.0	0.9	1.2	9.4	0.0	6.7	0.0	10.7
安全不確認	45.5	46.7	32.2	33.3	48.3	90.9	87.7	71.1	95.7	93.3	97.7	65.6
動静不注視	15.2	20.0	20.4	22.2	34.5	8.2	9.9	14.8	1.4	0.0	2.3	13.5
予測不適	0.0	6.7	0.0	0.0	17.2	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	1.2
交通環境誤認	0.0	6.7	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.7
操作不適	9.8	0.0	2.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	2.3
妨害(あおり)運転	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
調査不能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

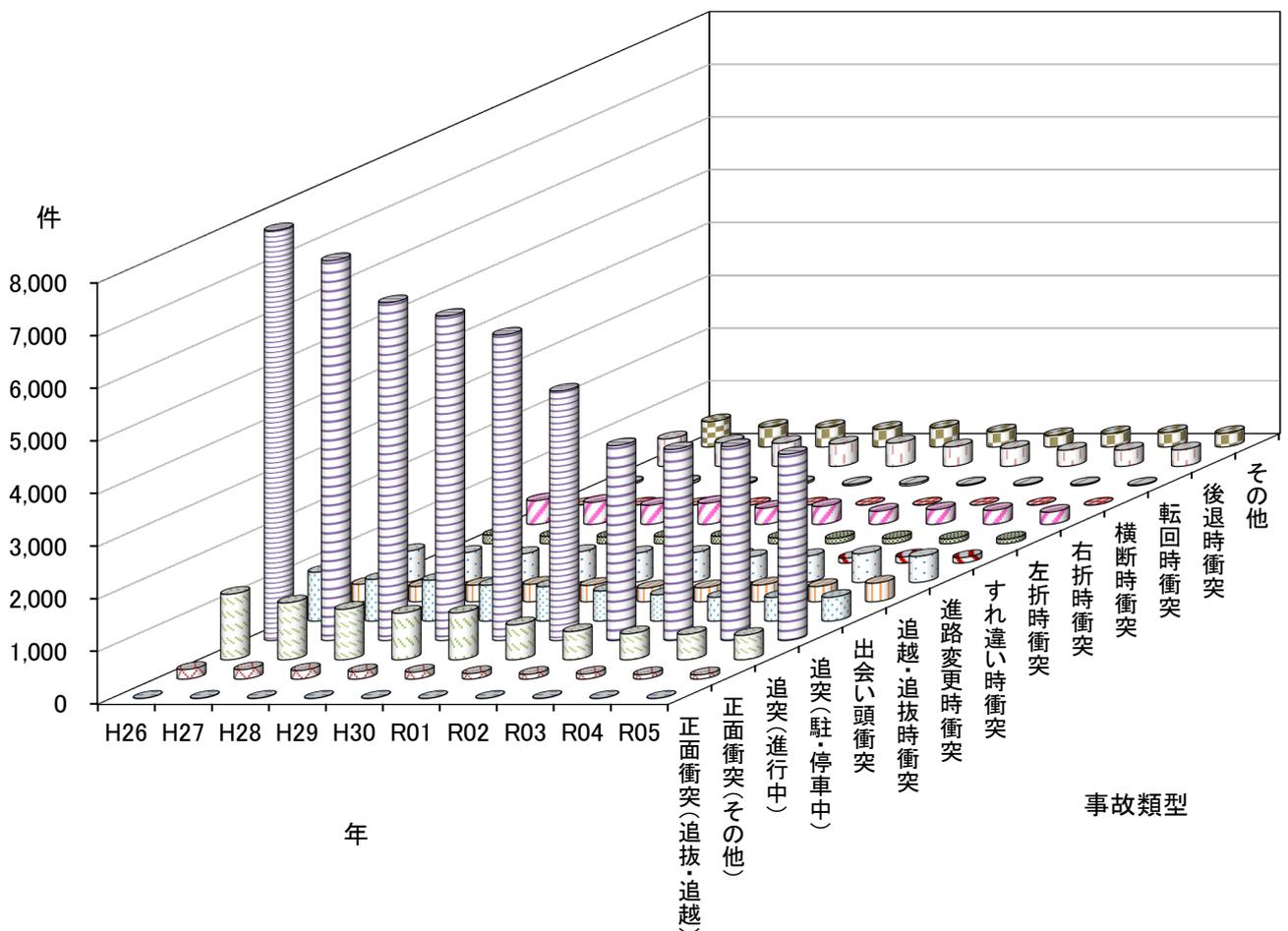


付録21. 事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況

(1) 対四輪車の事故類型別の死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

(件)

事故類型		H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	
対四輪車	正面衝突	追越・追抜	2	5	4	2	4	2	2	5	3	2
		その他	182	180	162	139	132	105	91	97	85	81
	追突	進行中	1,246	1,081	959	885	892	664	536	493	482	463
		駐・停車中	7,778	7,210	6,411	6,155	5,798	4,735	3,703	3,631	3,686	3,539
	出会い頭衝突	929	793	777	683	655	573	501	453	449	451	
	追越・追抜時衝突	332	290	316	332	311	259	265	317	290	352	
	進路変更時衝突	585	554	531	571	545	556	474	490	546	494	
	すれ違い時衝突	170	157	126	140	122	133	90	94	118	103	
	左折時衝突	165	141	129	137	143	114	102	99	92	86	
	右折時衝突	449	419	365	402	308	340	249	279	265	231	
	横断時衝突	4	3	2	1	2	2	3	0	3	1	
	転回時衝突	36	53	24	38	28	36	20	20	21	15	
	後退時衝突	520	448	437	425	442	370	339	307	308	312	
	その他	479	378	370	338	364	287	217	253	274	258	
	合計		12,877	11,712	10,613	10,248	9,746	8,176	6,592	6,538	6,622	6,388



(2-1) 対四輪車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（令和5年）

(件)

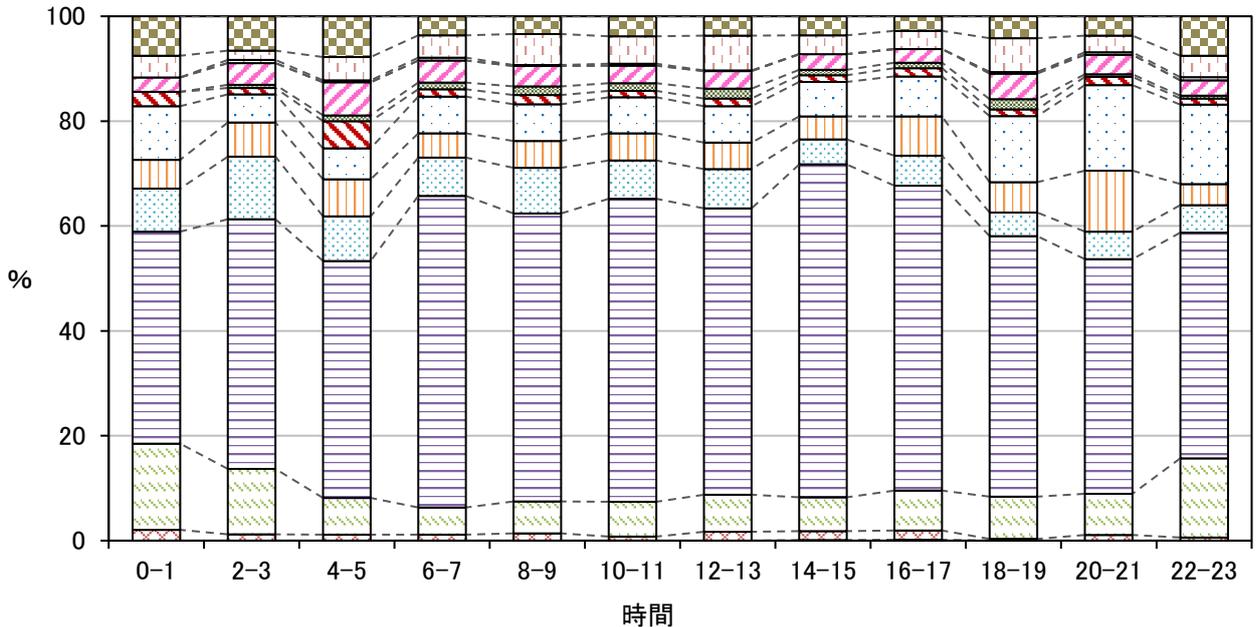
事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
対四輪車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
		その他	3	2	3	8	14	9	15	13	10	1	2	1	81
	追突	進行中	24	21	19	37	63	76	63	50	44	25	15	26	463
		駐・停車中	59	80	122	423	566	662	487	492	335	154	85	74	3,539
	出会い頭衝突	12	20	23	52	90	84	67	37	33	14	10	9	451	
	追越・追抜時衝突	8	11	19	33	53	59	45	34	43	18	22	7	352	
	進路変更時衝突	15	9	16	50	72	79	62	51	44	39	31	26	494	
	すれ違い時衝突	4	2	14	10	18	14	13	10	9	4	3	2	103	
	左折時衝突	0	1	3	9	17	17	17	8	6	6	1	1	86	
	右折時衝突	4	7	17	30	40	38	30	23	15	15	7	5	231	
	横断時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	転回時衝突	0	1	1	4	2	4	1	0	0	0	1	1	15	
	後退時衝突	6	3	12	30	61	60	59	28	20	20	6	7	312	
	その他	11	11	21	26	35	44	33	28	16	13	7	13	258	
	合計		146	168	270	712	1,031	1,146	892	775	576	310	190	172	6,388

(2-2) 対四輪車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和5年）

(%)

事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
対四輪車	正面衝突	追越・追抜	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
		その他	2.1	1.2	1.1	1.1	1.4	0.8	1.7	1.7	1.7	0.3	1.1	0.6	1.3
	追突	進行中	16.4	12.5	7.0	5.2	6.1	6.6	7.1	6.5	7.6	8.1	7.9	15.1	7.2
		駐・停車中	40.4	47.6	45.2	59.4	54.9	57.8	54.6	63.5	58.2	49.7	44.7	43.0	55.4
	出会い頭衝突	8.2	11.9	8.5	7.3	8.7	7.3	7.5	4.8	5.7	4.5	5.3	5.2	7.1	
	追越・追抜時衝突	5.5	6.5	7.0	4.6	5.1	5.1	5.0	4.4	7.5	5.8	11.6	4.1	5.5	
	進路変更時衝突	10.3	5.4	5.9	7.0	7.0	6.9	7.0	6.6	7.6	12.6	16.3	15.1	7.7	
	すれ違い時衝突	2.7	1.2	5.2	1.4	1.7	1.2	1.5	1.3	1.6	1.3	1.6	1.2	1.6	
	左折時衝突	0.0	0.6	1.1	1.3	1.6	1.5	1.9	1.0	1.0	1.9	0.5	0.6	1.3	
	右折時衝突	2.7	4.2	6.3	4.2	3.9	3.3	3.4	3.0	2.6	4.8	3.7	2.9	3.6	
	横断時衝突	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	
	転回時衝突	0.0	0.6	0.4	0.6	0.2	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.5	0.6	0.2	
	後退時衝突	4.1	1.8	4.4	4.2	5.9	5.2	6.6	3.6	3.5	6.5	3.2	4.1	4.9	
	その他	7.5	6.5	7.8	3.7	3.4	3.8	3.7	3.6	2.8	4.2	3.7	7.6	4.0	
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 正面衝突(追抜・追越)
- 正面衝突(その他)
- 追突(進行中)
- 追突(駐・停車中)
- 出会い頭衝突
- 追越・追抜時衝突
- 進路変更時衝突
- すれ違い時衝突
- 左折時衝突
- 右折時衝突
- 横断時衝突
- 転回時衝突
- 後退時衝突
- その他



(3-1) 対四輪車の行動類型別・人的要因別の事故件数（令和5年）

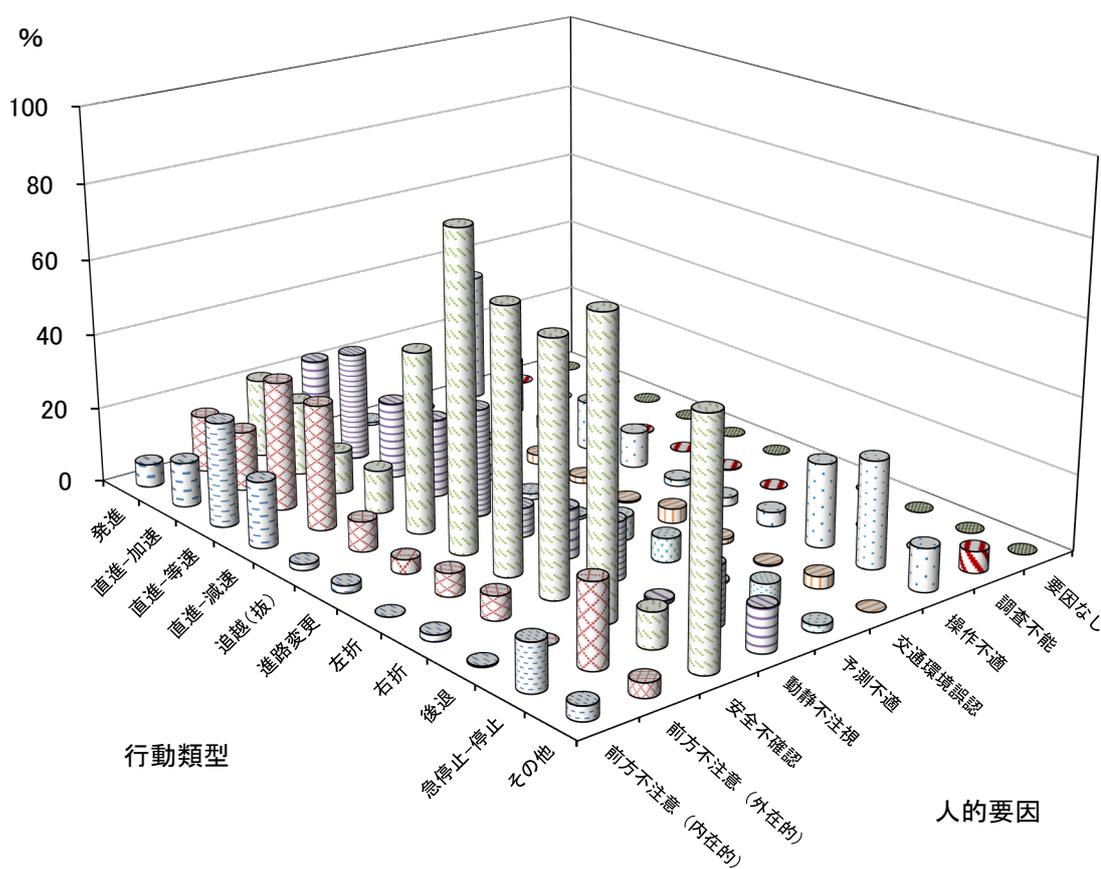
(件)

行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	55	9	865	118	1	15	0	4	1	4	2	1,074
前方不注意(外在的)	134	12	1,067	223	5	29	8	15	0	7	2	1,502
安全不確認	187	15	348	77	30	646	90	155	249	3	33	1,833
動静不注視	200	22	633	140	18	60	17	36	3	5	6	1,140
予測不適	7	5	53	11	1	6	8	15	1	2	1	110
交通環境誤認	1	2	51	17	1	3	5	3	1	1	0	85
操作不適	311	11	95	88	6	13	3	9	72	9	6	623
妨害(あおり)運転	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
調査不能	0	0	13	1	0	2	0	0	0	0	3	19
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	895	76	3,125	675	63	774	131	237	327	32	53	6,388

(3-2) 対四輪車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率（令和5年）

(%)

行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	6.1	11.8	27.7	17.5	1.6	1.9	0.0	1.7	0.3	12.5	3.8	16.8
前方不注意(外在的)	15.0	15.8	34.1	33.0	7.9	3.7	6.1	6.3	0.0	21.9	3.8	23.5
安全不確認	20.9	19.7	11.1	11.4	47.6	83.5	68.7	65.4	76.1	9.4	62.3	28.7
動静不注視	22.3	28.9	20.3	20.7	28.6	7.8	13.0	15.2	0.9	15.6	11.3	17.8
予測不適	0.8	6.6	1.7	1.6	1.6	0.8	6.1	6.3	0.3	6.3	1.9	1.7
交通環境誤認	0.1	2.6	1.6	2.5	1.6	0.4	3.8	1.3	0.3	3.1	0.0	1.3
操作不適	34.7	14.5	3.0	13.0	9.5	1.7	2.3	3.8	22.0	28.1	11.3	9.8
妨害(あおり)運転	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0
調査不能	0.0	0.0	0.4	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	0.3
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

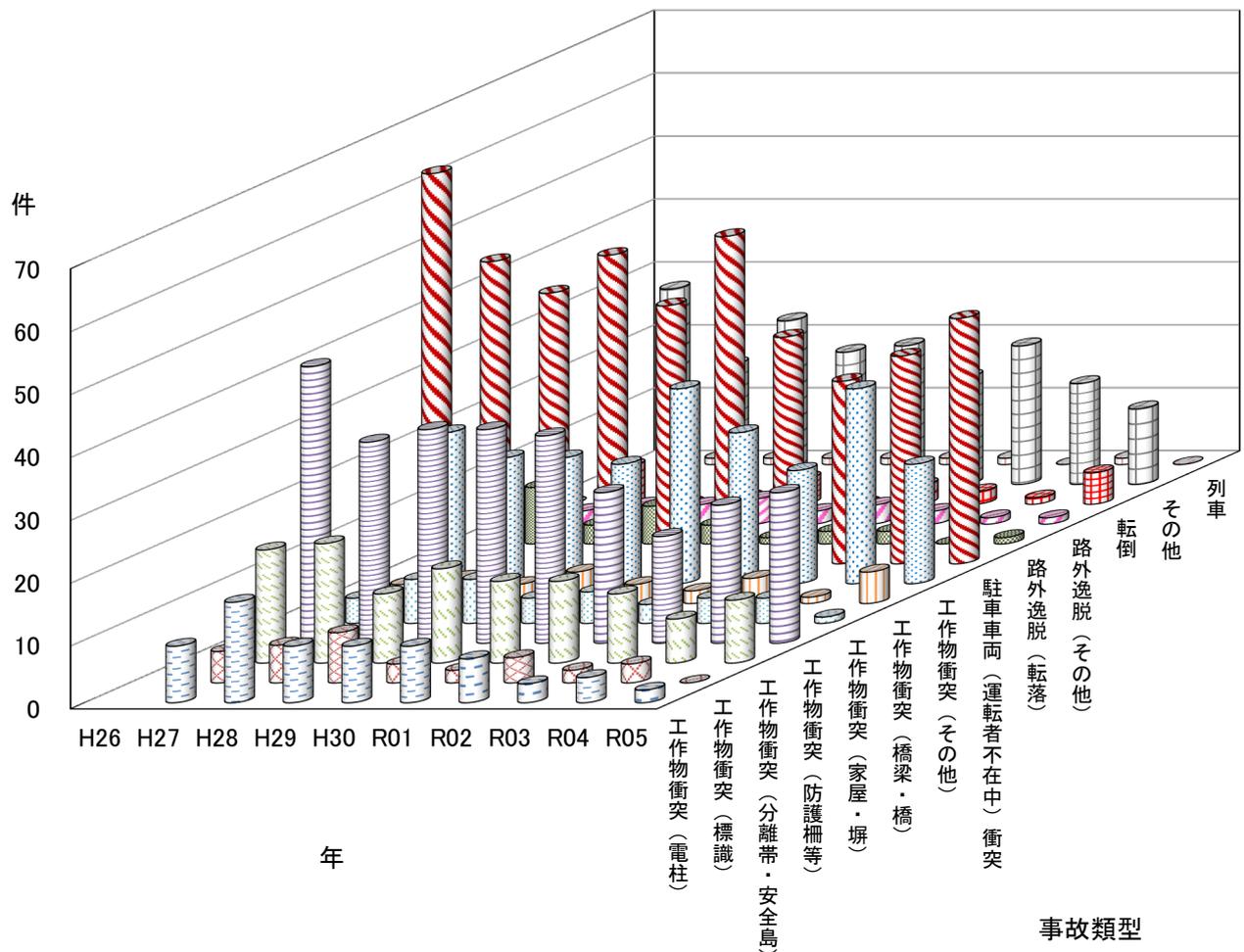


付録22. 事業用貨物自動車の車両単独事故の状況

(1) 車両単独事故の事故類型別死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

(件)

事故類型		H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	
車両単独	工作物衝突	電柱	9	16	9	9	9	7	3	4	2	4
		標識	5	6	8	3	2	4	2	3	0	1
		分離帯・安全島	18	19	11	15	13	13	11	7	10	15
		防護柵等	44	32	34	34	33	24	17	22	24	21
		家屋・塀	4	7	7	4	5	3	4	4	1	6
		橋梁・橋	3	4	3	5	3	2	4	1	5	2
		その他	24	20	20	19	31	24	18	31	19	17
	駐車車両（運転者不在中）衝突	62	48	43	49	41	52	36	29	33	39	
	路外逸脱	転落	9	3	6	3	1	2	2	0	1	1
		その他	2	3	3	4	2	3	2	1	1	2
	転倒	0	6	0	1	4	0	3	2	1	5	
	その他	31	19	26	21	22	17	22	16	12	14	
	小計		211	183	170	167	166	151	124	120	109	127
列車		1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	



(2-1) 車両単独事故の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（令和5年）

(件)

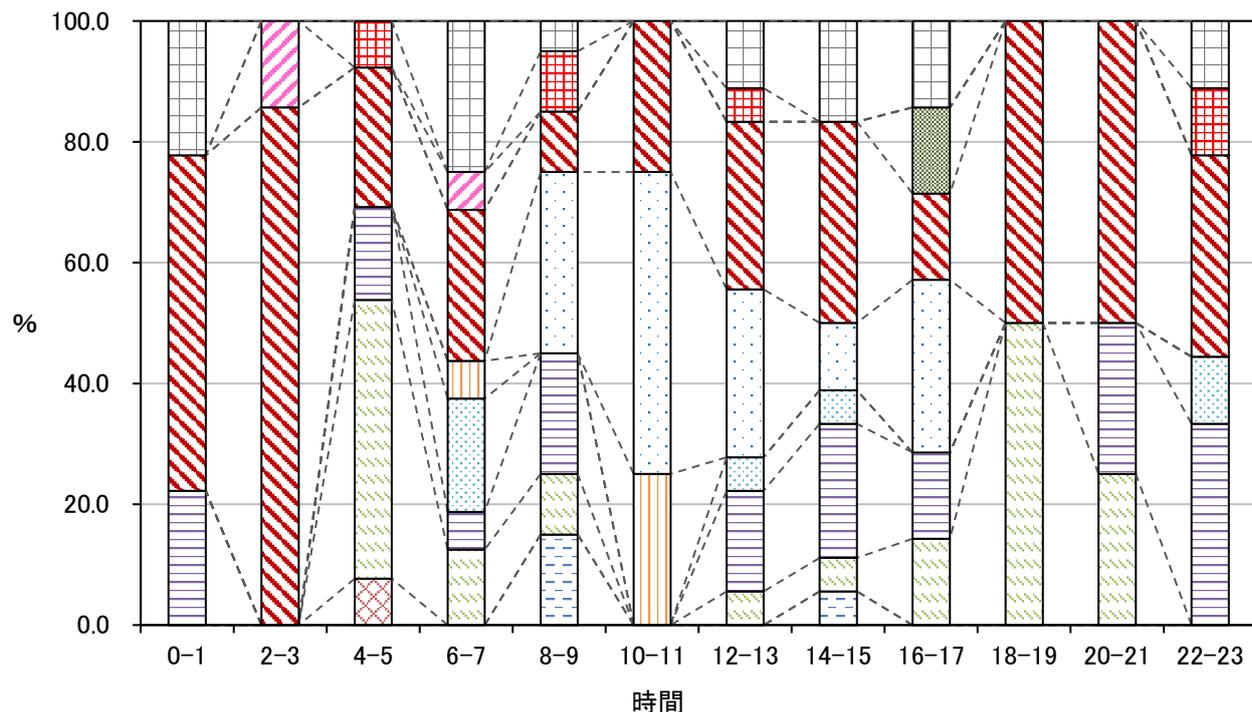
事故類型		時間（2時間毎）													合計
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
車両単独	工作物衝突	電柱	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	4
		標識	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		分離帯・安全島	0	0	6	2	2	0	1	1	1	1	1	0	15
		防護柵等	2	0	2	1	4	0	3	4	1	0	1	3	21
		家屋・塀	0	0	0	3	0	0	1	1	0	0	0	1	6
		橋梁・橋	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
		その他	0	0	0	0	6	2	5	2	2	0	0	0	17
	駐車車両（運転者不在中）衝突	5	6	3	4	2	1	5	6	1	1	2	3	39	
	路外逸脱	転落	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		その他	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	転倒	その他	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	1	5
		その他	2	0	0	4	1	0	2	3	1	0	0	1	14
	合計		9	7	13	16	20	4	18	18	7	2	4	9	127
	列車		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2-2) 車両単独事故の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和5年）

(%)

事故類型		時間（2時間毎）													合計
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
車両単独	工作物衝突	電柱	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
		標識	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
		分離帯・安全島	0.0	0.0	46.2	12.5	10.0	0.0	5.6	5.6	14.3	50.0	25.0	0.0	11.8
		防護柵等	22.2	0.0	15.4	6.3	20.0	0.0	16.7	22.2	14.3	0.0	25.0	33.3	16.5
		家屋・塀	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	11.1	4.7
		橋梁・橋	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
		その他	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	50.0	27.8	11.1	28.6	0.0	0.0	0.0	13.4
	駐車車両（運転者不在中）衝突	55.6	85.7	23.1	25.0	10.0	25.0	27.8	33.3	14.3	50.0	50.0	33.3	30.7	
	路外逸脱	転落	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.8
		その他	0.0	14.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
	転倒	0.0	0.0	7.7	0.0	10.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	3.9	
	その他	22.2	0.0	0.0	25.0	5.0	0.0	11.1	16.7	14.3	0.0	0.0	11.1	11.0	
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 工作物衝突（電柱）
- ▨ 工作物衝突（標識）
- 工作物衝突（分離帯・安全島）
- 工作物衝突（防護柵等）
- 工作物衝突（家屋・塀）
- 工作物衝突（橋梁・橋）
- 工作物衝突（その他）
- ▨ 駐車車両（運転者不在中）
- ▨ 路外逸脱（転落）
- 転倒
- その他
- ▨ 路外逸脱（その他）



(3-1) 車両単独事故の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数（令和5年）

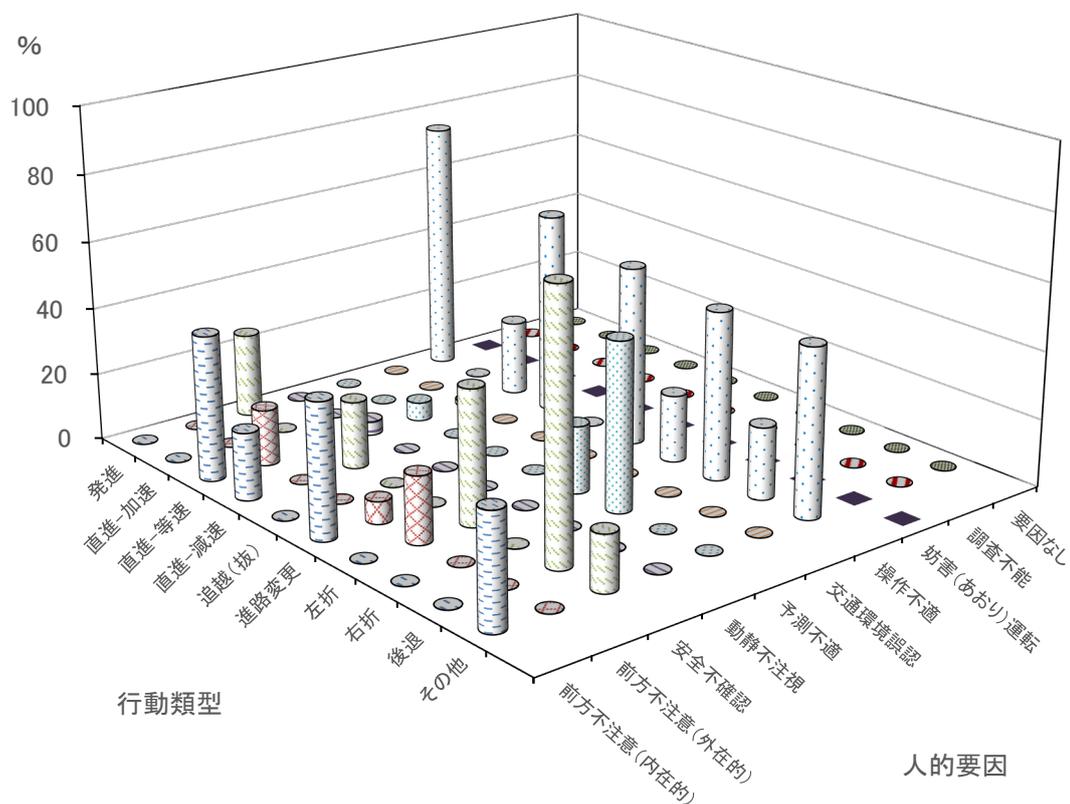
(件)

行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	その他	合計
前方不注意(内在的)	0	0	31	1	0	6	0	0	0	2	40
前方不注意(外在的)	0	0	12	0	0	1	1	0	0	0	14
安全不確認	1	0	5	1	0	0	2	0	11	1	21
動静不注視	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
予測不適	0	1	4	0	0	0	1	1	0	0	7
交通環境誤認	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
操作不適	3	3	16	3	0	8	1	1	3	3	41
妨害(あおり)運転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査不能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	4	72	5	0	15	5	2	14	6	127

(3-2) 車両単独事故の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率（令和5年）

(%)

行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	その他	合計
前方不注意(内在的)	0.0	0.0	43.1	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	33.3	31.5
前方不注意(外在的)	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	6.7	20.0	0.0	0.0	0.0	11.0
安全不確認	25.0	0.0	6.9	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	78.6	16.7	16.5
動静不注視	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4
予測不適	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	20.0	50.0	0.0	0.0	5.5
交通環境誤認	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
操作不適	75.0	0.0	22.2	60.0	0.0	53.3	20.0	50.0	21.4	50.0	32.3
妨害(あおり)運転	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
調査不能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

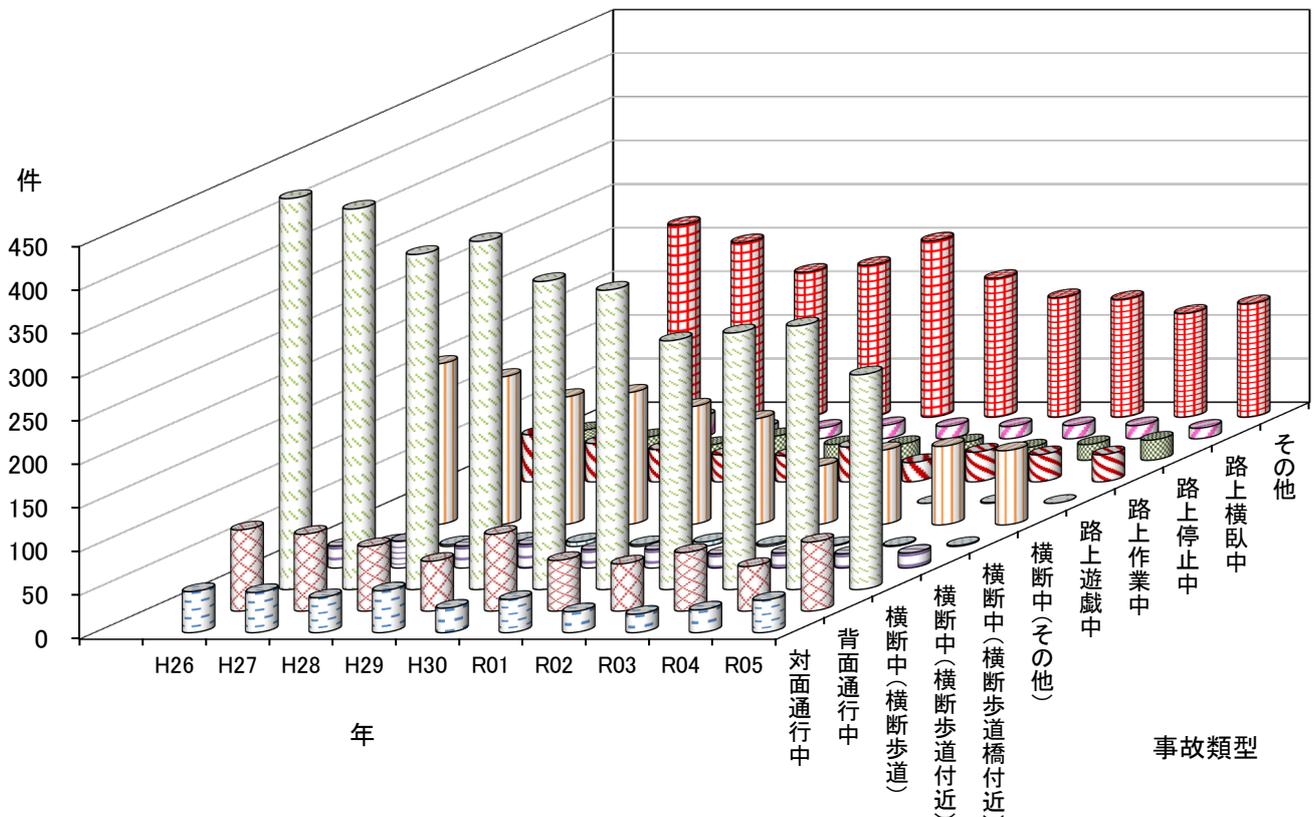


付録23. 事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況

(1) 対歩行者の事故類型別死傷事故件数の推移（平成26-令和5年）

(件)

事故類型		年	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	
人 対 車 両	対面通行中		47	46	40	48	28	38	24	21	26	37	
	背面通行中		93	88	74	57	88	58	54	67	51	79	
	横断中	横断歩道		448	436	384	399	353	343	285	294	302	246
		横断歩道付近		25	31	25	27	21	21	16	17	16	17
		横断歩道橋付近		4	2	6	5	2	5	2	1	1	1
		その他		184	169	146	151	135	121	67	85	90	85
	路上遊戯中		7	3	5	4	2	0	2	0	1	0	
	路上作業中		54	44	37	31	30	40	22	34	31	31	
	路上停止中		34	26	17	27	18	18	20	14	18	23	
	路上横臥中		13	24	12	12	15	14	14	15	15	12	
	その他		220	200	166	174	202	159	137	135	119	130	
	合計			1,129	1,069	912	935	894	817	643	683	670	661



(2-1) 対歩行者の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（令和5年）

(件)

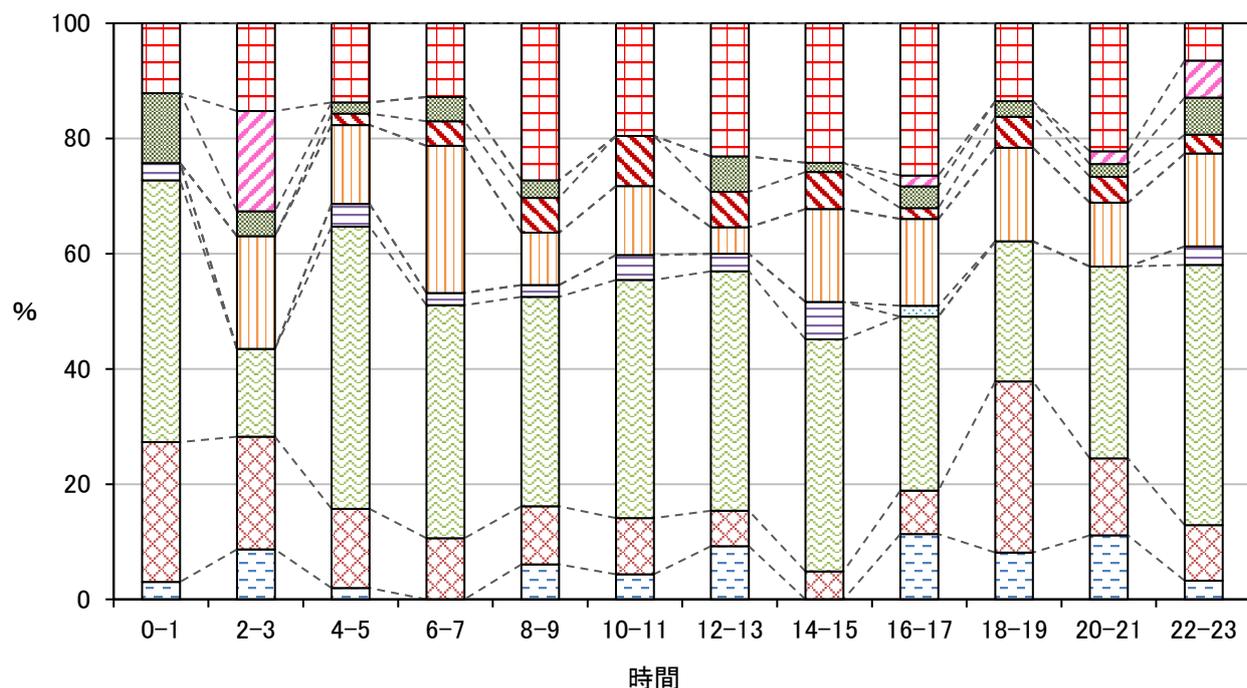
事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
人 対 車 両	対面通行中	1	4	1	0	6	4	6	0	6	3	5	1	37	
	背面通行中	8	9	7	5	10	9	4	3	4	11	6	3	79	
	横断中	横断歩道	15	7	25	19	36	38	27	25	16	9	15	14	246
		横断歩道付近	1	0	2	1	2	4	2	4	0	0	0	1	17
		横断歩道橋付近	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		その他	0	9	7	12	9	11	3	10	8	6	5	5	85
	路上遊戯中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	路上作業中	0	0	1	2	6	8	4	4	1	2	2	1	31	
	路上停止中	4	2	1	2	3	0	4	1	2	1	1	2	23	
	路上横臥中	0	8	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	12	
	その他	4	7	7	6	27	18	15	15	14	5	10	2	130	
	合計		33	46	51	47	99	92	65	62	53	37	45	31	661

(2-2) 対歩行者の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数の構成率（令和5年）

(%)

事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
人 対 車 両	対面通行中	3.0	8.7	2.0	0.0	6.1	4.3	9.2	0.0	11.3	8.1	11.1	3.2	5.6	
	背面通行中	24.2	19.6	13.7	10.6	10.1	9.8	6.2	4.8	7.5	29.7	13.3	9.7	12.0	
	横断中	横断歩道	45.5	15.2	49.0	40.4	36.4	41.3	41.5	40.3	30.2	24.3	33.3	45.2	37.2
		横断歩道付近	3.0	0.0	3.9	2.1	2.0	4.3	3.1	6.5	0.0	0.0	0.0	3.2	2.6
		横断歩道橋付近	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.2
		その他	0.0	19.6	13.7	25.5	9.1	12.0	4.6	16.1	15.1	16.2	11.1	16.1	12.9
	路上遊戯中	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	路上作業中	0.0	0.0	2.0	4.3	6.1	8.7	6.2	6.5	1.9	5.4	4.4	3.2	4.7	
	路上停止中	12.1	4.3	2.0	4.3	3.0	0.0	6.2	1.6	3.8	2.7	2.2	6.5	3.5	
	路上横臥中	0.0	17.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	2.2	6.5	1.8	
	その他	12.1	15.2	13.7	12.8	27.3	19.6	23.1	24.2	26.4	13.5	22.2	6.5	19.7	
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 対面通行中
- 背面通行中
- 横断中（横断歩道）
- 横断中（横断歩道付近）
- 横断中（横断歩道橋付近）
- 横断中（その他）
- 路上遊戯中
- 路上作業中
- 路上停止中
- 路上横臥中
- その他



(3-1) 対歩行者の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数（令和5年）

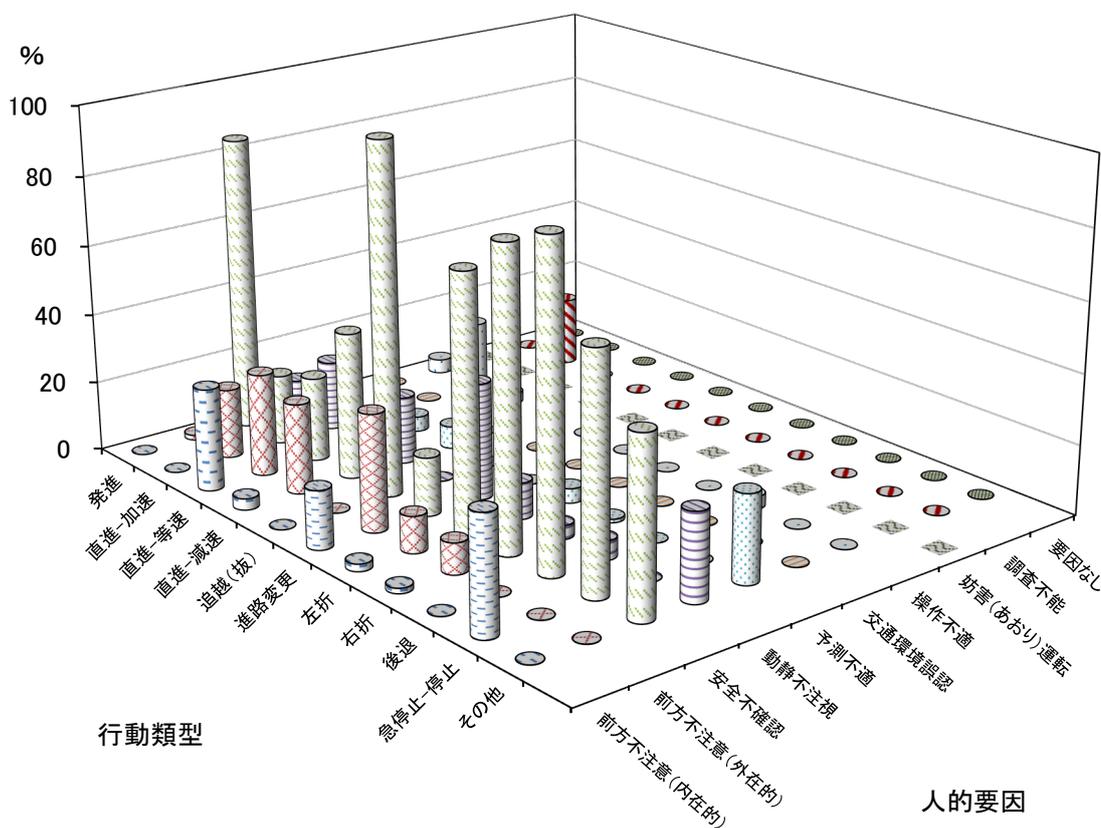
(件)

行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	0	0	68	1	0	1	1	3	0	1	0	75
前方不注意(外在的)	1	1	68	8	0	2	5	18	0	0	0	103
安全不確認	62	1	56	13	1	1	35	172	50	2	2	395
動静不注視	7	1	21	6	0	2	5	8	3	0	1	54
予測不適	0	0	10	2	0	0	2	2	0	0	1	17
交通環境誤認	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
操作不適	3	1	7	1	0	0	0	0	2	0	0	14
妨害(あおり)運転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査不能	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	73	5	232	31	1	6	48	203	55	3	4	661

(3-2) 対歩行者の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率（令和5年）

(%)

行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	0.0	0.0	29.3	3.2	0.0	16.7	2.1	1.5	0.0	33.3	0.0	11.3
前方不注意(外在的)	1.4	20.0	29.3	25.8	0.0	33.3	10.4	8.9	0.0	0.0	0.0	15.6
安全不確認	84.9	20.0	24.1	41.9	100.0	16.7	72.9	84.7	90.9	66.7	50.0	59.8
動静不注視	9.6	20.0	9.1	19.4	0.0	33.3	10.4	3.9	5.5	0.0	25.0	8.2
予測不適	0.0	0.0	4.3	6.5	0.0	0.0	4.2	1.0	0.0	0.0	25.0	2.6
交通環境誤認	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
操作不適	4.1	20.0	3.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	2.1
妨害(あおり)運転	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
調査不能	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録24. 事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死亡事故件数及び死者数（令和2-令和5年）

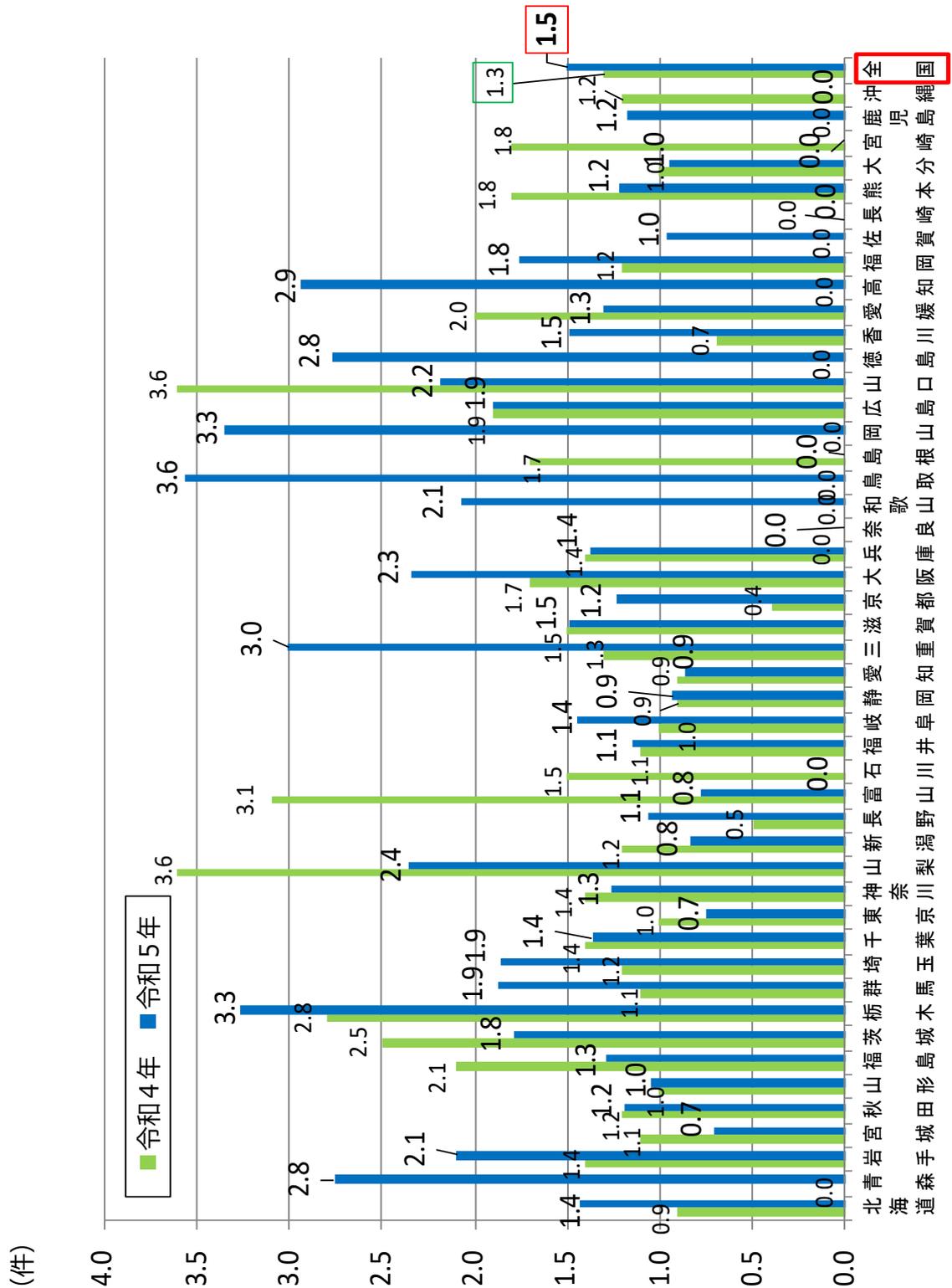
区分	死亡事故件数（件）						死者数（人）					車両台数 （台）	1万台当たり 死亡事故件数 （件）
	R02	R03	R04	R05	R04比	R02	R03	R04	R05	R04比			
北海道	札幌	6	2	2	7	5	6	2	2	7	5	33,753	2.1
	函館	2	1	1	0	△1	2	1	1	0	△1	4,706	0.0
	室蘭	1	3	1	1	0	1	3	1	2	1	7,941	1.3
	帯広	2	0	0	2	2	2	0	0	2	2	6,150	3.3
	釧路	1	0	1	0	△1	1	0	1	0	△1	5,561	0.0
	北見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,939	0.0
	旭川	2	0	1	0	△1	2	0	1	0	△1	8,065	0.0
	小計	14	6	6	10	4	14	6	6	11	5	70,115	1.4
東北	宮城	5	3	3	2	△1	5	3	3	2	△1	28,206	0.7
	福島	3	2	5	3	△2	3	3	5	4	△1	23,297	1.3
	岩手	2	3	2	3	1	2	3	2	3	1	14,300	2.1
	青森	2	3	0	4	4	2	3	0	6	6	14,513	2.8
	山形	2	2	1	1	0	2	2	1	1	0	9,564	1.0
	秋田	2	2	1	1	0	2	2	1	1	0	8,377	1.2
小計	16	15	12	14	2	16	16	12	17	5	98,257	1.4	
北陸・信越	新潟	1	2	3	2	△1	1	2	3	2	△1	23,768	0.8
	長野	2	1	1	2	1	2	1	1	2	1	18,901	1.1
	石川	3	3	2	0	△2	3	3	2	0	△2	13,729	0.0
	富山	0	5	4	1	△3	0	5	4	1	△3	12,922	0.8
小計	6	11	10	5	△5	6	11	10	5	△5	69,320	0.7	
関東	東京	8	12	9	7	△2	8	12	9	7	△2	93,363	0.7
	神奈川	9	8	10	9	△1	9	8	10	9	△1	70,950	1.3
	千葉	11	9	9	9	0	11	9	9	9	0	65,979	1.4
	埼玉	9	18	11	17	6	9	18	11	17	6	91,628	1.9
	茨城	8	10	11	8	△3	8	10	11	8	△3	44,658	1.8
	群馬	5	1	3	5	2	5	1	3	7	4	26,760	1.9
	栃木	5	2	7	8	1	5	2	7	8	1	24,464	3.3
	山梨	1	2	3	2	△1	1	2	3	2	△1	8,500	2.4
小計	56	62	63	65	2	56	62	63	67	4	426,302	1.5	
中部	愛知	9	9	8	8	0	9	9	8	8	0	92,487	0.9
	静岡	7	6	4	4	0	7	6	4	4	0	42,986	0.9
	岐阜	3	4	2	3	1	3	4	2	4	2	20,749	1.4
	三重	3	4	3	7	4	4	5	3	7	4	23,271	3.0
	福井	0	3	1	1	0	0	3	1	1	0	8,723	1.1
小計	22	26	18	23	5	23	27	18	24	6	188,216	1.2	
近畿	大阪	24	23	17	23	6	26	24	18	23	5	98,059	2.3
	京都	4	4	1	3	2	4	5	1	3	2	24,356	1.2
	兵庫	6	7	7	7	0	6	8	7	7	0	50,684	1.4
	滋賀	5	2	2	2	0	5	2	2	2	0	13,386	1.5
	奈良	2	4	0	0	0	2	4	0	0	0	10,723	0.0
	和歌山	1	2	0	2	2	1	2	0	2	2	9,684	2.1
小計	42	42	27	37	10	44	45	28	37	9	206,892	1.8	
中国	広島	5	1	6	6	0	5	1	9	6	△3	31,506	1.9
	鳥取	1	1	0	2	2	1	1	0	2	2	5,621	3.6
	島根	2	0	1	0	△1	2	0	1	0	△1	6,015	0.0
	岡山	4	2	0	9	9	4	2	0	10	10	26,893	3.3
	山口	2	0	5	3	△2	2	0	5	3	△2	13,697	2.2
小計	14	4	12	20	8	14	4	15	21	6	83,732	2.4	
四国	香川	2	3	1	2	1	2	3	1	2	1	13,410	1.5
	徳島	4	2	0	2	2	4	2	0	2	2	7,224	2.8
	愛媛	2	1	3	2	△1	2	1	3	2	△1	15,277	1.3
	高知	2	0	0	2	2	2	0	0	2	2	6,813	2.9
小計	10	6	4	8	4	10	6	4	8	4	42,724	1.9	
九州	福岡	11	11	7	10	3	11	11	8	10	2	56,862	1.8
	佐賀	4	4	0	1	1	5	4	0	1	1	10,357	1.0
	長崎	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	9,290	0.0
	熊本	1	2	3	2	△1	1	2	3	2	△1	16,347	1.2
	大分	3	2	1	1	0	3	2	1	1	0	10,479	1.0
	宮崎	1	0	2	0	△2	1	0	2	0	△2	11,242	0.0
鹿児島	3	4	0	2	2	3	4	0	2	2	17,030	1.2	
小計	24	24	13	16	3	25	24	14	16	2	131,607	1.2	
沖縄	0	1	1	0	△1	0	2	1	0	△1	8,064	0.0	
不明	3	3	3	1	△2	3	3	3	1	△2	0	-	
合計	207	200	169	199	30	211	206	174	207	33	1,325,229	1.5	

（作成：（公社）全日本トラック協会）

※軽自動車による死亡事故件数及び死者数を除く。 出典：（公財）交通事故総合分析センター

※車両台数はトレーラ及び軽自動車を除く営業用貨物自動車の保有車両台数。（令和5年12月末現在） 出典：（一財）自動車検査登録情報協会

付録25. 事業用貨物自動車 1万台当たりの死亡事故件数（車籍別）（令和4-令和5年）



(作成：(公社)全日本トラック協会)

※死亡事故件数は軽自動車によるものを除く。 出典：(公財)交通事故総合分析センター

※車両台数はトレーラ及び軽自動車を除く営業用貨物自動車の保有台数。(各年12月末現在) 出典：(一財)自動車検査登録情報協会

付録26. 事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死者数及び重傷者数（令和2-令和5年）

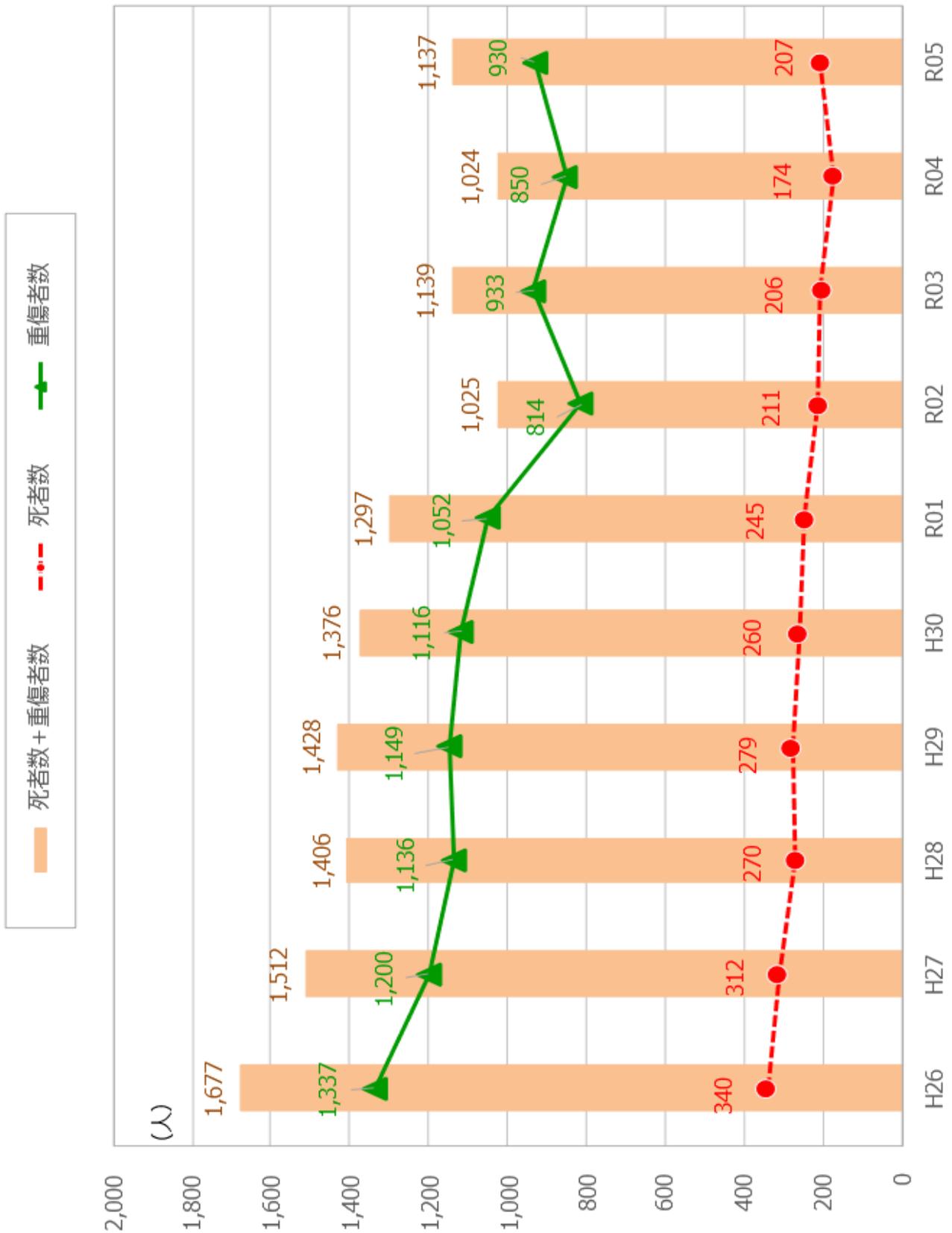
区分	死者数（人）					重傷者数（人）					合計（人）					車両台数（台）	1万台あたり死者数+重傷者数（人）	
	R02	R03	R04	R05	R04比	R02	R03	R04	R05	R04比	R02	R03	R04	R05	R04比			
北海道	14	6	6	11	5	39	35	36	30	△6	53	41	42	41	△1	70,115	5.8	
東北	宮城	5	3	3	2	△1	16	21	16	9	△7	21	24	19	11	△8	28,206	3.9
	福島	3	3	5	4	△1	13	18	17	16	△1	16	21	22	20	△2	23,297	8.6
	岩手	2	3	2	3	1	8	13	7	7	0	10	16	9	10	1	14,300	7.0
	青森	2	3	0	6	6	2	12	6	7	1	4	15	6	13	7	14,513	9.0
	山形	2	2	1	1	0	7	12	5	6	1	9	14	6	7	1	9,564	7.3
	秋田	2	2	1	1	0	4	3	7	8	1	6	5	8	9	1	8,377	10.7
北陸・信越	新潟	1	2	3	2	△1	13	12	15	11	△4	14	14	18	13	△5	23,768	5.5
	長野	2	1	1	2	1	17	9	8	18	10	19	10	9	20	11	18,901	10.6
	石川	3	3	2	0	△2	10	4	5	8	3	13	7	7	8	1	13,729	5.8
	富山	0	5	4	1	△3	1	7	9	6	△3	1	12	13	7	△6	12,922	5.4
関東	東京	8	12	9	7	△2	43	48	42	61	19	51	60	51	68	17	93,363	7.3
	神奈川	9	8	10	9	△1	24	37	41	41	0	33	45	51	50	△1	70,950	7.0
	千葉	11	9	9	9	0	49	43	53	47	△6	60	52	62	56	△6	65,979	8.5
	埼玉	9	18	11	17	6	49	71	67	80	13	58	89	78	97	19	91,628	10.6
	茨城	8	10	11	8	△3	35	43	37	36	△1	43	53	48	44	△4	44,658	9.9
	群馬	5	1	3	7	4	23	20	10	14	4	28	21	13	21	8	26,760	7.8
	栃木	5	2	7	8	1	16	15	19	26	7	21	17	26	34	8	24,464	13.9
	山梨	1	2	3	2	△1	4	5	6	10	4	5	7	9	12	3	8,500	14.1
中部	愛知	9	9	8	8	0	24	31	31	44	13	33	40	39	52	13	92,487	5.6
	静岡	7	6	4	4	0	21	26	21	24	3	28	32	25	28	3	42,986	6.5
	岐阜	3	4	2	4	2	10	10	10	11	1	13	14	12	15	3	20,749	7.2
	三重	4	5	3	7	4	11	17	11	23	12	15	22	14	30	16	23,271	12.9
	福井	0	3	1	1	0	2	8	2	5	3	2	11	3	6	3	8,723	6.9
近畿	大阪	26	24	18	23	5	103	119	119	113	△6	129	143	137	136	△1	98,059	13.9
	京都	4	5	1	3	2	28	24	23	29	6	32	29	24	32	8	24,356	13.1
	兵庫	6	8	7	7	0	32	43	37	33	△4	38	51	44	40	△4	50,684	7.9
	滋賀	5	2	2	2	0	7	10	13	11	△2	12	12	15	13	△2	13,386	9.7
	奈良	2	4	0	0	0	7	13	10	13	3	9	17	10	13	3	10,723	12.1
	和歌山	1	2	0	2	2	8	9	5	9	4	9	11	5	11	6	9,684	11.4
中国	広島	5	1	9	6	△3	27	32	23	29	6	32	33	32	35	3	31,506	11.1
	鳥取	1	1	0	2	2	6	2	7	5	△2	7	3	7	7	0	5,621	12.5
	島根	2	0	1	0	△1	1	2	1	2	1	3	2	2	2	0	6,015	3.3
	岡山	4	2	0	10	10	16	15	13	20	7	20	17	13	30	17	26,893	11.2
四国	山口	2	0	5	3	△2	11	7	3	13	10	13	7	8	16	8	13,697	11.7
	香川	2	3	1	2	1	12	14	10	9	△1	14	17	11	11	0	13,410	8.2
	徳島	4	2	0	2	2	5	6	5	4	△1	9	8	5	6	1	7,224	8.3
	愛媛	2	1	3	2	△1	10	13	11	15	4	12	14	14	17	3	15,277	11.1
九州	高知	2	0	0	2	2	5	1	3	2	△1	7	1	3	4	1	6,813	5.9
	福岡	11	11	8	10	2	30	33	27	32	5	41	44	35	42	7	56,862	7.4
	佐賀	5	4	0	1	1	6	11	5	5	0	11	15	5	6	1	10,357	5.8
	長崎	1	1	0	0	0	4	6	9	0	△9	5	7	9	0	△9	9,290	0.0
	熊本	1	2	3	2	△1	14	7	15	5	△10	15	9	18	7	△11	16,347	4.3
	大分	3	2	1	1	0	5	5	6	5	△1	8	7	7	6	△1	10,479	5.7
	宮崎	1	0	2	0	△2	4	5	2	7	5	5	5	4	7	3	11,242	6.2
鹿児島	3	4	0	2	2	14	10	7	6	△1	17	14	7	8	1	17,030	4.7	
沖縄	0	2	1	0	△1	5	4	4	1	△3	5	6	5	1	△4	8,064	1.2	
不明	3	3	3	1	△2	13	22	11	14	3	16	25	14	15	1	0	-	
合計	211	206	174	207	33	814	933	850	930	80	1,025	1,139	1,024	1,137	113	1,325,229	8.6	

（作成：（公社）全日本トラック協会）

※死者数及び重傷者数は軽自動車によるものを除く。 出典：（公財）交通事故総合分析センター

※車両台数はトレーラ及び軽自動車を除く営業用貨物自動車の保有車両台数。（令和5年12月末現在） 出典：（一財）自動車検査登録情報協会

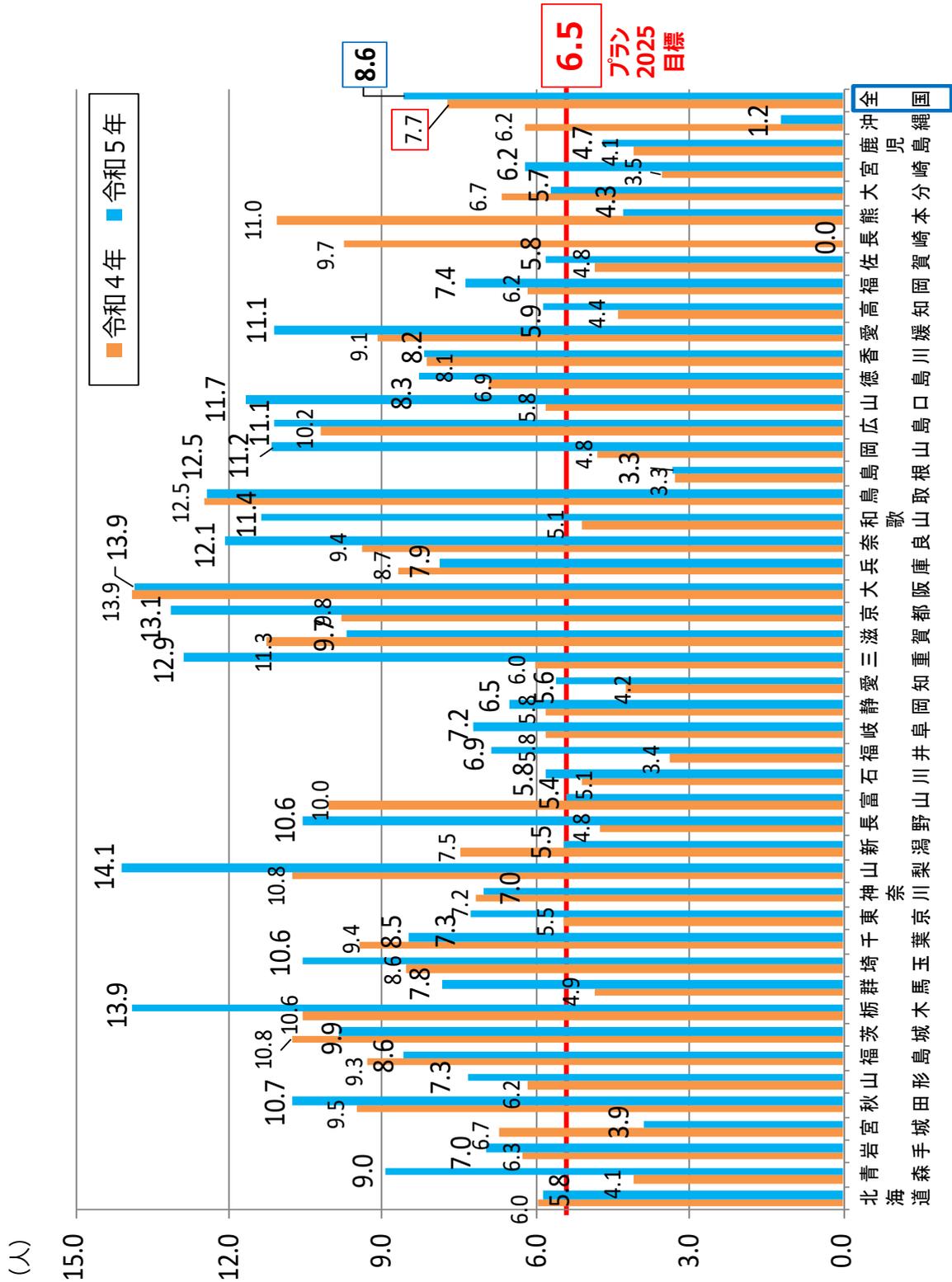
付録27. 事業用貨物自動車を第1当事者とする死者数及び重傷者数の推移
(平成26-令和5年)



(作成：(公社)全日本トラック協会)

数字はいずれも軽自動車を含まない。 出典：警察庁「交通事故統計」及び(公財)交通事故総合分析センター「交通統計」

付録 28. 事業用貨物自動車 1万台当たりの死者数及び重傷者数（車籍別）
（令和4-令和5年）



（作成：（公社）全日本トラック協会）

※死者数及び重傷者数は軽自動車によるものを除く。 出典：（公財）交通事故総合分析センター

※車両台数はトレーラ及び軽自動車を除く営業用貨物自動車の保有車両台数。（各年12月末現在） 出典：（一財）自動車検査登録情報協会

事業用貨物自動車の交通事故の発生状況

発行：公益社団法人**全日本トラック協会**

編集：公益財団法人 交通事故総合分析センター

〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番5

T e l 03 (3354) 1009 (代表)

F a x 03 (3354) 1019

ホームページのアドレス <https://jta.or.jp>

